

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	キャンパスライフ入門（Orientation to Campus Life） 2010011-001					担当教員	石川英樹 （イシカワ ヒデキ）		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型AL／外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要									
長岡大学での4年間の大学生活を有意義に送るために必要な知識、大学から地域からの期待、社会生活のルールとマナー等を講義形式で学び、長岡大生としての自覚と誇りを持ち、地域で活躍する人材となって育って行くための心構えを学ぶ。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力／地域社会に貢献する姿勢を養う授業である。									
③ 授業の進め方・指示事項									
外部講師による授業もあり、実社会に即した知識を身につけることができる（外部講師等の事情により講義日、内容が変わる場合がある）。各授業の最後には授業内容に沿った課題を課し、レポートを提出することを義務づける。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「ゼミナールⅠ（前）」、「ゼミナールⅠ（後）」「キャリア開発Ⅰ」、「日本事情」（留学生）									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 長岡大生としての自覚と誇りを持ちそれを他者に伝えることができる。 (ii) 地域で活躍する人材となって育って行くために必要とされる知力・能力・人間力を習得し、その能力向上について他者に伝えることができる。 (iii) 大学で学ぶ意義、学び方、社会生活のルールとマナーを理解し、説明できる。									
⑥ テキスト（教科書）									
特にもうけない。各回、必要に応じて資料・レジュメ等を配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
佐藤智明、矢島彰、安保勝也（2014）『3訂大学学びのことはじめ』ナカニシヤ出版 その他、随時授業中に紹介する。									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法									
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計	
総合評価割合				70%		30%		100%	

(i) 長岡大生としての自覚と誇り				20%		10%		30%
(ii) 地域で活躍する人材の知力等				20%		10%		30%
(iii) 大学で学ぶ意義等の理解				30%		10%		40%
フィードバックの方法	毎回のレポートの評価をフィードバックする。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
意義ある大学生活を送ることができるよう、その土台作りにつながる授業を目指す。学生の理解度・授業改善提案などを確認しながら講義を進める。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	オリエンテーション、何のために何を大学で学ぶのか	筆記用具	配布資料の復習、大学生活での目標の考察	60分
2	講義の受け方・ノートの取り方	筆記用具	配布資料の復習、授業ノートのとり方の見直し	60分
3	学長講話	筆記用具	配布資料の復習、社会人基礎力についての復習	60分
4	資格取得の意義	筆記用具	配布資料の復習、資格取得及びその学習計画の検討	60分
5	ハラスメント防止	筆記用具	配布資料の復習、ハラスメント回避についての考察	60分
6	課外活動の大切さ	筆記用具	配布資料の復習、課外活動の参加計画の検討	60分
7	地域活性化プログラムの紹介	筆記用具	配布資料の復習、昨年度の地域活性化プログラム事例の復習	60分
8	社会人としてのルールとマナー1（交通ルール）	筆記用具	配布資料の復習、自転車・歩行者の安全に関する復習	60分
9	インターネットを使った情報の調べ方	筆記用具	配布資料の復習、インターネット情報収集法の復習	60分
10	社会人としてのルールとマナー2（日常生活の中の契約）	筆記用具	配布資料の復習、自信臣の周りの契約に関する考察・振り返り	60分
11	インターンシップとは、キャリア開発について	筆記用具	配布資料の復習、夏休み等のインターンシップの検討	60分

12	社会人としてのルールとマナー3 (心と体の健康)	筆記用具	配布資料の復習、薬害問題・HIVについての復習	60分
13	レポートの書き方	筆記用具	配布資料の復習、レポートの書き方の復習	60分
14	社会人としてのルールとマナー4 (くらしと税)	筆記用具	配布資料の復習、税制復習、自分のキャッシュフローの検討	60分
15	OB・OGが語る大学生活	筆記用具	配布資料の復習、今後の大学生活の計画検討	60分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型ALを採用する。振り返りシート等の内容をもとに考察等を行い、学修内容を確認する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

この授業では、企業経営経験者、特定社会保険労務士、消費生活センター担当者、会計士、保健所担当官等の実務家を招へいた授業を実施する。

実務経験と授業科目との関連性

各実務家による講義を通じて、現実社会における学生生活の課題を学び、地域社会のなかでの有意義な大学生活、さらには適切なキャリア形成の土台を築くことを目指している。

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	キャリア開発 I (Carrier Development I) 2010011-002					担当教員	石川英樹 (イシカワ ヒデキ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	協同学修型 AL / 外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要									
キャリア形成の基礎知識と能力形成に対応した基礎的科目である。人生とキャリアの関係やさまざまな仕事等について、外部講師の講演も交えて、キャリアデザインの考え方及び自身のキャリア形成意識についての講義を行う。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力／コミュニケーション能力を養う授業である。									
③ 授業の進め方・指示事項									
グループディスカッションなどのグループワークも取り入れ、主体性とコミュニケーション力の向上を図る。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「キャンパスライフ入門」、「ゼミナール I（前）」、「ゼミナール I（後）」									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) キャリアデザインの考え方を理解し説明できる。									
(ii) 大学時代の自らのキャリア形成の目標を明確にして説明できる。									
(iii) 自らのキャリア形成の目標を発表できる。									
⑥ テキスト（教科書）									
特にもうけない。各回、必要に応じて資料・レジュメ等を配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
山崎京子・平林正樹(2018)『未来を拓く キャリア・デザイン講座』中央経済社。									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法									
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計	
総合評価割合	40%			40%		20%		100%	
(i) キャリアデザインの考え方を理解	20%			20%		5%		45%	
(ii) 大学時代のキャリア	20%			20%		5%		45%	

形成の目標を明確化								
(iii) 自らのキャリア形成の目標を発表						10%		10%
フィードバックの方法	レポート等を採点して返却する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）

自らのキャリアについて考えることができるよう、学生の理解度・授業改善提案などを確認しながら講義を進めていく。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	ガイダンス	筆記用具	配布資料の復習	60分
2	キャリアデザインの考え方①～これまでの振り返り	筆記用具	これまでの自己の振り返りのまとめ	60分
3	キャリアデザインの考え方②～自己分析と目標	筆記用具	自己分析の整理と目標についての考察	60分
4	学生生活とキャリア形成①	筆記用具	学生生活における目標の明確化	60分
5	学生生活とキャリア形成②	筆記用具	目標達成に向けた取り組みとスケジュール作成	60分
6	基礎力を身につける①	筆記用具	配布資料の問題（言語問題・非言語問題）の振り返り	60分
7	基礎力を身につける②	筆記用具	配布資料の問題（言語問題・非言語問題）の振り返り	60分
8	基礎力を身につける③	筆記用具	配布資料の問題（言語問題・非言語問題）の振り返り	60分
9	仕事と就職について①	筆記用具	職種についての復習	60分
10	仕事と就職について②	筆記用具	業種についての復習	60分
11	仕事と就職について③	筆記用具	職種・業種と自己分析との整理	60分
12	グループディスカッション①	筆記用具	ディスカッション結果についての振り返りと展開ノート作成	60分

13	グループディスカッション②	筆記用具	ディスカッション結果についての振り返りと展開ノート作成	60分
14	まとめ、ふりかえり	筆記用具	配布資料の復習、課題レポートへの取り組み	60分
15	PROGテスト（予定）	筆記用具	配布資料の復習、課題レポートへの取り組み	60分

⑪ アクティブラーニングについて				
知識定着・確認型ALを採用する。振り返りシート等の内容をもとに考察等を行い、学修内容を確認する。				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
実務経験と授業科目との関連性				

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	キャリア開発Ⅱ-1（Career DevelopmentⅡ-1） 2010022-003					担当教員	広田 秀樹 （ヒロタ ヒデキ）		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	2年次	開講期	前期
科目特性	学生参加型 AL								

① 授業のねらい・概要									
企業等の組織、個人が激しく競争する社会で、逞しく活躍し続けるための、基本的な姿勢、考え方、ルール、作法、知識、視野。思考力等を身に付けることを目標にする。具体的には、産業社会を構成する多様な業界、企業について学習し、社会の組織で求められる多数の基本事項について学ぶ。授業内容は基礎レベルである。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力を育成する授業。									
③ 授業の進め方・指示事項									
基本的な知識、情報を紹介しながら、変化の激しい社会の各現場で実際に働く方をゲストスピーカーとして招聘するので、各自の人生のデザインを考え参加すること。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
キャンパスライフ入門・キャリア開発Ⅰ									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 経済社会の基本構造が理解できる。									
(ii) 経済社会で生きるための基本事項が理解できる。									
(iii) 各自が自分に合ったキャリアデザイン・ライフデザインを描くことができるようになる。									
⑥ テキスト（教科書）									
学習資料を配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
大久保幸夫（2016）『キャリアデザイン入門<1>基礎編』日本経済新聞社									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	45%			30%		25%		100%
(i) 経済社会の基本構造の 理解	20%			10%		10%		40%

(ii) 経済社会で生きるための基本事項の理解	20%			10%		10%		40%
(iii) キャリアデザイン・ライフデザイン構築の能力	5%			10%		5%		20%
フィードバックの方法	レポートについてはコメントを行い討論のベースとして紹介する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
経済社会、そこで競争する組織の現状を紹介しながら、そこで生き抜き活躍するために必要な重要事項を身に付けてもらうような、授業を志向する。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	イントロダクション・キャリアとは何か		各自の個性とライフデザインを考えるレポート	90分
2	人生におけるキャリアの重要性	配布学習ノート・課題資料	各自の個性とキャリアデザインを考えるレポート	90分
3	経済・産業・企業	配布学習ノート・課題資料	学校と社会の違いを考えるレポート	120分
4	企業等の組織の基本構造	配布学習ノート・課題資料	組織と個人の間関係を考えるレポート	120分
5	業界研究・企業研究の重要性	配布学習ノート・課題資料	各自の個性と業界研究に関するレポート	120分
6	流通業	配布学習ノート・課題資料	各自の個性から流通業の勤務を考 えてみるレポート	120分
7	製造業	配布学習ノート・課題資料	各自の個性から製造業の勤務を考 えてみるレポート	90分
8	金融業	配布学習ノート・課題資料	各自の個性から金融業の勤務を考 えてみるレポート	90分
9	建設業	配布学習ノート・課題資料	各自の個性から建設業の勤務を考 えてみるレポート	90分
10	サービス業	配布学習ノート・課題資料	各自の個性からサービス業の勤務 を考えてみるレポート	90分
11	公共の仕事	配布学習ノート・課題資料	各自の個性からの公共の仕事の勤 務を考えてみるレポート	90分
12	出版業	配布学習ノート・課題資料	各自の個性から出版業の勤務を考 えてみるレポート	90分

13	貿易業	配布学習ノート・課題資料	各自の個性から貿易業の勤務を考 えてみるレポート	90分
14	インターンシップについて	配布学習ノート・課題資料	インターンシップに関する情報収 集のレポート	90分
15	まとめ	配布学習ノート・課題資料	自分に合ったライフキャリアデザ インコンセプトに関するレポート	180分

⑪ アクティブラーニングについて				
学生参加型ALを採用する。講義内容をベースにして、独自に調査、考察しレポートを作成するなか で本質を見抜き、独自に提案できる思考力を伸ばす。				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
実務経験と授業科目との関連性				

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	キャリア開発Ⅱ-2 (Carrier Development Ⅱ-2) 2010022-004					担当教員	石川英樹 (イシカワ ヒデキ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	2年次	開講期	後期
科目特性	協同学修型 AL / 外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要									
キャリア形成のより実践的な知識と能力形成に対応した基礎的科目である。企業等社会諸組織における仕事とマナーの実際を学ぶ。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力／コミュニケーション能力を養う授業である。									
③ 授業の進め方・指示事項									
就職活動・社会人に求められるマナーを実習で身につけるために、面接・ディスカッション等を個人・グループで行い、コミュニケーション力を身につける。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「ゼミナールⅡ」、「キャリア開発Ⅱ-1」、「現場体験プログラム」									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 社会人として仕事を進める上で求められる基本的なビジネスマナーの考え方を説明できる。									
(ii) cを考察し3年次以降の行動計画を他者に説明できる。									
⑥ テキスト（教科書）									
特にもうけない。各回、必要に応じて資料・レジュメ等を配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
山崎京子・平林正樹(2018)『未来を拓く キャリア・デザイン講座』中央経済社。大久保幸夫 (2016)『キャリアデザイン入門[I]基礎力編 (第2版)』日経文庫									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法									
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計	
総合評価割合	40%			40%		20%		100%	
(i) 基本的なビジネスマナーの考え方	20%			20%		10%		50%	

(ii) 自身のキャリアプラン	20%			20%		10%		50%
フィードバックの方法	レポート等を採点して返却する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
就職活動につながる具体的な各自のキャリアデザインを目指して、学生の理解度・授業改善提案などを確認しながら講義を進めていく。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	ガイダンス・キャリアと仕事へのアプローチ	筆記用具	配布資料の復習	60分
2	仕事の基本となる8つの意識	筆記用具	仕事の基本についての復習	60分
3	コミュニケーションとビジネスマナーの基本	筆記用具	ビジネスマナーの基本の復習、コミュニケーションの実践	60分
4	指示の受け方と報告、連絡、相談	筆記用具	報告、連絡、相談の復習	60分
5	話し方と聞き方のポイント	筆記用具	話し方と聞き方の復習と練習	60分
6	来客応対と訪問の基本マナー	筆記用具	来客応対の復習と、ロールプレイング	60分
7	会社関係での付き合い	筆記用具	会社関係に関する復習	60分
8	仕事への取り組み方	筆記用具	仕事の取り組み方についての整理	60分
9	ビジネス文書の基本	筆記用具	ビジネス文書例の作成	60分
10	電話応対	筆記用具	電話応対の整理・復習	60分
11	マナー実習（あいさつ・電話）	筆記用具	マナー実習についてのまとめ、ふりかえり	60分
12	グループディスカッション	筆記用具	グループディスカッションのふりかえりと発展のまとめ	60分
13	面接実習	筆記用具	面接実習における課題の整理・ふりかえり	60分

14	まとめ、ふりかえり	筆記用具	課題レポートの作成	60分
15	PROG テスト	筆記用具	課題レポートの作成	60分

⑪ アクティブラーニングについて				
知識定着・確認型 AL を採用する。振り返りシート等の内容をもとに考察等を行い、学修内容を確認する。				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
実務経験と授業科目との関連性				

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	日本事情1（The State of Affairs in Japan1） 2010011-007					担当教員	村越 真紀 （ムラコシ マキ）		
科目区分	教養科目 （留学生 科目）	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL／協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>日本での生活で気を付けなければならないことを学ぶ。 日本、新潟県、長岡市について学ぶ。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
<p>職業人として通用する能力 コミュニケーション能力</p>									
③ 授業の進め方・指示事項									
<p>状況によって、試験のやり方が変わります。試験の前に説明します。 毎回、授業の最後に、出席確認を兼ねた小テストをします。 授業の前：次の授業で勉強するテキストの範囲を予習しておいてください。 授業の後：授業の内容を確認してください。 授業はすべて日本語で行います。 教室では、自分の国の言葉や英語を使わず、日本語で話してください。</p>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
日本語 I-1（Japanese I-1）									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i) 日本での生活で、気を付けなければならないことが分かった。 (ii) 日本、新潟県、長岡市について、だいたい分かった。 (iii) 日本文化について、いくつか学べた。</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
<p>教科書は指定しない。レジメや公式サイトなどを利用する。新潟県広報誌『新潟県のすがた 2021』は、授業の際に各自に配布する。（4月以降、県公式サイトで公表される予定のPDF版も利用予定）</p>									
⑦ 参考図書・指定図書									
<p>金津日出美・桂島宣弘（2017）『留学生のための日本事情入門【改訂版】』文理閣 藤井剛（2016）『詳説政治・経済研究 第3版』山川出版社 新潟県広報誌『新潟県のすがた 2021』</p>									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	55%	15%			15%	15%		100%
(i) 日本での生活上の注意点の理解	20%	5%			5%	5%		35%
(ii) 日本、新潟県、長岡市の概要理解	20%	5%			5%	5%		35%
(iii) 日本文化についての理解	15%	5%			5%	5%		30%
フィードバックの方法	小テストは採点してから返します。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
積極的に授業に参加してください。 授業時間以外にも、自分で勉強してください。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	ガイダンス、自己紹介、授業の注意点について、生活の中で気を付けること 1 災害が発生したら①	ノート、筆記用具、辞書	日本語で自己紹介できるように準備する（1分くらいの長さ）。 災害にはどんな種類があるか調べる。 震度について、以下を読んでおく。 (気象庁) <a href="https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/kaikyuhyo/kaikyuhyo.pdf">https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/kaikyuhyo/kaikyuhyo.pdf</a>
2	生活の中で気を付けること 2 災害が発生したら② ゴミの捨て方について、	ノート、筆記用具、辞書	自分の住所を漢字で書き、日本語で発音できるように準備する。 以下を読んでおく。 (総務省 消防庁) <a href="https://www.fdma.go.jp/relocation/bousai_manual/index.html">https://www.fdma.go.jp/relocation/bousai_manual/index.html</a> 長岡市のゴミの捨て方を調べておく。
3	生活の中で気を付けること 3 ゴミの捨て方について②、	ノート、筆記用具、辞書	以下を読んでおく。 一般社団法人 自転車協会 安全・安心な自転車選び ENJOY

	「いいにおい」と「臭いにおい」 自転車 <small>じてんしゃ</small> に乗る時の注意、		BICYCLE (baa-advisor.com) <a href="https://baa-advisor.com/safety/">https://baa-advisor.com/safety/</a>  「好きなにおい (香り)」と「きれいなにおい」を考えておく。	
4	生活の中で気を付けること 4 騒音 <small>そうおん</small> 、アルバイト、病気に <small>びょうき</small> なったりけがをしたなら 長岡市について① 市の概要 <small>がいよう</small> 、現代 <small>げんだい</small> の長岡市	ノート、筆記用具、辞書	どんな時、「うるさい」と思うか考える。 病気やケガに関係がある単語を復習しておく。 長岡市のウェブサイトを読んでおく。 <a href="https://www.city.nagaoka.niigata.jp/syokukai/index.html">https://www.city.nagaoka.niigata.jp/syokukai/index.html</a> <a href="https://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/cate02/youran/">https://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/cate02/youran/</a>	60分
5	長岡市について② 市の概要、現代の長岡市、 長岡市の地理・歴史、	ノート、筆記用具、辞書	長岡市のウェブサイトを読んでおく。 <a href="https://www.city.nagaoka.niigata.jp/syokukai/index.html">https://www.city.nagaoka.niigata.jp/syokukai/index.html</a> <a href="https://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/cate02/youran/">https://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/cate02/youran/</a>	60分
6	長岡市について③ 長岡市の地理・歴史、	ノート、筆記用具、辞書	長岡市のウェブサイトを読んでおく。 <a href="https://www.city.nagaoka.niigata.jp/syokukai/index.html">https://www.city.nagaoka.niigata.jp/syokukai/index.html</a> <a href="https://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/cate02/youran/">https://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/cate02/youran/</a> 米百俵について調べておく。	60分
7	長岡市について④ 長岡市の地理・歴史	ノート、筆記用具、辞書	長岡市のウェブサイトを読んでおく。 <a href="https://www.city.nagaoka.niigata.jp/syokukai/index.html">https://www.city.nagaoka.niigata.jp/syokukai/index.html</a> <a href="https://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/cate02/youran/">https://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/cate02/youran/</a> 長岡花火について調べておく。	60分
8	新潟県について① 県の概要、県庁所在地新潟市について	ノート、筆記用具、辞書	新潟県のウェブサイトを読んでおく。 <a href="https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kouhou/1195575337464.html">https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kouhou/1195575337464.html</a> 広報誌「新潟県のすがた 2021」を読んでおく。分からない単語は調べておく。	60分
9	新潟県について② 地理、新潟の食文化 <small>しよくぶんか</small> 、	ノート、筆記用具、辞書	広報誌「新潟県のすがた 2021」を読んでおく。分からない単語は調べておく。	60分

10	新潟県について③ 新潟の歴史 1	ノート、筆記用具、辞書	広報誌「新潟県のすがた 2021」を読んでおく。分からない単語は調べておく。	60分
11	新潟県について④ 新潟の歴史 2	ノート、筆記用具、辞書	広報誌「新潟県のすがた 2021」を読んでおく。分からない単語は調べておく。	60分
12	新潟県について⑤ 新潟の史跡、文化遺産・郷土料理	ノート、筆記用具、辞書	広報誌「新潟県のすがた 2021」を読んでおく。分からない単語は調べておく。	60分
13	新潟県について⑥ 自然と環境、産業、農産物、観光	ノート、筆記用具、辞書	広報誌「新潟県のすがた 2021」を読んでおく。分からない単語は調べておく。	60分
14	新潟県について⑦ 自然と環境、産業、農産物、観光	ノート、筆記用具、辞書	広報誌「新潟県のすがた 2021」を読んでおく。分からない単語は調べておく。	60分
15	浴衣を着て夏祭りへ行こう！ (浴衣の着付け体験)	ノート、筆記用具、辞書	以下を見ておく。 (女性)：資生堂 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=hdGAwZ6w8gw">https://www.youtube.com/watch?v=hdGAwZ6w8gw</a> (男性)：阪急百貨店 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=Uwg7FxdwUo8">https://www.youtube.com/watch?v=Uwg7FxdwUo8</a>	60分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL、協同学修型 AL

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	日本事情2（The State of Affairs in Japan2） 2010011-008					担当教員	村越 真紀 （ムラコシ マキ）		
科目区分	教養科目 （留学生 科目）	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL／協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>日本での生活で気を付けなければならないことを学ぶ。 日本、新潟県、長岡市について学ぶ。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
<p>職業人として通用する能力 コミュニケーション能力</p>									
③ 授業の進め方・指示事項									
<p>状況によって、試験のやり方が変わります。試験の前に説明します。 毎回、授業の最後に、出席確認を兼ねた小テストをします。 授業の前：次の授業で勉強するテキストの範囲を予習しておいてください。 授業の後：授業の内容を確認してください。 授業はすべて日本語で行います。 教室では、自分の国の言葉や英語を使わず、日本語で話してください。</p>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
<p>日本語 I-1（Japanese I-1）、日本語 I-2（Japanese I-2）、 日本事情1（The State of Affairs in Japan1）</p>									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i) 日本での生活で、気を付けなければならないことが分かった。 (ii) 日本、新潟県、長岡市について、だいたい分かった。 (iii) 日本文化について、いくつか学べた。</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
<p>教科書は指定しない。レジメや公式サイトなどを利用する。新潟県広報誌『新潟県のすがた 2021』 は、授業の際に各自に配布する。（4月以降、県公式サイトで公表される予定のPDF版も利用予定）</p>									
⑦ 参考図書・指定図書									
<p>金津日出美・桂島宣弘（2017）『留学生のための日本事情入門【改訂版】』文理閣 藤井剛（2016）『詳説政治・経済研究 第3版』山川出版社 新潟県広報誌『新潟県のすがた 2021』</p>									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	55%	15%			15%	15%		100%
(i) 日本での生活上の注意点の理解	20%	5%			5%	5%		35%
(ii) 日本、新潟県、長岡市の概要理解	20%	5%			5%	5%		35%
(iii) 日本文化についての理解	15%	5%			5%	5%		30%
フィードバックの方法	小テストは採点してから返します。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
積極的に授業に参加してください。 授業時間以外にも、自分で勉強してください。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	ガイダンス、 夏休みの宿題発表 新潟県について⑦ 自然と環境、産業、農産物、観光	ノート、筆記用具、辞書	夏休みの宿題を発表できるように準備しておく。 広報誌「新潟県のすがた 2021」を読んでおく。分からない単語は調べておく。
2	新潟県について⑧ 観光、交通と国際交流	ノート、筆記用具、辞書	広報誌「新潟県のすがた 2021」を読んでおく。分からない単語は調べておく。
3	新潟県について⑨ 観光、交通と国際交流	ノート、筆記用具、辞書	広報誌「新潟県のすがた 2021」を読んでおく。分からない単語は調べておく。
4	日本について① 日本の地理 1	ノート、筆記用具、辞書	47都道府県の名前と位置を調べる。 各県の県庁所在地（県庁があるところ）の市の名前を調べる
5	日本について② 日本の地理 2	ノート、筆記用具、辞書	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。
6	日本について③ 日本の産業 1	ノート、筆記用具、辞書	明治時代の産業について、以下を読んでおく。 (国立公文書館)

			<a href="http://www.archives.go.jp/exhibition/digital/modean_state/contents/meiji-industry/index">http://www.archives.go.jp/exhibition/digital/modean_state/contents/meiji-industry/index</a> .	
7	日本について④ 日本の産業2	ノート、筆記 用具、辞書	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60分
8	日本について⑤ 戦後日本経済史1	ノート、筆記 用具、辞書	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60分
9	日本について⑥ 戦後日本経済史2	ノート、筆記 用具、辞書	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60分
10	日本について⑦ 戦後日本経済史3	ノート、筆記 用具、辞書	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60分
11	日本について⑧ 戦後日本経済史4	ノート、筆記 用具、辞書	配布資料をよく読み、分からない単語は調べておく。	60分
12	日本について⑨ 日本のお正月	ノート、筆記 用具、辞書	日本のお正月 <small>しょうがつ</small> について調べる。 自分の国のお正月 <small>せつめい</small> について説明できるように準備する。	60分
13	日本について⑩ 茶道を通じた日本文化理解1	ノート、筆記 用具、辞書	茶 <small>ちや</small> の湯 <small>ゆ</small> と日本文化について、以下を読んでおく。 (表千家不審庵) <a href="http://www.omotesenke.jp/list2/list2-3/">http://www.omotesenke.jp/list2/list2-3/</a>	60分
14	日本について⑩ 茶道を通じた日本文化理解2	ノート、筆記 用具、辞書	茶 <small>ちや</small> の湯 <small>ゆ</small> と日本文化について、以下を読んでおく。 (表千家不審庵) <a href="http://www.omotesenke.jp/list2/list2-3/">http://www.omotesenke.jp/list2/list2-3/</a> 和 <small>わ</small> のふるまいについて、以下を読んでおく。 (表千家不審庵) <a href="http://www.omotesenke.jp/list5/list5-1/list5-1-1/">http://www.omotesenke.jp/list5/list5-1/list5-1-1/</a>	60分
15	日本について⑪ 茶道体験	ノート、筆記 用具、辞書	和 <small>わ</small> のふるまいについて、以下を読んでおく。 (表千家不審庵) <a href="http://www.omotesenke.jp/list5/list5-1/list5-1-1/">http://www.omotesenke.jp/list5/list5-1/list5-1-1/</a>	60分

⑪ アクティブラーニングについて
------------------

知識定着・確認型 AL、協同学修型 AL
----------------------

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
--------------------

実務経験の概要
---------

実務経験と授業科目との関連性
----------------

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	現場体験プログラム (Fieldwork Program) 2010022-009					担当教員	西俣 先子 (ニシマタ ヒロコ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	1	配当年次	2年次	開講期	集中 (隔週)
科目特性	地域志向科目 / 課題解決型 AL / 外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要									
将来のキャリア形成に関連した企業・機関等で、現場見学・体験や短期の就業体験を行い、さらには、合わせて企業等の課題解決に取り組むことにより、より実践的な学修への意欲と主体的な職業選択の意欲を喚起する。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
地域社会に貢献する姿勢 / 職業人として通用する能力 / コミュニケーション能力 / 情報収集・分析力									
③ 授業の進め方・指示事項									
第一回目の授業で配布した授業の予定表をよく確認すること。なお、課された提出物が提出されていない場合、単位は与えない。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 実践的な就業意識の形成ができる。 (ii) 主体的な職業選択・就職活動への意欲が喚起できる。									
⑥ テキスト (教科書)									
テキストはない。 必要に応じて課題に関する資料を配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
就職支援室にある県内企業の情報など。									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			20%	30%	10%	10%	30% 研修先 企業・ 機関等 の評価	100%
(i)実践的な就業意識の形成ができる。			10%	15%	5%	10%	15%	55%
(ii)主体的な職業選択・就職活動への意欲が喚起できる。			10%	15%	5%		15%	45%
フィードバックの方法	期日までに提出した修了レポートにはコメントし、返却する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
<p>研修先の選定のサポート、成果発表会に向けたサポートを引き続き丁寧に行いたい。</p> <p>*昨年度は科目が休講だった。コメントは2019年度のアンケート結果を踏まえてのもの。</p>

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	授業の意義と仕組み	シラバス オリエンテーション時の配布資料	シラバス・オリエンテーション時の配布資料を熟読し授業の目的を理解したうえで授業に参加する	10分
2	インターンシップ先の紹介	資料配布	授業内容の確認を行う	60分
3	希望企業・機関等の検討		授業内容を踏まえたうえで希望企業・機関等の検討を行う	90分
4	ビジネスマナー◆ ◆印；外部講師	資料配布	ビジネスマナーの確認を行う	60分
5	見学・研修先企業・機関等の確認		希望企業・機関等の検討を行い、授業で報告する準備を行う	90分
6	研修課題の確認	資料配布	配布資料の確認を行い、研修中、研修後に取り組む課題を確認する	60分

7	研修先調整		希望企業・機関等の追加、修正があれば検討する	60分
8	ビジネスマナー◆ ◆印；外部講師		ビジネスマナーの再確認を行う	60分
9	研修の事前手続き説明 研修先・研修課題確認		確定した研修先から企業研究を行う *提出期限は個別に伝える	60分
10	修了レポートの作成① ドラフトの確認		研修日誌等を参考に研修先ごとに修了レポートを作成する。	90分
11	修了レポートの作成② 執筆指導		研修日誌等を参考に研修先ごとに修了レポートを作成する。	90分
12	修了レポートの作成③ 最終内容チェック		研修日誌等を参考に研修先ごとに修了レポートを作成する。	90分
13	成果発表資料の作成① (資料の作成指導)		研修日誌や修了レポート等を参考にして発表会用の資料を作成する。	90分
14	成果発表資料の作成② (発表会のリハーサル)		研修日誌や修了レポート等を参考にして成果発表会用の資料を作成する。	90分
15	成果発表会		成果発表会の準備を行う	90分

#### ⑪ アクティブラーニングについて

見学・研修先企業・機関等の研究、ビジネスマナー、成果発表等を中心に、課題解決型 AL を採用する。研修（課題解決）レポート提出からブレインストーミング、成果発表等発信力、プレゼンテーション力の強化などを行い、就職力の充実・向上を行う。

※以下は該当者のみ記載する。

#### ⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性



令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	英語 I A (English I A) 2011011-011					担当教員	Paul Edwards (ポール エドワーズ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	通年
科目特性	資格対応科目／知識定着・確認型 AL／協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要									
主に英会話力（リスニング・スピーキング）をつける事を目的とします。講師、クラスメイトとのコミュニケーション、ネイティブ英語話者が話す英語からの状況の聞き取りの練習から、英語での会話練習をします。そのレベルに伴う文法の知識、語彙力、リーディング・ライティング力も必要とします。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
●教科書に沿った題材での文法・語彙学習、ペア、または小グループでの会話、意見交換、ディスカッション。 ●長岡大学米百俵ドリル「スタンダードコース」の自習。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
特になし									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
英語でコミュニケーション、ディスカッション、意見交換、物事の説明ができるようになる。 (i) (ii) (iii)									
⑥ テキスト（教科書）									
Speaking of People (Vincent, Nakazato, Meadows 2020 Nan'Un·Do Co) English – Japanese / Japanese – English Dictionary (Electronic dictionary with speaker is preferred)									
⑦ 参考図書・指定図書									
授業時に教科書の題材に合わせたプリントを配布									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		20%			30%		100%
(i)								
(ii)								
(iii)								
フィードバックの方法	試験については授業内で復習、解説。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
<p>授業では、全員参加型アクティビティを多用します。たくさん話す経験をしてください。「英語マインド」に頭を切り替えて臨んでください。</p> <p>単語学習は常に米百俵ドリル「スタンダードコース」での自主学習を進め、授業での会話に活かせるようにしておいてください。</p>

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	Course and textbook introduction and year plan Background information activity	ノート1冊（ルーズリーフ不可）、A4クリアファイル（for print）、英和・和英辞典（電子辞書でスピーカー機能付推奨）	Review lesson contents 授業の復習をする事。 90分
2	Background Information Partner Introductions Text : Unit 1 Speaking about Yourself	同上	授業で学習したテキストページの復習をする事。 90分
3	Partner Introductions Text : Unit 1	同上	授業で学習したテキストページの復習をする事。 90分
4	Text : Unit 2 What do you do?	同上	授業で学習したテキストページの復習をする事。 90分
5	Text : Unit 2 What do you do? / Print	同上	授業で学習したテキストページの復習をする事。 90分
6	Text : Unit 3 What does he look like?	同上	授業で学習したテキストページの復習をする事。 90分

7	Text : Unit 3 What does he look like? / Print	同上	授業で学習したテキストページの 復習をする事。	90分
8	Review Unit 1-3	同上	授業で学習したテキストページの 復習をする事。	90分
9	Text : Unit 4 Where are you from?	同上	授業で学習したテキストページの 復習をする事。	90分
10	Text : Unit 4 Where are you from? / Print	同上	授業で学習したテキストページの 復習をする事。	90分
11	Text : Unit 5 Likes and Dislikes	同上	授業で学習したテキストページの 復習をする事。	90分
12	Text : Unit 5 Likes and Dislikes / Print	同上	授業で学習したテキストページの 復習をする事。	90分
13	Text : Unit 6 What's She Like	同上	授業で学習したテキストページの 復習をする事。	90分
14	Text : Unit 6 What's She Like / Print	同上	授業で学習したテキストページの 復習をする事。	90分
15	Test #1	同上	授業で学習したテキストページの 復習をする事。	90分
16	Text : Unit 7 Tell me about Your Family	同上	授業で学習したテキストページの 復習をする事。	90分
17	Text : Unit 7 Tell me about Your Family / Print	同上	授業で学習したテキストページの 復習をする事。	90分
18	Text : Unit 8 Communication	同上	授業で学習したテキストページの 復習をする事。	90分
19	Text : Unit 8 Communication / Print	同上	授業で学習したテキストページの 復習をする事。	90分
20	Text : Unit 9 How are you feeling?	同上	授業で学習したテキストページの 復習をする事。	90分
21	Text : Unit 9 How are you feeling? / Print	同上	授業で学習したテキストページの 復習をする事。	90分
22	Review Unit 7-9	同上	授業で学習したテキストページの 復習をする事。	90分
23	Text : Unit 10 Memories	同上	授業で学習したテキストページの 復習をする事。	90分
24	Text : Unit 10 Memories / Print	同上	授業で学習したテキストページの 復習をする事。	90分

25	Text : Unit 11 Talking about Health	同上	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90分
26	Text : Unit 11 Talking about Health / Print	同上	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90分
27	Text : Unit 12 Mindset	同上	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90分
28	Text : Unit 12 Mindset / Print	同上	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90分
29	Test #2	同上	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90分
30	Test return / Wrap up	同上	授業で学習したテキストページの復習をする事。	90分

⑪ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL / 協同学修型 AL を採用

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名	英語 I B (English I B)					担当教員	広田 秀樹 (ヒロタ ヒデキ)		
科目コード	2011011-011								
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	通年
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
英語の読解力・スピーキング能力・ヒアリング能力の基本を身につけることを目標とする。具体的には、第1に英語の言語構造・文法の本質を理解する基本トレーニングを徹底して行う。第2に英語のスピーキング能力を上げるトレーニング、第3に英語のヒアリング能力を向上させるトレーニングを実施する。第4にTOEICテストへの対応力をつける学習を行う。授業内容は中級レベルである。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
コミュニケーション能力。									
③ 授業の進め方・指示事項									
<ul style="list-style-type: none"> <li>●英語学習は、確実な積み重ね型の学習なので、毎回の授業内容の十分な理解と定着が重要である。授業内トレーニング、課題等に意欲的に取り組むこと。</li> <li>●長岡大学米百俵ドリル「スタンダードコース」での自習も忘れないこと。</li> </ul>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 英文法の基本事項が理解できること。(長岡大学米百俵ドリル「スタンダードコース」の学習を含む。)									
(ii) スピーキングとヒアリングの基本が理解できること。									
(iii) TOEIC に関する基本的学習ができること。									
⑥ テキスト (教科書)									
学習資料を配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
Jonathan Lynch, 委文光太郎 (2020) 『英語で考え、英語で発信する 2』成美堂									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法									
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計	
総合評価割合	50%	15%	10%			25%		100%	
(i) 英文法の基本事項理解	20%		10%			10%		40%	

(米百俵ドリルを含む)								
(ii) スピーキングとヒアリングの基本の理解	20%	10%				10%		40%
(iii) TOEIC 基本対応	10%	5%				5%		20%
フィードバックの方法	試験・小テスト・課題は助言をつけ継続的水準向上につなげる。							

⑨ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
英語は、グローバル化時代に生き活躍する使命を有する未来ある若者にとって、マスターすべき世界語である。英語基礎力を固めつつ、一流のトピックスを扱った英語資料等も紹介したい。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間 (分)	
1	イントロダクション・英語の特徴		英語の特徴に関するレポート作成	120分
2	英語の言語構造の本質	配布学習資料・課題資料	配布資料関連自習課題	120分
3	文法理解トレーニングⅠ	配布学習資料・課題資料	配布資料関連自習課題	120分
4	文法理解トレーニングⅡ	配布学習資料・課題資料	配布資料関連自習課題	120分
5	文法理解トレーニングⅢ	配布学習資料・課題資料	配布資料関連自習課題	120分
6	スピーキングトレーニングⅠ	配布学習資料・課題資料	配布資料関連自習課題	120分
7	スピーキングトレーニングⅡ	配布学習資料・課題資料	配布資料関連自習課題	120分
8	スピーキングトレーニングⅢ	配布学習資料・課題資料	ヒアリング自習課題	120分
9	ヒアリングⅠ	配布学習資料・課題資料	ヒアリング自習課題	120分
10	ヒアリングⅡ	配布学習資料・課題資料	ヒアリング自習課題	120分
11	ヒアリングⅢ	配布学習資料・課題資料	ヒアリング自習課題	120分
12	TOEIC 対応トレーニングⅠ	配布学習資料・課題資料	TOEIC 自習課題	120分

13	TOEIC 対応トレーニングⅡ	配布学習資料・ 課題資料	TOEIC 自習課題	120 分
14	TOEIC 対応トレーニングⅢ	配布学習資料・ 課題資料	TOEIC 自習課題	120 分
15	前期まとめ	配布学習資料・ 課題資料	グローバル・トップレベル・トピッ クス関連資料に関するレポート	180 分
16	文法応用トレーニングⅠ	配布学習資料・ 課題資料	Power Base 自習課題	120 分
17	文法応用トレーニングⅡ	配布学習資料・ 課題資料	Power Base 自習課題	120 分
18	文法応用トレーニングⅢ	配布学習資料・ 課題資料	Power Base 自習課題	120 分
19	スピーキング応用トレーニングⅠ	配布学習資料・ 課題資料	Power Base 自習課題	120 分
20	スピーキング応用トレーニングⅡ	配布学習資料・ 課題資料	Power Base 自習課題	120 分
21	スピーキング応用トレーニングⅢ	配布学習資料・ 課題資料	ヒアリング自習課題	120 分
22	ハイレベルヒアリングトレーニングⅠ	配布学習資料・ 課題資料	ヒアリング自習課題	120 分
23	ハイレベルヒアリングトレーニングⅡ	配布学習資料・ 課題資料	ヒアリング自習課題	120 分
24	ハイレベルヒアリングトレーニングⅢ	配布学習資料・ 課題資料	ヒアリング自習課題	120 分
25	TOEIC 対応トレーニングⅣ	配布学習資料・ 課題資料	TOEIC 自習課題	120 分
26	TOEIC 対応トレーニングⅤ	配布学習資料・ 課題資料	TOEIC 自習課題	120 分
27	TOEIC 対応トレーニングⅥ	配布学習資料・ 課題資料	TOEIC 自習課題	120 分
28	英語圏と世界を知るための資料学習Ⅰ	配布学習資料・ 課題資料	英語圏関連学習資料に関するレポート	120 分
29	英語圏と世界を知るための資料学習Ⅱ	配布学習資料・ 課題資料	英語圏関連学習資料に関するレポート	120 分
30	まとめ	配布学習資料・ 課題資料	グローバル・トップレベル・トピッ クス関連資料に関するレポート	180 分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。講義で毎回の学習課題のコアを理解し、授業外の自習によってそれらコアの徹底した定着をはかる。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性

令和 3 (2021) 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	英語 I C (English I C) 2011011-011					担当教員	関 義夫 (セキ ヨシオ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	1 年次	開講期	通年
科目特性	資格対応科目 TOEIC / 知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
1 年次配当科目「英語 I C クラス」は、「TOEIC テスト」対策を念頭に置きながら、基礎的知識の再確認を行う基礎レベルのクラスである。比較的易しい練習問題を解くことにより、(大学レベルの) 基礎的な英語力を身につける。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 練習問題を解いて答え合わせ、解説を行う。必要に応じて、関連する補足説明も行う。</li> <li>● わからない単語は事前に辞書で調べてくること。必ず復習をし、正解できなかった問題に関しては正解できなかった理由を十分考え、理解すること。</li> <li>● 長岡大学米百俵ドリル「スタンダードコース」での自習も忘れないこと。</li> <li>● 夏休みの宿題がある。提出しないと減点 30 点。単位取得が難しくなる。</li> </ul>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
特になし。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) (大学レベルの) 基礎的な英語を理解できる。主語と動詞の一致、自動詞と他動詞、時制 (現在、過去、未来)、助動詞、進行形、完了形、受動態、不定詞、動名詞、比較、分詞構文等の用法を理解し、運用できる。									
(ii) 文法用語を理解できる。(長岡大学米百俵ドリル「スタンダードコース」の学習を含む。)									
⑥ テキスト (教科書)									
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小宮徹ほか (最新版) <i>Grammar Plus</i> (大学英語『グラマー・プラス』)、南雲堂</li> <li>2. 語学教育教材開発研究会編 (最新版) <i>Word Builder</i> (『基礎から学ぶ TOEIC テスト英単熟語』)、南雲堂</li> </ol>									
⑦ 参考図書・指定図書									
Educational Testing Service(2020)『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 7』国際ビジネスコミュニケーション協会									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	85%		未提出は減点は30点			15%		100%
(i) (大学レベルの) 基礎的な英語の理解	85%							85%
(ii) 文法用語の理解 (米百俵ドリルを含む)						15%		15%
フィードバックの方法	学習の進捗状況(米百俵ドリルを含む)を見て、理解が十分でないと思われる項目に関しては、授業内容の関連個所での解説時に配慮する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業内容を記したシラバスをよく読み、自主的に予習・復習をしっかりと、教室以外での勉強時間を十分確保してほしい。</li> <li>● 「失格」評価にならないよう出席に関して十分自己管理を行うこと。</li> </ul>

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間(分)	
1	TOEIC テストとは	テキスト、筆記用具	TOEIC テスト関連の配付プリント、テキスト全体に目を通して、TOEIC テストの概要について理解する。	60分
2	現在形、過去形	テキスト、筆記用具	テキスト p.8、p.12、p.16 の予習・復習	60分
3	練習問題	テキスト、筆記用具	テキスト pp.9-15 の予習・復習	60分
4	現在完了形	テキスト、筆記用具	テキスト pp.17-19、p.100 の予習・復習	60分
5	代名詞	テキスト、筆記用具	テキスト pp.20-21 の予習・復習	60分
6	練習問題	テキスト、筆記用具	テキスト pp.22-23 の予習・復習	60分
7	前置詞	テキスト、筆記用具	テキスト pp.24-27 の予習・復習	60分

8	進行形	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.28-29 の予習・復習	60 分
9	練習問題	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.30-31 の予習・復習	60 分
10	名詞と冠詞	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.32-35 の予習・復習	60 分
11	助動詞	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.36-37 の予習・復習	60 分
12	練習問題	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.38-39 の予習・復習	60 分
13	提案と命令	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.40-41 の予習・復習	60 分
14	練習問題	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.42-43 の予習・復習	60 分
15	前期まとめ	テキスト、筆記 用具	各回授業の要点の復習と期末試験 に向けた準備学習	60 分
16	未来形	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.44-47 の予習・復習	60 分
17	疑問文と付加疑問文	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.48-51 の予習・復習	60 分
18	形容詞	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.52-55 の予習・復習	60 分
19	比較	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.56-59 の予習・復習	60 分
20	副詞	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.60-63 の予習・復習	60 分
21	不定詞	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.64-67 の予習・復習	60 分
22	動名詞	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.68-71 の予習・復習	60 分
23	接続詞	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.72-75 の予習・復習	60 分
24	受動態	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.76-79 の予習・復習	60 分
25	形容詞節	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.84-87 の予習・復習	60 分
26	副詞節	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.88-91 の予習・復習	60 分

27	名詞節	テキスト、筆記用具	テキスト pp.96-99 の予習・復習	60分
28	仮定法	テキスト、筆記用具	テキスト pp.92-93 の予習・復習	60分
29	練習問題	テキスト、筆記用具	テキスト pp.94-95 の予習・復習	60分
30	後期まとめ	テキスト、筆記用具	各回授業の要点の復習と期末試験に向けた準備学習	60分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。練習問題を解き、要点を解説することによって、知識の確認及び定着を目指す。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

--

実務経験と授業科目との関連性

--

令和 3 (2021) 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	英語 I D (English I D) 2011011-011					担当教員	関 義夫 (セキ ヨシオ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	1 年次	開講期	通年
科目特性	資格対応科目 TOEIC / 知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
1 年次配当科目「英語 I D クラス」は、「TOEIC テスト」対策を念頭に置きながら、基礎的知識の再確認を行う基礎レベルのクラスである。比較的易しい練習問題を解くことにより、(大学レベルの) 基礎的な英語力を身につける。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 練習問題を解いて答え合わせ、解説を行う。必要に応じて、関連する補足説明も行う。</li> <li>● わからない単語は事前に辞書で調べてくること。必ず復習をし、正解できなかった問題に関しては正解できなかった理由を十分考え、理解すること。</li> <li>● 長岡大学米百俵ドリル「スタンダードコース」での自習も忘れないこと。</li> <li>● 夏休みの宿題がある。提出しないと減点 30 点。単位取得が難しくなる。</li> </ul>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
特になし。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) (大学レベルの) 基礎的な英語を理解できる。主語と動詞の一致、自動詞と他動詞、時制 (現在、過去、未来)、助動詞、進行形、完了形、受動態、不定詞、動名詞、比較、分詞構文等の用法を理解し、運用できる。									
(ii) 文法用語を理解できる。(長岡大学米百俵ドリル「スタンダードコース」の学習を含む。)									
⑥ テキスト (教科書)									
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小宮徹ほか (最新版) <i>Grammar Plus</i> (大学英語『グラマー・プラス』)、南雲堂</li> <li>2. 語学教育教材開発研究会編 (最新版) <i>Word Builder</i> (『基礎から学ぶ TOEIC テスト英単熟語』)、南雲堂</li> </ol>									
⑦ 参考図書・指定図書									
Educational Testing Service(2020)『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 7』国際ビジネスコミュニケーション協会									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	85%		未提出 は減点 30点			15%		100%
(i) (大学レベルの) 基礎的な英語の理解	85%							85%
(ii) 文法用語の理解 (米百俵ドリルを含む)						15%		15%
フィードバックの方法	学習の進捗状況(米百俵ドリルを含む)を見て、理解が十分でないと思われる項目に関しては、授業内容の関連個所での解説時に配慮する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業内容を記したシラバスをよく読み、自主的に予習・復習をしっかりと、教室以外での勉強時間を十分確保してほしい。</li> <li>● 「失格」評価にならないよう出席に関して十分自己管理を行うこと。</li> </ul>

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間(分)	
1	TOEIC テストとは	テキスト、筆記用具	TOEIC テスト関連の配付プリント、 テキスト全体に目を通して、TOEIC テストの概要について理解する。	60分
2	現在形、過去形	テキスト、筆記用具	テキスト p.8、p.12、p.16 の予習・ 復習	60分
3	練習問題	テキスト、筆記用具	テキスト pp.9-15 の予習・復習	60分
4	現在完了形	テキスト、筆記用具	テキスト pp.17-19、p.100 の予習・ 復習	60分
5	代名詞	テキスト、筆記用具	テキスト pp.20-21 の予習・復習	60分
6	練習問題	テキスト、筆記用具	テキスト pp.22-23 の予習・復習	60分
7	前置詞	テキスト、筆記用具	テキスト pp.24-27 の予習・復習	60分

8	進行形	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.28-29 の予習・復習	60 分
9	練習問題	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.30-31 の予習・復習	60 分
10	名詞と冠詞	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.32-35 の予習・復習	60 分
11	助動詞	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.36-37 の予習・復習	60 分
12	練習問題	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.38-39 の予習・復習	60 分
13	提案と命令	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.40-41 の予習・復習	60 分
14	練習問題	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.42-43 の予習・復習	60 分
15	前期まとめ	テキスト、筆記 用具	各回授業の要点の復習と期末試験 に向けた準備学習	60 分
16	未来形	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.44-47 の予習・復習	60 分
17	疑問文と付加疑問文	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.48-51 の予習・復習	60 分
18	形容詞	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.52-55 の予習・復習	60 分
19	比較	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.56-59 の予習・復習	60 分
20	副詞	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.60-63 の予習・復習	60 分
21	不定詞	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.64-67 の予習・復習	60 分
22	動名詞	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.68-71 の予習・復習	60 分
23	接続詞	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.72-75 の予習・復習	60 分
24	受動態	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.76-79 の予習・復習	60 分
25	形容詞節	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.84-87 の予習・復習	60 分
26	副詞節	テキスト、筆記 用具	テキスト pp.88-91 の予習・復習	60 分

27	名詞節	テキスト、筆記用具	テキスト pp.96-99 の予習・復習	60分
28	仮定法	テキスト、筆記用具	テキスト pp.92-93 の予習・復習	60分
29	練習問題	テキスト、筆記用具	テキスト pp.94-95 の予習・復習	60分
30	後期まとめ	テキスト、筆記用具	各回授業の要点の復習と期末試験に向けた準備学習	60分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。練習問題を解き、要点を解説することによって、知識の確認及び定着を目指す。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

--

実務経験と授業科目との関連性

--

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名	英語ⅡA（EnglishⅡA）					担当教員	羽賀 ローリー （ハガ ローリー）		
科目コード	2011022-012								
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	2年次	開講期	通年
科目特性	資格対応科目								

① 授業のねらい・概要
「読んで理解する事」及び「聞いて話す」に重点を置き、ものごとを分かりやすく簡潔に説明出来るように実際の場面を想定したディスカッションなどを行い、基本的なプレゼンテーションの練習も行います。ディクテーションのホームワークも出します。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
コミュニケーション能力を養う。
③ 授業の進め方・指示事項
Controversial Topics used as a tool to understand real life situations and to develop critical thinking skills and the ability to express opinions simply and clearly.
④ 関連科目・履修しておくべき科目
⑤ 標準的な達成レベルの目安
コミュニケーションをとり、お互いに意見を交換し、問題解決できるようになる事を目標とする。 （i）英語でコミュニケーションをとることができる （ii）英語で問題解決できるようになる
⑥ テキスト（教科書）
CNN News Listening 2020 October (Dictation Homework) Discussion materials on current affairs and controversial topics will be distributed by the instructor in class.
⑦ 参考図書・指定図書
CNN News Listening 2020 October

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	30%		40%			30%		100%
(i) 英語でコミュニケーションをとることができる	30%		40%					70%
(ii) 英語で問題解決できるようになる						30%		30%
フィードバックの方法	Test review and discussion							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
To motivate and build confidence, students are encouraged to think and give their own opinions in English through a variety of activities.

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	Student Analysis / Course Synopsis Discussion: Fashion and Identity	宿題用ノート1冊（ルーズリーフ不可）、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
2	What Would You do for Money? Pairwork : Describe a Diagram	宿題用ノート1冊（ルーズリーフ不可）、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
3	Smoking Pair work / Numbers 1~4 Explanation of Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊（ルーズリーフ不可）、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
4	Addiction, what can't you live without? Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊（ルーズリーフ不可）、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分

5	Crime & Friendship. Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊 (ルーズリーフ不可)、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
6	International Marriage Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊 (ルーズリーフ不可)、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
7	Beauty contests Travel Hints Homework Dictation: CNN News Listening	宿題用ノート1冊 (ルーズリーフ不可)、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
8	Dating / Australia Homework Dictation: CNN News Listening	宿題用ノート1冊 (ルーズリーフ不可)、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
9	Cyber Love Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊 (ルーズリーフ不可)、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
10	Leaving Home / Living Together/ Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊 (ルーズリーフ不可)、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
11	Housework? / Gender Issues Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊 (ルーズリーフ不可)、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
12	Age / Love / Money Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊 (ルーズリーフ不可)、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
13	Fan Clubs / Stalking Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊 (ルーズリーフ不可)、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
14	Why Learn English Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊 (ルーズリーフ不可)、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
15	How to learn English Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊 (ルーズリーフ不可)、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
16	Rumor and Innuendo / Vacation	宿題用ノート1冊 (ルーズリーフ不可)、	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分

	Homework Dictation CNN News Listening	A4クリアファイル、英語辞書		
17	Disability Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊（ルーズリーフ不可）、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
18	Dangerous Friends Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊（ルーズリーフ不可）、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
19	Manners Rude Behavior Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊（ルーズリーフ不可）、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
20	Endangered Animals Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊（ルーズリーフ不可）、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
21	Why Not Quit School Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊（ルーズリーフ不可）、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
22	UFO's / Aliens Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊（ルーズリーフ不可）、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
23	Homelessness / Overpopulation Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊（ルーズリーフ不可）、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
24	Education, who should Decide ? Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊（ルーズリーフ不可）、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
25	Do Dreams Tell the Future? Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊（ルーズリーフ不可）、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
26	Family and Children Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊（ルーズリーフ不可）、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
27	Food Culture Homework Dictation	宿題用ノート1冊（ルーズリーフ不可）、	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分

	CNN News Listening	A4クリアファイル、英語辞書		
28	Reincarnation / Religion Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊（ルーズリーフ不可）、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
29	Nature or Nurture Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊（ルーズリーフ不可）、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分
30	Cloning Pets Homework Dictation CNN News Listening	宿題用ノート1冊（ルーズリーフ不可）、 A4クリアファイル、英語辞書	テキストの授業で行った所の復習を行う事。	90分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型ALを採用する。コメントや質問を書かせる。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

UNHCR Project Leader Cambodian Refugee Interpreter Training

JICA Japanese Medical Teams in Thailand Interpreter Training

Thai Medical Staff Interpreter Training

Corporate Trainer Business English

Corporate Trainer Business English for Foreign Assignments

実務経験と授業科目との関連性

An introduction to the necessity and benefits of foreign language training.

令和 3 (2021) 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	英語ⅡB (English ⅡB) 2011022-012					担当教員	関 義夫 (セキ ヨシオ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	2年次	開講期	通年
科目特性	資格対応科目 TOEIC / 知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
2年次配当科目「英語ⅡBクラス」は、「TOEICテスト」対策を念頭に置きながら、英語の基礎力・応用力を高めることを目指すクラスである。練習問題を解くことにより、基礎から中級レベルの英語力を確実に身につける。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 練習問題を解いて答え合わせ、解説を行う。必要に応じて、関連する補足説明も行う。</li> <li>● わからない単語は事前に辞書で調べてくること。必ず復習をし、正解できなかった問題に関しては正解できなかった理由を十分考え、理解すること。</li> <li>● 夏休みの宿題がある。提出しないと減点30点。単位取得が難しくなる。</li> </ul>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
特になし。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 中級レベルの英語（基礎レベルの復習を含む）を理解できる。動詞、助動詞、不定詞、動名詞、進行形、完了形、受動態、比較等の基本的な用法を理解し、運用できる。									
(ii) 文法用語を理解できる。									
⑥ テキスト（教科書）									
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小宮徹ほか（最新版）<i>Grammar Plus</i>（大学英語『グラマー・プラス』）、南雲堂</li> <li>2. 語学教育教材開発研究会編（最新版）<i>Word Builder</i>（『基礎から学ぶTOEICテスト英単熟語』）、南雲堂</li> </ol>									
⑦ 参考図書・指定図書									
Educational Testing Service(2020)『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 7』国際ビジネスコミュニケーション協会									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	85%		未提出は減点は30点			15%		100%
(i) 中級レベルの英語の理解	85%							85%
(ii) 文法用語の理解						15%		15%
フィードバックの方法	学習の進捗状況（課題提出状況を含む）を見て、理解が十分でないと思われる項目に関しては、授業内容の関連個所での解説時に配慮する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業内容を記したシラバスをよく読み、自主的に予習・復習をしっかりと、教室以外での勉強時間を十分確保してほしい。</li> <li>● 「失格」評価にならないよう出席に関して十分自己管理を行うこと。</li> </ul>

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	TOEIC テストとは	テキスト、筆記用具	TOEIC テスト関連の配付プリント、テキスト全体に目を通して、TOEIC テストの概要について理解する。	60分
2	英語 I の復習（1） 代名詞の基礎	テキスト、筆記用具	テキスト p.106 の予習・復習	60分
3	英語 I の復習（2） 動詞（be 動詞、一般動詞）、肯定文、否定文、疑問文の基礎	テキスト、筆記用具	テキスト p.104 の予習・復習	60分
4	英語 I の復習（3） 助動詞、現在完了形の基礎	テキスト、筆記用具	テキスト p.108 の予習・復習	60分
5	進行形（Unit6）要点解説	テキスト、筆記用具	テキスト p.28 の予習・復習	60分
6	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.29-30 の予習・復習	60分
7	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト p.31 の予習・復習	60分
8	名詞と冠詞（Unit7）要点解説	テキスト、筆記用具	テキスト p.32 の予習・復習	60分

9	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.33-34 の予習・復習	60分
10	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト p.35 の予習・復習	60分
11	助動詞 (Unit8) 要点解説	テキスト、筆記用具	テキスト p.36 の予習・復習	60分
12	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.37-38 の予習・復習	60分
13	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト p.39 の予習・復習	60分
14	提案と命令 (Unit9) 要点解説、練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.40-43 の予習・復習	60分
15	前期まとめ	テキスト、筆記用具	各回授業の要点の復習と期末試験に向けた準備学習	60分
16	未来形 (Unit10) 要点解説	テキスト、筆記用具	テキスト pp.44-45 の予習・復習	60分
17	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.46-47 の予習・復習	60分
18	疑問詞と付加疑問文 (Unit11) 要点解説	テキスト、筆記用具	テキスト pp.48-49 の予習・復習	60分
19	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.50-51 の予習・復習	60分
20	形容詞 (Unit12) 要点解説、練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.52-55 の予習・復習	60分
21	比較 (Unit13) 要点解説	テキスト、筆記用具	テキスト pp.56-57 の予習・復習	60分
22	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.58-59 の予習・復習	60分
23	副詞 (Unit14) 要点解説	テキスト、筆記用具	テキスト pp.60-61 の予習・復習	60分
24	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.62-63 の予習・復習	60分
25	不定詞 (Unit15) 要点解説、練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.64-67 の予習・復習	60分
26	動名詞 (Unit16) 要点解説、練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.68-71 の予習・復習	60分
27	接続詞 (Unit17) 要点解説、練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.72-75 の予習・復習	60分

28	受動態 (Unit18) 要点解説	テキスト、筆記用具	テキスト pp.76-77 の予習・復習	60 分
29	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.78-79 の予習・復習	60 分
30	後期まとめ	テキスト、筆記用具	各回授業の要点の復習と期末試験に向けた準備学習	60 分

⑪ アクティブラーニングについて				
知識定着・確認型 AL を採用する。練習問題を解き、要点を解説することによって、知識の確認及び定着を目指す。				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
実務経験と授業科目との関連性				

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名	英語ⅡC（EnglishⅡC）					担当教員	広田 秀樹 （ヒロタ ヒデキ）		
科目コード	2011022-012								
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	2年次	開講期	通年
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
英語の読解力とヒアリング能力の基本を身につけることを目標とする。具体的には、第1に英語の読解力の基本をマスターするための Power Base という「英文法の14の基本公式」を利用したトレーニングを行う。第2に英語の音声をキャッチするヒアリングトレーニング、第3に TOEIC に対応するトレーニングを実施する。授業内容は中級レベルである。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
コミュニケーション能力。									
③ 授業の進め方・指示事項									
英語学習は、確実な積み重ね型の学習なので、毎回の授業内容の十分な理解と定着が重要である。授業内トレーニング、課題等に意欲的に取り組むこと。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
英語Ⅰ									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 英文法の基本事項が理解できること。									
(ii) 英語のヒアリングの基本が理解できること。									
(iii) TOEIC に関する基本的学習ができること。									
⑥ テキスト（教科書）									
学習資料を配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
Gillian Flaherty, James Bean, 鎌倉義士（2020）『聞いて話せる英語演習 Book1』成美堂									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	15%	10%			25%		100%
(i) 英文法の基本事項理解	20%		10%			10%		40%
(ii) ヒアリング能力基礎	20%	10%				10%		40%
(iii) TOEIC 基本対応	10%	5%				5%		20%

フィードバックの方法	試験・小テスト・課題は助言をつけ継続的水準向上につなげる。
------------	-------------------------------

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
英語は、グローバル化時代に生き活躍する使命を有する未来ある若者にとって、マスターすべき世界語である。英語基礎力を固めつつ、一流のトピックスを扱った英語資料等も紹介したい。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	イントロダクション・英語の特徴		英語の特徴に関するレポート作成	120分
2	Power Base とは何か	配布学習資料・課題資料	Power Base 関連課題	120分
3	Power Base トレーニング I	配布学習資料・課題資料	Power Base 自習課題	120分
4	Power Base トレーニング II	配布学習資料・課題資料	Power Base 自習課題	120分
5	Power Base トレーニング III	配布学習資料・課題資料	Power Base 自習課題	120分
6	Power Base トレーニング IV	配布学習資料・課題資料	Power Base 自習課題	120分
7	Power Base トレーニング V	配布学習資料・課題資料	Power Base 自習課題	120分
8	ヒアリング I	配布学習資料・課題資料	ヒアリング自習課題	120分
9	ヒアリング II	配布学習資料・課題資料	ヒアリング自習課題	120分
10	ヒアリング III	配布学習資料・課題資料	ヒアリング自習課題	120分
11	ヒアリング IV	配布学習資料・課題資料	ヒアリング自習課題	120分
12	TOEIC 対応トレーニング I	配布学習資料・課題資料	TOEIC 自習課題	120分
13	TOEIC 対応トレーニング II	配布学習資料・課題資料	TOEIC 自習課題	120分
14	TOEIC 対応トレーニング III	配布学習資料・課題資料	TOEIC 自習課題	120分

15	前期まとめ	配布学習資料・ 課題資料	グローバル・トップレベル・トピックス関連資料に関するレポート	180分
16	Power Base 応用トレーニング I	配布学習資料・ 課題資料	Power Base 自習課題	120分
17	Power Base 応用トレーニング II	配布学習資料・ 課題資料	Power Base 自習課題	120分
18	Power Base 応用トレーニング III	配布学習資料・ 課題資料	Power Base 自習課題	120分
19	Power Base 応用トレーニング IV	配布学習資料・ 課題資料	Power Base 自習課題	120分
20	Power Base 応用トレーニング V	配布学習資料・ 課題資料	Power Base 自習課題	120分
21	ハイレベル・ヒアリング I	配布学習資料・ 課題資料	ヒアリング自習課題	120分
22	ハイレベル・ヒアリング II	配布学習資料・ 課題資料	ヒアリング自習課題	120分
23	ハイレベル・ヒアリング III	配布学習資料・ 課題資料	ヒアリング自習課題	120分
24	ハイレベル・ヒアリング IV	配布学習資料・ 課題資料	ヒアリング自習課題	120分
25	TOEIC 対応トレーニング IV	配布学習資料・ 課題資料	TOEIC 自習課題	120分
26	TOEIC 対応トレーニング V	配布学習資料・ 課題資料	TOEIC 自習課題	120分
27	TOEIC 対応トレーニング VI	配布学習資料・ 課題資料	TOEIC 自習課題	120分
28	英語圏を知るための資料学習 I	配布学習資料・ 課題資料	英語圏関連学習資料に関するレポート	120分
29	英語圏を知るための資料学習 II	配布学習資料・ 課題資料	英語圏関連学習資料に関するレポート	120分
30	まとめ	配布学習資料・ 課題資料	グローバル・トップレベル・トピックス関連資料に関するレポート	180分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。講義で毎回の学習課題のコアを理解し、授業外の自習によってそれらコアの徹底した定着をはかる。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性

令和 3 (2021) 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	英語ⅡD (English ⅡD) 2011022-012					担当教員	関 義夫 (セキ ヨシオ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	2年次	開講期	通年
科目特性	資格対応科目 TOEIC / 知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
2年次配当科目「英語ⅡDクラス」は、「TOEICテスト」対策を念頭に置きながら、英語の基礎力・応用力を高めることを目指すクラスである。練習問題を解くことにより、基礎から中級レベルの英語力を確実に身につける。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 練習問題を解いて答え合わせ、解説を行う。必要に応じて、関連する補足説明も行う。</li> <li>● わからない単語は事前に辞書で調べてくること。必ず復習をし、正解できなかった問題に関しては正解できなかった理由を十分考え、理解すること。</li> <li>● 夏休みの宿題がある。提出しないと減点30点。単位取得が難しくなる。</li> </ul>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
特になし。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 中級レベルの英語（基礎レベルの復習を含む）を理解できる。動詞、助動詞、不定詞、動名詞、進行形、完了形、受動態、比較等の基本的な用法を理解し、運用できる。									
(ii) 文法用語を理解できる。									
⑥ テキスト（教科書）									
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小宮徹ほか（最新版）<i>Grammar Plus</i>（大学英語『グラマー・プラス』）、南雲堂</li> <li>2. 語学教育教材開発研究会編（最新版）<i>Word Builder</i>（『基礎から学ぶTOEICテスト英単熟語』）、南雲堂</li> </ol>									
⑦ 参考図書・指定図書									
Educational Testing Service(2020)『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 7』国際ビジネスコミュニケーション協会									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	85%		未提出は減点は30点			15%		100%
(i) 中級レベルの英語の理解	85%							85%
(ii) 文法用語の理解						15%		15%
フィードバックの方法	学習の進捗状況（課題提出状況を含む）を見て、理解が十分でないと思われる項目に関しては、授業内容の関連個所での解説時に配慮する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業内容を記したシラバスをよく読み、自主的に予習・復習をしっかりと、教室以外での勉強時間を十分確保してほしい。</li> <li>● 「失格」評価にならないよう出席に関して十分自己管理を行うこと。</li> </ul>

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	TOEIC テストとは	テキスト、筆記用具	TOEIC テスト関連の配付プリント、テキスト全体に目を通して、TOEIC テストの概要について理解する。	60分
2	英語 I の復習（1） 代名詞の基礎	テキスト、筆記用具	テキスト p.106 の予習・復習	60分
3	英語 I の復習（2） 動詞（be 動詞、一般動詞）、肯定文、否定文、疑問文の基礎	テキスト、筆記用具	テキスト p.104 の予習・復習	60分
4	英語 I の復習（3） 助動詞、現在完了形の基礎	テキスト、筆記用具	テキスト p.108 の予習・復習	60分
5	進行形（Unit6）要点解説	テキスト、筆記用具	テキスト p.28 の予習・復習	60分
6	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.29-30 の予習・復習	60分
7	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト p.31 の予習・復習	60分
8	名詞と冠詞（Unit7）要点解説	テキスト、筆記用具	テキスト p.32 の予習・復習	60分

9	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.33-34 の予習・復習	60分
10	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト p.35 の予習・復習	60分
11	助動詞 (Unit8) 要点解説	テキスト、筆記用具	テキスト p.36 の予習・復習	60分
12	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.37-38 の予習・復習	60分
13	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト p.39 の予習・復習	60分
14	提案と命令 (Unit9) 要点解説、練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.40-43 の予習・復習	60分
15	前期まとめ	テキスト、筆記用具	各回授業の要点の復習と期末試験に向けた準備学習	60分
16	未来形 (Unit10) 要点解説	テキスト、筆記用具	テキスト pp.44-45 の予習・復習	60分
17	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.46-47 の予習・復習	60分
18	疑問詞と付加疑問文 (Unit11) 要点解説	テキスト、筆記用具	テキスト pp.48-49 の予習・復習	60分
19	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.50-51 の予習・復習	60分
20	形容詞 (Unit12) 要点解説、練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.52-55 の予習・復習	60分
21	比較 (Unit13) 要点解説	テキスト、筆記用具	テキスト pp.56-57 の予習・復習	60分
22	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.58-59 の予習・復習	60分
23	副詞 (Unit14) 要点解説	テキスト、筆記用具	テキスト pp.60-61 の予習・復習	60分
24	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.62-63 の予習・復習	60分
25	不定詞 (Unit15) 要点解説、練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.64-67 の予習・復習	60分
26	動名詞 (Unit16) 要点解説、練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.68-71 の予習・復習	60分
27	接続詞 (Unit17) 要点解説、練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.72-75 の予習・復習	60分

28	受動態 (Unit18) 要点解説	テキスト、筆記用具	テキスト pp.76-77 の予習・復習	60 分
29	練習問題を解く	テキスト、筆記用具	テキスト pp.78-79 の予習・復習	60 分
30	後期まとめ	テキスト、筆記用具	各回授業の要点の復習と期末試験に向けた準備学習	60 分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。練習問題を解き、要点を解説することによって、知識の確認及び定着を目指す。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	中国語 I A (Chinese I A) 2011011-014					担当教員	梅田 周 (ウメダ シュウ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択必修	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	通年
科目特性	認知定着・確認型 AL、資格対応科目								

① 授業のねらい・概要

中国語 I は全部で3つのクラスがありますが、本クラスでは中国語検定合格を目指して学習を進めます。教科書を使って体系的に中国語を学習していきます。また、文化や食べ物などの紹介も行い理解を深めます。語学力やコミュニケーション力は目には見えないものです。せっかく学習するので、検定に合格し自分の能力を可視化しましょう。そして就職活動、留学、大学院進学など自身の将来のための大きな強みにしましょう。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

コミュニケーション能力

③ 授業の進め方・指示事項

教科書を使用して授業を進めていきますので、必ず用意をして下さい。  
連絡事項や課題提出を Google クラウドを使用するので、アプリ等を用意してください。  
授業は毎回以下の①～⑥のサイクルで進めます。

- 
- ①5分 前回小テスト返却&自習
  - ②10分 小テスト実施
  - ③5分 前回小テスト答え合わせ&上位得点者表彰
  - ④10分 ミニ会話練習
  - ⑤40分 教科書解説
  - ⑥20分 ドリル&音読練習
- 

計 90 分

※本シラバスは予定であり、実際の履修者人数や学習者のニーズによって適宜変更を加える可能性があります。ご了承ください。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

関連科目として中国語 II、III と続きますので二年次や三年次に継続して履修することを推奨します。

⑤ 標準的な達成レベルの目安

(i)本科目を1年間真剣に取り組めば中国語検定の準4級に合格するレベル (ii) 中国語の発音や四声について理解及び使用できる (iii) 基礎的な中国語の語彙や文法を理解及び使用できる
⑥ テキスト（教科書）
楊凱榮・張麗群（2015）「LOVE！上海 初級」朝日出版社 2,400円（+税） 梅田純子（2017）「中国語ミニ会話-30-」 エコール国際ネットワーク出版 1,080円（税込）
⑦ 参考図書・指定図書
戴曉旬（2016）「合格奪取！中国語検定 準4級トレーニングブック（CD2枚付改訂版）」アスク出版 長澤文子・盧尤（2013）「出るところだけ！中国語検定準4級合格一直線」アスク出版 日本中国語検定協会公式WEBサイト <a href="http://www.chuken.gr.jp/tcp/grade.html">http://www.chuken.gr.jp/tcp/grade.html</a>

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%		40%					100%
(i) 準4級に合格するレベル	60%		20%					80%
(ii) 発音や四声の理解			10%					10%
(iii) 語彙や文法の理解			10%					10%
フィードバックの方法	毎回の小テストで採点したものを返却する。評価コメントを加える。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
予習の必要はありませんが、復習は必要です。 ・確認小テストのための復習を毎回90分程度以上勉強してください。 ・復習のための宿題プリントを6回目の授業から配布しますので、しっかり取り組んでください。 また、希望者へはICTを活用し、学習を助ける動画教材やeラーニングを適宜行います。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	ガイダンス及び発音練習①	教科書	分
2	発音練習②	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強 90分
3	第1課 浦東空港にて	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強 90分

4	第2課 タクシーに乗って	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
5	第3課 ホテルでお茶を	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
6	第4課 私の家族	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
7	第5課 趣味は映画です	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
8	第6課 大学の図書館へ	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
9	第7課 放課後	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
10	第8課 上海の交通	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
11	第9課 地下鉄駅付近にて	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
12	第10課 上海の”小吃”	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
13	第11課 ちょっとお腹が空いた	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
14	第12課 突然の雨	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
15	まとめ及びレビュー 中国語検定準4級模擬試験	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
16	ガイダンス及び前期の復習	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
17	第14課 おなかいっぱいです	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
18	第15課 外難の夜景	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
19	第16課 上海語はおもしろい	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
20	第17課 ホテルの部屋から	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
21	第18課 どうしたの？	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
22	第19課 上海は魅力的	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分

23	第20課 また会いましょう	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
24	第1課 虹橋空港にて	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
25	第2課 地下鉄に乗って	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
26	第3課 上海の交通は便利です	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
27	第4課 2週間上海にいます	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
28	第5課 豫園でショッピング	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
29	第6課 道を尋ねる	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
30	第7課 オールドジャズバンド	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分

⑪ アクティブラーニングについて	
知識定着・確認型ALを採用する。毎回の授業内で前回学習した内容の確認小テストを行うことで、定着度を測る。それにより、語学力を可視化することが可能となり日々の学習の進捗を管理できるとともに、目標である資格試験合格へ近づける。	

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	
実務経験と授業科目との関連性	

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	中国語 I B (Chinese I B) 2011011-014					担当教員	白雪晴 (バイ ショエチン)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択必修	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	通年
科目特性	資格対応科目 / 認知定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>中国語の基礎を身につける。</p> <p>中国語の発音や基本的な文法事項を理解するとともに、それを踏まえた会話や作文（中国語検定準 4 級程度）ができるようにする。また、単に語学の習得に終わることなく中国の文化理解を合わせて行うことで、異文化コミュニケーション能力の向上を図る。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
<p>講師の発音指導、説明を主とし、CD、板書、配布印刷物、視聴覚メディア等を活用する。毎回提出物も要求される。語学を身につける上で必要な、練習の繰り返しが単調にならないよう様々な学習方法を織り交ぜて授業を進める。</p>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
関連科目として中国語Ⅱ、Ⅲと続けて履修することを推奨する。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i) 中国語を発音記号つきで全部読める。</p> <p>(ii) 基礎的な文法を理解したうえ、日記風の文章が書ける。</p> <p>(iii) 中国の文化に興味を持つようになる。</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
『LOVE！上海 初級中国語』 楊凱榮・張麗群 朝日出版社 2,400 円（+税）									
⑦ 参考図書・指定図書									
『中国語ミニ会話・30・』 梅田純子 (株)エコー国際ネットワーク出版 1,080 円（税込）									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	30%		30%			40%		100%
(i) 中国語を発音記号つきで全部読める	10%		10%			10%		30%
(ii) 基礎的な文法を理解したうえ、日記風の文章が書ける。	10%		10%			10%		30%
(iii) 中国の文化に興味を持つようになる。	10%		10%			20%		40%
フィードバックの方法								

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
教材についている CD を、繰り返し聞き、復習をすることが一番肝心。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	中国語発音の入門（ピンイン）の構成、中国語全般について	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習 60分
2	発音、クラス全員の名前を中国語で言ってみる、中国の文化を学ぶ（プリントで書く）	教科書 参考書	前回授業の復習 60分
3	発音編の卒業、発音のルール、日本語と中国語の特徴	教科書 配布資料	前回授業の復習 90分
4	動詞述語文、「吗」疑問文、名前の言い方	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習 90分
5	疑問詞疑問文、「的」の使い方、副詞の「也」	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習 90分
6	所在を表す動詞「在」、1-10 数字、量詞、指示詞「这、那、哪」	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習 90分
7	所有・存在を表す「有」、家族の言い方、接続詞「和」	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習 90分

8	喜欢+動詞、推量を表す助詞「吧」、副詞「都」	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
9	形容詞述語文、連動文、助動詞「想」	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
10	名詞述語文、正反疑問文、時刻と曜日	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
11	完了を表す助詞「了」、前置詞「在」、経験を表す助詞「过」	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
12	選択疑問文「还是」、副詞「还」、形容詞の連体修飾	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
13	助動詞「会」、同市の連体修飾、「～极了」	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
14	副詞「有点儿」、前置詞「离」、変化と新しい事態を表す助詞「了」	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
15	復習のまとめ	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
16	1学期の復習まとめ、動詞+「一下」、方位詞	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
17	存現文、比較を表す前置詞「比」、	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
18	値段の言い方、「太～了」、「一点儿」、副詞「再」	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
19	結果補語、時間幅、副詞「就」「才」	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
20	離合詞、助動詞「可以」、方向補語①	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
21	主述述語文、助動詞「能」、二重目的語	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
22	方向補語②、前置詞の「给」	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
23	前置詞「跟」、副詞「还」、接続詞「而且」	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
24	方向補語②、兼語文	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
25	原因を表す「怎么」、短い文章を書く	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分

26	副詞「一直」「刚」、動詞+「了」 +数量表現+「了」	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
27	動量詞、「就要～了」、「～的话」	教科書 参考書	前回授業の復習	90分
28	様態補語	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
29	補語のまとめ	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分
30	復習のまとめ	教科書 参考書 配布資料	前回授業の復習	90分

⑪ アクティブラーニングについて	
学生自らは毎課の練習問題を解くことによって、理解力を高めていく。知識定着、各内容について講義と確認・実践を行う。	

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	中国語 IC (Chinese I C) 2011011-014					担当教員	白 雪晴 (バイ ショエチン)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択必修	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	通年
科目特性	資格対応科目 / 知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
本講義は、初心者を対象とし、中国語に興味がわき、将来の仕事の場にも活躍させるため、しっかり基礎を身につけることを目指す。生徒さんが、中国語をピンインつきで完璧に読め、ピンインなしでもある程度読めるようになる。そして、基礎的な文法も理解し、使えるようにする。授業内容に合わせて、より中国の文化に触れ、日中文化に対して考えるようになる。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
グローバル的な視点を持ち、社会に貢献できる能力。 コミュニケーション能力。									
③ 授業の進め方・指示事項									
講師の発音指導、説明を主とし、CD も毎回聞き補充手段にする。板書、配布印刷物、視聴覚メディア等を活用する。中国語が話せるため、試行錯誤をしていく。提出物、作文の作成練習もある。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
特になし。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 中国語についての認識。 (ii) 中国語の基礎を身につける。 (iii) 慣用句的な文法を理解したうえ、ある程度の長い文章が書ける。									
⑥ テキスト (教科書)									
『LOVE! 上海 初級中国語』 楊凱榮・張麗群 朝日出版社									
⑦ 参考図書・指定図書									
特になし。									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法									
------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	70%					30%		100%
(i) 基本概念の理解	30%					20%		50%
(ii) 基本知識の応用	20%					5%		25%
(iii) 中国語の特徴を把握	20%					5%		25%
フィードバックの方法	課ごとに練習問題を出す。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
教材についている CD を繰り返し聞き、同時に発音することが有効的です。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	発音、中国語で自分の名前を言う、中国語はどんな言語？	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
2	発音、クラス全員の名前を中国語で。中国語を勉強する心構え	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
3	発音編の卒業、発音のルール、日本語と中国語の特徴。	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
4	動詞述語文、「吗」疑問文、名前の言い方	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
5	疑問詞疑問文、「的」の使い方、副詞の「也」	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
6	所在の動詞「在」、1-10数字、量詞、指示詞「这、那、哪」	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
7	所有・存在を表す「有」、家族の言い方、接続詞「和」	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
8	喜欢+動詞、推量を表す助詞「吧」、副詞「都」	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
9	形容詞述語文、連動文、助動詞「想」	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分

10	名詞述語文、正反疑問文、時刻と曜日	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
11	完了を表す助詞「了」、前置詞「在」、経験を表す助詞「过」	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
12	選択疑問文「还是」、副詞「还」、形容詞の連体修飾	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
13	助動詞「会」、同市の連体修飾、「～极了」	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
14	副詞「有点儿」、前置詞「离」、変化と新しい事態の助詞「了」	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
15	復習のまとめ	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
16	動詞+「一下」、方位詞	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
17	存現文、比較を表す前置詞「比」	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
18	値段の言い方、「太～了」、「一点儿」、副詞「再」	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
19	結果補語、時間幅、副詞「就」「才」	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
20	離合詞、助動詞「可以」、方向補語①	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
21	主述述語文、助動詞「能」、二重目的語	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
22	方向補語②、前置詞の「给」	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
23	前置詞「跟」、副詞「还」、接続詞「而且」	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
24	方向補語②、兼語文	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
25	原因を表す「怎么」、短い文章を書く	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
26	副詞「一直」「刚」、動詞+「了」+数量表現+「了」	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分

27	動量詞、「就要～了」、「～的话」	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
28	様態補語	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
29	補語のまとめ	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分
30	復習まとめ	教科書、筆記用具	前回授業内容の復習	30分

⑪ アクティブラーニングについて
学生自らは毎課授業及び復習によって、理解力を高めていく。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	中国語Ⅱ（ChineseⅡ） 2011022-015					担当教員	梅田 周 （ウメダ シュウ）		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2年次	開講期	通年
科目特性	認知定着・確認型AL、資格対応科目								

① 授業のねらい・概要									
<p>本科目では中国語検定4級の合格を目指して学習を進めます。そのため、中国語Ⅰの単位を既に習得済みで且つ中国語検定準4級に合格をした学生が履修をすることを強くお勧めします。</p> <p>教科書を使って体系的に中国語を学習していきます。また、文化や食べ物などの紹介も行い理解を深めます。語学力やコミュニケーション力は目には見えないものです。せっかく学習するので、検定に合格し自分の能力の可視化しましょう。そして就職活動、留学、大学院進学など自身の将来のための大きな強みにしましょう。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
<p>教科書を使用して授業を進めていきますので、必ず用意をして下さい。</p> <p>連絡事項や課題提出を Google クラウドを使用するので、アプリ等を用意してください。</p> <p>授業は毎回以下の①～⑥のサイクルで進めます。</p> <p>-----</p> <p>①5分 前回小テスト返却&amp;自習</p> <p>②10分 小テスト実施</p> <p>③5分 前回小テスト答え合わせ&amp;上位得点者表彰</p> <p>④10分 ミニ会話練習</p> <p>⑤40分 教科書解説</p> <p>⑥20分 ドリル&amp;音読練習</p> <p>-----</p> <p>計 90分</p> <p>※本シラバスは予定であり、実際の履修者人数や学習者のニーズによって適宜変更を加える可能性があります。ご了承ください。</p>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
<p>一年次中国語Ⅰを既に履修済みの学生が履修することが望ましい。</p> <p>三年次には中国語Ⅲを履修することが望ましい。</p>									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									

(i)本科目を1年間真剣に取り組めば中国語検定の4級に合格するレベル (ii) 平易な中国語を聞き、話すことができる (iii) 平易な中国語の語彙や文法を理解及び使用できる
⑥ テキスト（教科書）
楊凱榮・張麗群（2016）「LOVE！上海2 初級～中級」 朝日出版社 2,400円（+税） その他、問題集や参考書の購入をお願いする場合があります。その都度授業で説明します。
⑦ 参考図書・指定図書
戴曉旬（2015）「合格奪取！中国語検定4級 トレーニングブック（CD2枚付 改訂版）」アスク出版 長澤文子・盧尤（2013）「出るところだけ！中国語検定4級合格一直線」アスク出版 日本中国語検定協会公式WEBサイト <a href="http://www.chuken.gr.jp/tcp/grade.html">http://www.chuken.gr.jp/tcp/grade.html</a>

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%		40%					100%
(i) 4級に合格するレベル	60%		20%					80%
(ii) 発音や四声の理解			10%					10%
(iii) 語彙や文法の理解			10%					10%
フィードバックの方法	毎回の小テストで採点したものを返却する。評価コメントを加える。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
予習の必要はありませんが、復習は必要です。 ・確認小テストのための復習を毎回90分程度以上勉強してください。 ・復習のための宿題プリントを配布しますので、しっかり取り組んでください。 また、希望者へはICTを活用し、学習を助ける動画教材やeラーニングを適宜行います。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	ガイダンス&4級模擬試験	教科書	分
2	4級模擬試験	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強 90分
3	6課 道を尋ねる	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強 90分

4	7課 オールドジャズバンド	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
5	8課 ジャズバーで飲みながら	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
6	9課 上海人の友達の家で	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
7	10課 朝食後は何をしますか？	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
8	11課 市場にて	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
9	12課 上海人も好きです	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
10	13課 日本料理を食べてみたい	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
11	14課 お寺に興味はありますか？	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
12	15課 日本料理を食べて	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
13	16課 散歩から帰って	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
14	17課 列車のチケット	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
15	18課 周庄は遠いですか？	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
16	19課 帰国前のひと時	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
17	20課 留学したいですか？	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
18	21課 何時に出発しますか？	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
19	22課 また来てください	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
20	中検4級対策講座①	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
21	中検4級対策講座②	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
22	中検4級対策講座③	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分

23	HSK 対策講座①	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
24	HSK 対策講座②	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
25	HSK 対策講座③	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
26	中検 4 級模擬試験	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
27	中検 4 級模擬試験解答解説	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
28	HSK 模擬試験	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
29	HSK 模擬試験解説	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分
30	まとめ	教科書	前回授業の復習、小テスト勉強	90分

⑪ アクティブラーニングについて	
知識定着・確認型 AL を採用する。毎回の授業内で前回学習した内容の確認小テストを行うことで、定着度を測る。それにより、語学力を可視化することが可能となり日々の学習の進捗を管理できるとともに、目標である資格試験合格へ近づける。	

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	韓国語 I (Korean I) 2011011-016					担当教員	権 五景 (グォン オーギョン)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択必修	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	通年
科目特性	資格対応科目								

① 授業のねらい・概要
日本語の語順とほぼ同じであり、文法も酷似している隣国朝鮮半島の言葉（韓国語）と文字（ハングル）を学ぶ。韓国語は世界の言語の中で最も日本語と似ており、短期間で最も上達できる言語である。韓国語と日本語が似ていることは前期ではそれほど体感することはできないが、後期になるとたくさん体感できる。ところで、「外国語一つぐらいできなきゃ」の時代に生きている。その外国語を韓国語にし、積極的に挑戦してほしい。前期は主に文字の読み書きができるようになり、後期は簡単な会話ができるようになる。また、授業内容は基礎的なものである。「ハングル」能力検定試験5級に対応している。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
コミュニケーション能力
③ 授業の進め方・指示事項
大きな声で発声し、反復学習を行う。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
なし
⑤ 標準的な達成レベルの目安
(i)文字の読み書きができること (ii)簡単な日常会話ができること
⑥ テキスト（教科書）
ギム・ジョンスグ他（2020）『世宗韓国語1』韓国国立国語院 初回の授業時に閲覧方法を紹介する。
⑦ 参考図書・指定図書

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法
------------------------------

具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%	10%			20%		100%
(i) 文字の読み書きができること	25%	10%	5%			10%		50%
(ii) 簡単な日常会話が できること	25%	10%	5%			10%		50%
フィードバックの方法	添削して返却する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）

授業時間中には大声で発音をしてほしい。

⑩ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	講義ガイダンスとハングルについて	ノート	ハングル創製の原理としての天地人と陰陽の考え方	30分
2	母音字とその発音（I）	配布資料	短母音の暗記	60分
3	母音字とその発音（II）	配布資料	複母音の暗記	60分
4	子音字とその発音（I）	配布資料	基本子音の暗記	90分
5	子音字とその発音（II）	配布資料	その他の子音の暗記	60分
6	激音と濃音	配布資料	ティッシュペーパーを使った発音の練習	30分
7	複合母音	配布資料	ルール通りではない母音の暗記	60分
8	バッチムの基本	配布資料	0 1 ・ 1 0 の法則	60分
9	バッチムの応用	配布資料	0 1 ・ 1 0 以外の法則	90分
10	動詞	配布資料	陽性母音、陰性母音、する動詞	90分

11	形容詞	配布資料	パターン別変化の暗記	90分
12	連音 (I)	配布資料	次の文字の初声が母音の場合	30分
13	連音 (II)	配布資料	次の文字の初声が子音の場合	90分
14	疑問文	配布資料	陽性母音、陰性母音の場合	90分
15	否定文	配布資料	2つのパターンの練習	60分
16	時制	配布資料	陽性母音、陰性母音の場合	60分
17	敬語	配布資料	陽性母音、陰性母音の場合	60分
18	数詞	配布資料	固有数詞の変化暗記	60分
19	各種単位	配布資料	固有語と漢字語	90分
20	動詞変化	配布資料	陽性母音、陰性母音の場合	60分
21	形容詞変化	配布資料	陽性母音、陰性母音の場合	60分
22	接続詞	配布資料	助詞と合わせて暗記	90分
23	漢字の発音	配布資料	韓国語と日本語の共通点と相違点	90分
24	呼称	配布資料	敬語と合わせて練習	60分
25	疑問詞	配布資料	助詞と合わせて暗記	60分
26	指示代名詞	配布資料	助詞と合わせて暗記	60分
27	副詞	配布資料	助詞と合わせて暗記	90分
28	勧誘の表現	配布資料	敬語と合わせて暗記	90分
29	語尾	配布資料	敬語と合わせて暗記	60分

30	辞書の活用法	配布資料	インターネット上の辞書の活用	60分
----	--------	------	----------------	-----

⑪ アクティブラーニングについて				
読み書き能力の確認のため、簡単な小テストを行う。				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
実務経験と授業科目との関連性				

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名	韓国語 II (Korean II)					担当教員	権 五景 (グォン オーギョン)		
科目コード	2011022-017								
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2年次	開講期	通年
科目特性	資格対応科目								

① 授業のねらい・概要									
韓国語による基礎的な日常会話ができることを目指す授業である。授業内容は韓国語 I の復習と動詞・形容詞の活用が中心となる。なお、後期は検定試験の準備も並行する形で行う。また、授業内容は初級の水準である。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
教科書の内容に基づいて、会話を繰り返す。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
韓国語 I の履修が望ましい。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 簡単な会話ができるようになる。 (ii) 日記が書けるようになる。									
⑥ テキスト（教科書）									
ギム・ジョンスグ他（2020）『世宗韓国語2』韓国国立国語院 初回の授業時に閲覧方法を紹介する。									
⑦ 参考図書・指定図書									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%	20%			10%		100%
(i) 簡単な会話ができるよ	25%	10%	10%			5%		50%

うになる								
(ii) 日記が書けるようになる	25%	10%	10%			5%		50%
(iii)								
フィードバックの方法	添削して返却する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）	
宿題をしっかりとこなすことが、会話力に直結する。	

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	講義ガイダンス	ノート	ハングルによる自己紹介文の作成	60分
2	漢字音変化「バッチムㄷ」、「初声ㄷ」	ノート	事例探し	60分
3	漢字音変化「バッチムㅇ」	ノート	事例探し	60分
4	漢字音変化「母音」	ノート	事例探し	60分
5	漢字音変化「子音」	ノート	事例探し	60分
6	「-は」、「-が」	教科書	文章作り	60分
7	「-を」、「-と」	教科書	文章作り	60分
8	名詞と助詞の特別な形	教科書	名詞と助詞の特別な形の暗記	60分
9	「-である」、「ではありませんでした」、「でした」	教科書	文章作り	60分
10	「-ます」	教科書	文章作り	60分

11	「～です」	教科書	文章作り	60分
12	「～ました」	教科書	文章作り	60分
13	「～でした」	教科書	文章作り	60分
14	「～だったです」	教科書	文章作り	60分
15	「ある」、「いる」	教科書	文章作り	60分
16	「ましょうか」	教科書	文章作り	60分
17	敬語	教科書	文章作り	60分
18	「～てはいけません」	教科書	文章作り	60分
19	「～たことがあります」	教科書	文章作り	60分
20	「～ましょう」	教科書	文章作り	60分
21	「～たいです」	教科書	文章作り	60分
22	「～ません」、「～（では）ありません」	教科書	文章作り	60分
23	「～ことにしました」	教科書	文章作り	60分
24	連体形	教科書	文章作り	60分
25	ㄷ 脱落	教科書	文章作り	60分
26	ㄹ 変則用言	教科書	文章作り	60分
27	ㄴ 変則用言	教科書	文章作り	60分
28	ㄹ 変則用言	教科書	文章作り	60分
29	ㅇ 変則用言	教科書	文章作り	60分

30	変則用言でない動詞と形容詞	教科書	文章作り	60分
----	---------------	-----	------	-----

⑪ アクティブラーニングについて				
授業の1/2の時間を会話練習に活用する。				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
実務経験と授業科目との関連性				

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	日本語 I -1 (Japanese I -1) 2011011-018					担当教員	村越 真紀 (ムラコシ マキ)		
科目区分	教養科目 (留学生 科目)	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	資格対応科目／知識定着・確認型 AL／協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要									
4技能（読む、書く、聞く、話す）を伸ばすことを目指す。 日本語能力試験（JLPT）N2 に合格することを目指す。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力 コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
状況によって、試験のやり方が変わります。試験の前に説明します。 毎回、授業の最後に、出席確認を兼ねた小テストをします。 授業の前：次の授業で勉強するテキストの範囲を予習しておいてください。 授業の後：授業の内容を確認してください。 授業はすべて日本語で行います。 教室では、自分の国の言葉や英語を使わず、日本語で話してください。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
日本事情									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 日本語能力試験（JLPT）N2 レベルの語彙を習得できた。 (ii) 日常の事柄や自分のことについて、簡単な日本語で伝えられる。 (iii) N2 レベルの文章が読め、まとまりのある文章が書ける。									
⑥ テキスト（教科書）									
伊能裕晃他(2011)『新完全マスター語彙 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク 佐々木瑞枝他（2006年）『大学で学ぶための日本語ライティング』The Japan Times									
⑦ 参考図書・指定図書									
友松悦子他（2010年）『どなたときどう使う日本語表現文型辞典』アルク									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	10%	10%		15%	15%		100%
(i) 日本語能力試験 (JLPT) N2 レベルの語彙を習得できた。	30%	10%	5%			5%		50%
(ii) 日常の事柄や自分のことについて、日本語で伝えられる。	10%				10%	5%		25%
(iii) N2 レベルの文章が読め、まとまりのある文章が書ける。	10%		5%		5%	5%		25%
フィードバックの方法	課題は添削して返却する。小テストは採点后、返却する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
積極的に授業に参加してください。 授業時間以外にも、自分で勉強してください。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	オリエンテーション、自己紹介、日本語入力の確認、授業の注意点の説明、教室の会話	教科書、ノート、筆記用具、辞書	日本語で自己紹介ができるように準備しておく。60分
2	語彙テキスト 第1部第1章、第1課、メールの書き方1（基本フォーマット、）	教科書、ノート、筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。90分
3	語彙テキスト第1章、第2課 ライティングテキスト第1課	教科書、ノート、筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。ミニスピーチの準備をする。90分
4	語彙テキスト第1章、第3課 ライティングテキスト第1課	教科書、ノート、筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。ミニスピーチの準備をする。90分

5	語彙テキスト第2章、第1課 ミニスピーチ1	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。	90分
6	語彙テキスト第2章、第1課 ライティングテキスト第2課	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。 ミニスピーチの準備をする。	90分
7	語彙テキスト第2章、第2課 ライティングテキスト第2課	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。 ミニスピーチの準備をする。	90分
8	語彙テキスト第2章、第3課 ライティングテキスト第3課	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。 ミニスピーチの準備をする。	90分
9	語彙テキスト第3章、 ライティングテキスト第3課	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。 ミニスピーチの準備をする。	90分
10	語彙テキスト第4章、第1課 ミニスピーチ2	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。	90分
11	語彙テキスト第4章、第1課 ライティングテキスト第4課	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。 ミニスピーチの準備をする。	90分
12	語彙テキスト第4章、第2課 ライティングテキスト第4課	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。 ミニスピーチの準備をする。	90分
13	語彙テキスト第5章、第1課 ライティングテキスト第5課	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。 ミニスピーチの準備をする。	90分
14	語彙テキスト第5章、第2課 ライティングテキスト第5課	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。	90分

15	語彙テキスト第6章、第1課 ミニスピーチ3	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。	90分
----	--------------------------	---------------------	--	-----

⑪ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL、協同学修型 AL

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名	日本語 I -2 (Japanese I -2)					担当教員	村越 真紀 (ムラコシ マキ)		
科目コード	2011011-019								
科目区分	教養科目 (留学生 科目)	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	資格対応科目／知識定着・確認型 AL／協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>4技能（読む、書く、聞く、話す）を伸ばすことを目指す。 日本語能力試験（JLPT）N2 に合格することを目指す。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
<p>職業人として通用する能力 コミュニケーション能力</p>									
③ 授業の進め方・指示事項									
<p>状況によって、試験のやり方が変わります。試験の前に説明します。 毎回、授業の最後に、出席確認を兼ねた小テストをします。 授業の前：次の授業で勉強するテキストの範囲を予習しておいてください。 授業の後：授業の内容を確認してください。 授業はすべて日本語で行います。 教室では、自分の国の言葉や英語を使わず、日本語で話してください。</p>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
日本事情									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i) 日本語能力試験（JLPT）N2 レベルの語彙を習得できた。 (ii) 日常の事柄や自分のことについて、日本語で伝えられる。 (iii) N2 レベルの文章が読め、まとまりのある文章が書ける。</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
<p>伊能裕晃他(2011)『新完全マスター語彙 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク 佐々木瑞枝他(2006年)『大学で学ぶための日本語ライティング』The Japan Times</p>									
⑦ 参考図書・指定図書									
友松悦子他(2010年)『どなたときどう使う日本語表現文型辞典』アルク									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	10%	10%		15%	15%		100%
(i) 日本語能力試験 (JLPT) N2 レベルの語彙を習得できた。	30%	10%	5%			5%		50%
(ii) 日常の事柄や自分のことについて、日本語で伝えられる。	10%				10%	5%		25%
(iii) N2 レベルの文章が読め、まとまりのある文章が書ける。	10%		5%		5%	5%		25%
フィードバックの方法	課題は添削して返却する。小テストは採点后、返却する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
積極的に授業に参加してください。 授業時間以外にも、自分で勉強してください。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間 (分)	
1	オリエンテーション、夏休みの宿題発表	教科書、ノート、筆記用具、辞書	夏休みの宿題について発表できるように準備しておく	60分
2	語彙テキスト 第1部第6章、第2課、ライティングテキスト第6課	教科書、ノート、筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。	90分
3	語彙テキスト第7章、第1課 ライティングテキスト第6課	教科書、ノート、筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする	90分
4	語彙テキスト第7章、第2課 ライティングテキスト第7課	教科書、ノート、筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする。	90分
5	語彙テキスト第7章、第3課 ミニスピーチ1	教科書、ノート、筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習	90分

			しておく。	
6	語彙テキスト第7章、第4課 ライティングテキスト第7課	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。 ミニスピーチの準備をする。	90分
7	語彙テキスト第8章、第1課 ライティングテキスト レポートを書くための基礎 知識	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。 ミニスピーチの準備をする。	90分
8	語彙テキスト第8章、第2課 ライティングテキスト レポートを書くための基礎 知識	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。 ミニスピーチの準備をする。	90分
9	語彙テキスト第9章、第1課 ライティングテキスト レポートを書くための基礎 知識	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。 ミニスピーチの準備をする。	90分
10	語彙テキスト第9章、第2課 ミニスピーチ2	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。	90分
11	語彙テキスト第2部、 第1章、第1課 ライティングテキスト第8課	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。 ミニスピーチの準備をする。	90分
12	語彙テキスト第1章、第1課 ライティングテキスト第8課	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。 ミニスピーチの準備をする。	90分
13	語彙テキスト第1章、第2課 ライティングテキスト第9課	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。 ミニスピーチの準備をする。	90分
14	語彙テキスト第1章、第2課 ライティングテキスト第9課	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。	90分
15	語彙テキスト第1章、第2課 ミニスピーチ3	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習	90分

			しておく。	
--	--	--	-------	--

⑪ アクティブラーニングについて				
知識定着・確認型 AL、協同学修型 AL				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
実務経験と授業科目との関連性				

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	日本語Ⅱ-1（JapaneseⅡ-1） 2011022-020					担当教員	村越 真紀 （ムラコシ マキ）		
科目区分	教養科目 （留学生 科目）	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	2年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL／協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要
4技能（読む、書く、聞く、話す）を伸ばすことを目指す。 N2 または N1 に合格することを目指す。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力 コミュニケーション能力
③ 授業の進め方・指示事項
状況によって、試験のやり方が変わる。詳しいことは試験の前に説明する。 毎回、授業の最後に、出席確認を兼ねた小テストを行う。 授業の前：次の授業にそなえて準備しておくこと。 授業の後：授業の内容を確認すること。 教室では、母語や英語を使わず、日本語で話すこと。 授業はすべて日本語で行う。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
日本事情、日本語Ⅰ-1、日本語Ⅰ-2
⑤ 標準的な達成レベルの目安
(i)日本語能力試験（JLPT）N2レベルの語彙や文法の問題が解ける。 (ii)身近な話題や個人的に関心のある話題について、日本語で伝えられる。 (iii)N2レベルの文章が読め、まとまりのあるやや長い文章が書ける。
⑥ テキスト（教科書）
伊能裕晃他(2011)『新完全マスター語彙 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク ABK 財団法人 アジア学生文化協会（2014年）『TRY! 日本語能力試験 N2 文法から伸ばす日本語』ア スク（中国語版、ベトナム語版、英語版があるので、各自自分が使いやすいものを購入すること。）
⑦ 参考図書・指定図書
友松悦子他（2010年）『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク 佐々木瑞枝他（2006年）『大学で学ぶための日本語ライティング』The Japan Times 二通信子、佐藤不二子（2020年）『新訂版留学生のための論理的な文章の書き方』スリーエーネット

ワーク

日本語能力試験問題研究会（2011年）『日本語能力試験直前対策 N2 文字・語彙・文法』国書刊行会  
田代ひとみ他（2011年）『新完全マスター読解 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法

具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	10%	10%		15%	15%		100%
(i) 日本語能力試験（JLPT） N2レベルの語彙や文法の 問題が解ける。	40%	10%				5%		55%
(ii) 身近な話題や個人的に 関心のある話題について、 日本語で伝えられる。	5%		5%		10%	5%		25%
(iii) N2レベルの文章が読 め、まとまりのあるやや長 い文章が書ける。	5%		5%		5%	5%		20%
フィードバックの方法	スピーチ原稿は添削して返却する。小テストは採点后、解説の時間を設ける。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）

積極的に授業に参加してください。  
授業時間以外にも、自分で勉強してください。

⑩ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	オリエンテーション、自己紹介、授業の注意点の説明、 語彙テキスト第2部、第1章、 第3課、 資料を利用してレポートを書く1	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	自己紹介の準備をしておく。 前年度使用したテキストを使い、授業内容を予習しておくこと。分からない単語は調べておくこと。	60分
2	語彙テキスト第1章、第3課、 資料を利用してレポートを書く2	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニ	90分

			スピーチを準備しておく。	
3	語彙テキスト第2章、第1課 文法テキスト1スタッフ募集の お知らせ	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。指示されたテーマでミニ スピーチを準備しておく。	90分
4	語彙テキスト第2章、第1課 文法テキスト2転任のあいさつ (1)	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。指示されたテーマでミニ スピーチを準備しておく。	90分
5	語彙テキスト第2章、第2課 文法テキスト2転任のあいさつ (2)	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。指示されたテーマでミニ スピーチを準備しておく。	90分
6	語彙テキスト第2章、第2課 文法テキスト3ホテルの仕事 ミニスピーチ1	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。指示されたテーマでミニ スピーチを準備しておく。	90分
7	語彙テキスト第3章、 文法テキスト3ホテルの仕事	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。指示されたテーマでミニ スピーチを準備しておく。	90分
8	語彙テキスト第3章、 文法テキスト4台風情報	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。指示されたテーマでミニ スピーチを準備しておく。	90分
9	語彙テキスト第4章、第1課 文法テキスト4台風情報	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。指示されたテーマでミニ スピーチを準備しておく。	90分
10	語彙テキスト第4章、第1課 ミニスピーチ2	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。指示されたテーマでミニ スピーチを準備しておく。	90分
11	語彙テキスト第4章、第2課 文法テキスト5就職活動(1)	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。指示されたテーマでスピー ーチを準備しておく。	90分

12	語彙テキスト第4章、第2課 文法テキスト5 就職活動(2)	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。指示されたテーマでスピー ーチを準備しておく。	90分
13	語彙テキスト第4章、第3課 文法テキスト6 苦労した5年間 (1)	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。指示されたテーマでスピー ーチを準備しておく。	90分
14	語彙テキスト第4章、第3課 文法テキスト6 苦労した5年間 (2)	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習 しておく。指示されたテーマでスピー ーチを準備しておく。	90分
15	スピーチ	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	指示されたテーマでスピーチを準 備しておく。	90分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL、協同学修型 AL

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	日本語Ⅱ-2（JapaneseⅡ-2） 2011022-021					担当教員	村越 真紀 （ムラコシ マキ）		
科目区分	教養科目 （留学生 科目）	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	2年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL／協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要									
4技能（読む、書く、聞く、話す）を伸ばすことを目指す。 N2 または N1 に合格することを目指す。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力 コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
状況によって、試験のやり方が変わる。詳しいことは試験の前に説明する。 毎回、授業の最後に、出席確認を兼ねた小テストを行う。 授業の前：次の授業にそなえて準備しておくこと。 授業の後：授業の内容を確認すること。 教室では、母語や英語を使わず、日本語で話すこと。 授業はすべて日本語で行う。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
日本事情、日本語Ⅰ-1、日本語Ⅰ-2									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i)日本語能力試験（JLPT）N2 レベルの語彙や文法の問題が解ける。 (ii)身近な話題や個人的に関心のある話題について、日本語で伝えられる。 (iii) N2 レベルの文章が読め、まとまりのあるやや長い文章が書ける。									
⑥ テキスト（教科書）									
伊能裕晃他(2011)『新完全マスター語彙 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク ABK 財団法人 アジア学生文化協会（2014年）『TRY! 日本語能力試験 N2 文法から伸ばす日本語』ア スク									
⑦ 参考図書・指定図書									
友松悦子他（2010年）『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク 佐々木瑞枝他（2006年）『大学で学ぶための日本語ライティング』The Japan Times 二通信子、佐藤不二子（2020年）『新訂版留学生のための論理的な文章の書き方』スリーエーネット									

ワーク

日本語能力試験問題研究会（2011年）『日本語能力試験直前対策 N2 文字・語彙・文法』国書刊行会  
田代ひとみ他（2011年）『新完全マスター読解 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法

具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	10%	10%		15%	15%		100%
(i) 日本語能力試験（JLPT） N2レベルの語彙や文法の 問題が解ける。	40%	10%				5%		55%
(ii) 身近な話題や個人的に 関心のある話題について、 日本語で伝えられる。	5%		5%		10%	5%		25%
(iii) N2レベルの文章が読 め、まとまりのあるやや長 い文章が書ける。	5%		5%		5%	5%		20%
フィードバックの方法	スピーチ原稿は添削して返却する。小テストは採点后、解説の時間を設ける。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）

積極的に授業に参加してください。  
授業時間以外にも、自分で勉強してください。

⑩ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	オリエンテーション、夏休みの宿題発表、	教科書、ノート、筆記用具、辞書	夏休みの宿題を、発表できるように準備しておく。 60分
2	語彙テキスト第5章、 文法テキスト7オオカミと生態系（1）	教科書、ノート、筆記用具、辞書	前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。 90分
3	語彙テキスト第5章、 文法テキスト7オオカミと生態系（1）（2）	教科書、ノート、筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニ 90分

			スピーチを準備しておく。	
4	語彙テキスト第6章、第1課 文法テキスト7オオカミと生態系 (2)	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	90分
5	語彙テキスト第6章、第2課 文法テキスト8取引先で ミニスピーチ1	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	90分
6	語彙テキスト第6章、第2課 文法テキスト8取引先で	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	90分
7	語彙テキスト第7章、第1課 文法テキスト9食べ放題 (1)	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	90分
8	語彙テキスト第7章、第2課 文法テキスト9食べ放題 (1) (2)	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	90分
9	語彙テキスト第7章、第3課 文法テキスト9食べ放題 (2)	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	90分
10	語彙テキスト第7章、第4課 ミニスピーチ2	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	90分
11	文法テキスト10満員電車 (1)	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでスピーチ原を準備しておく。	90分
12	文法テキスト10満員電車 (2)	教科書、ノート、 筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでスピーチを準備しておく。	90分

13	文法テキスト 11 ラーメンの紹介	教科書、ノート、筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでスピーチを準備しておく。	90分
14	文法テキスト 12 ウォーキングシューズの開発 (1)	教科書、ノート、筆記用具、辞書	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでスピーチを準備しておく。	90分
15	文法テキスト 12 ウォーキングシューズの開発 (2) スピーチ	教科書、ノート、筆記用具、辞書	指示されたテーマでスピーチを準備しておく。	90分

⑪ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL、協同学修型 AL

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性

授業科目名 科目コード	コンピュータリテラシー1 (Computer Literacy 1) 2012011-024					担当教員	村山 光博 (ムラヤマ ミツヒロ) 高梨 俊彦 (タカナシ トシヒコ) 高島 幸成 (タカシマ コウセイ) 吉川 宏之 (ヨシカワ ヒロユキ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単 位 数	1	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	資格対応科目／知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>ワープロソフト(Microsoft Word) を取り上げ、実際の利用をとおして文書の処理方法を学んでいきます。コンピュータの利用方法、文字の入力、漢字変換から始め、文字サイズなどの文書の装飾や、表の作成、図形の操作などの基礎を学んでいきます。</p> <p>Word 文書処理技能認定試験 3 級に対応した、基礎レベルの科目です。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
<p>コンピュータを使いながら実習形式で行ないます。テキストおよび説明は、Windows にインストールされた Microsoft Word 2016 を用いて行います。</p> <p>テキストに沿って行います。授業時は必ず参照できるようにすること。テキストが無い場合は、授業を受けることができません。</p>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>ワープロソフトを使い、表の入った A4 用紙 1 枚程度の案内文を 1 時間程度で作成できることを目標とします。したがって、決められた時間内に下記のことが要求されます。</p> <p>(i)日本語、アルファベット、記号の入力ができること。</p> <p>(ii)フォント、段落書式の設定ができること。</p> <p>(iii)表の作成ができること。</p> <p>(iv)図形の配置ができること。</p> <p>(v)印刷書式の設定ができること。</p> <p>Word 文書処理技能認定試験 3 級に合格できる実力を養うことを目標とします。</p>									

⑥ テキスト（教科書）
サーティファイソフトウェア活用能力認定委員会編『Word 文書処理技能認定試験 3級問題集(2016対応)』（株式会社サーティファイ）
⑦ 参考図書・指定図書

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		20%			30%		100%
(i) 日本語、アルファベット、記号の入力	10%		4%			6%		20%
(ii) フォント、段落書式の設定	10%		4%			6%		20%
(iii) 表の作成	10%		4%			6%		20%
(iv) 図形の配置	10%		4%			6%		20%
(v) 印刷書式の設定	10%		4%			6%		20%
フィードバックの方法	操作方法などについて、質問を受け、授業でフィードバックを行う。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
「実技で操作がうまくいかない」、「入力が遅れて説明を聞き逃した」など、トラブルが生じたときは、講師、アシスタントに遠慮なく伝えて早めに解決していく。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	授業の進め方. Windows の基本的な使い方		スマホへのメールの転送の確認を行う 30分
2	文字の入力、簡単な文書の入力		タッチタイピングのための、指の使い方を確認する。 30分
3	簡単な書式の設定	テキスト	文字書式の設定について、複数の設定方法を試してみる。 30分
4	罫線の作成	テキスト	表の挿入、罫線の種類の設定、行列の挿入、削除、列幅の変更を行う。 30分

5	図形の操作	テキスト	図形の挿入, 移動, サイズの変更. 図形の書式の変更, 文字との重ね合わせを変更してみる.	30分
6	練習問題 1「人材育成セミナーの案内文書」	テキスト	練習問題 1 について、授業時間内に 終えられなかった部分を作成し保 存しておく。	30分
7	練習問題 2「学級だより」	テキスト	練習問題 2 について、授業時間内に 終えられなかった部分を作成し保 存しておく。	30分
8	練習問題 3「業務報告書」	テキスト	練習問題 3 について、授業時間内に 終えられなかった部分を作成し保 存しておく。	30分
9	模擬問題 1「体験学習の案内文書」	テキスト	模擬問題 1 について、授業時間内に 終えられなかった部分を作成し保 存しておく。	30分
10	模擬問題 2「オーリーブオイルフ ェアの案内のチラシ」	テキスト	模擬問題 2 について、授業時間内に 終えられなかった部分を作成し保 存しておく。	30分
11	模擬問題 3「エコにつながる節 約生活の案内文書」	テキスト	模擬問題 3 について、授業時間内に 終えられなかった部分を作成し保 存しておく。	30分
12	模擬問題 4「デジカメ情報誌」	テキスト	模擬問題 4 について、授業時間内に 終えられなかった部分を作成し保 存しておく。	30分
13	模擬問題 5「花粉症対策用品の 販売促進のチラシ」	テキスト	模擬問題 5 について、授業時間内に 終えられなかった部分を作成し保 存しておく。	30分
14	模擬問題 6「都会のオアシス探 訪日誌」	テキスト	模擬問題 6 について、授業時間内に 終えられなかった部分を作成し保 存しておく。	30分
15	模擬問題 7「食材を紹介するチ ラシ」	テキスト	サンプル問題を作成し、学期末試験 に備える。	60分

⑪ アクティブラーニングについて	
知識定着・確認型 AL を採用する。課題の作成を基に、操作方法など理解していない部分を確認して いくことで、学修内容にフィードバックする。	

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性

授業科目名 科目コード	コンピュータリテラシー2 (Computer Literacy 2) 2012011-025					担当教員	村山 光博 (ムラヤマ ミツヒロ) 坂井 一貴 (サカイ カズタカ) 高島 幸成 (タカシマ コウセイ) 吉川 宏之 (ヨシカワ ヒロユキ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	資格対応科目 / 知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要
表計算ソフト(Microsoft Excel)を取り上げ、実際の利用をとおして表の作成方法、データの集計方法やグラフ化の手法を学んでいきます。後半は練習問題を通して技能を高め、最終的に Excel 表計算処理技能認定試験 3 級に合格できる実力を養うことを目的に行ないます。 Excel 表計算処理技能認定試験 3 級に対応した、基礎レベルの科目です。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
コンピュータを使いながら実習形式で行ないます。 テキストに沿って行います。授業時は必ず持参すること。テキストが無い場合は、授業を受けることができません。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
⑤ 標準的な達成レベルの目安
表計算ソフトを使い、表の作成、並べ替え、フィルタ、グラフの作成、印刷設定を 1 時間程度で作成できることを目標とします。したがって、決められた時間内に下記のことが要求されます。 (i)表を作成し、合計、平均などの計算を行うこと。 (ii)フォント、列幅、罫線、表示形式などの書式設定。 (iii)表の並べ替えや、条件に沿った行の抽出。 (iv)グラフの作成と配置。 (v)印刷書式の設定ができること。 Excel 表計算処理技能認定試験 3 級に合格できる実力を養うことを目標とします。
⑥ テキスト（教科書）

サーティファイソフトウェア活用能力認定委員会編『Excel 表計算処理技能認定試験 3級問題集 (2016 対応)』(株式会社サーティファイ)

⑦ 参考図書・指定図書

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		20%			30%		100%
(i)表を作成し、合計、平均などの計算を行う。	10%		4%			6%		20%
(ii)フォント、列幅、罫線、表示形式などの書式設定。	10%		4%			6%		20%
(iii)表の並べ替えや、条件に沿った行の抽出。	10%		4%			6%		20%
(iv)グラフの作成と配置。	10%		4%			6%		20%
(v)印刷書式の設定。	10%		4%			6%		20%
フィードバックの方法	操作について、授業内でフィードバックを行う。							

⑨ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
「実技で操作がうまくいかない」、「入力が遅れて説明を聞き逃した」など、トラブルが生じたときは、講師、アシスタントに遠慮なく伝えて早めに解決していく。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間 (分)
1	簡単な計算		日本語入力の ON/OFF、式の入力方法、四則演算の指定方法の確認を行う。 30分
2	書式の設定		文字書式の指定、罫線の引き方、罫線の削除方法、表示形式の確認を行う。 30分
3	合計、平均、最大、最小		合計の計算方法について、複数の方法を行い、操作の確認をする。罫線などセル書式が設定されている場 30分

			合の貼り付けの指定方法を確認する。	
4	練習問題 1「営業部売上達成率表」①	テキスト	練習問題 1 について、計算式、関数と絶対指定の確認をおこなう。	30 分
5	練習問題 1「営業部売上達成率表」②	テキスト	練習問題 1 について、グラフと印刷設定の確認をおこなう。	30 分
6	練習問題 2「月別サービス商品売上票表」①	テキスト	練習問題 2.について、計算式、関数と絶対指定の確認をおこなう。	30 分
7	練習問題 2「月別サービス商品売上票表」②	テキスト	練習問題 1 について、グラフと印刷設定の確認をおこなう。	30 分
8	練習問題 3「中間テスト成績表(前期)」	テキスト	練習問題 3 を復習し、授業時間内に終えられなかった部分を作成し保存しておく。	30 分
9	模擬問題 1「仕入元別販売数量表」	テキスト	模擬問題 1 を復習し、授業時間内に終えられなかった部分を作成し保存しておく。	30 分
10	模擬問題 2「都市別世代別人口表」	テキスト	模擬問題 2 を復習し、授業時間内に終えられなかった部分を作成し保存しておく。	30 分
11	模擬問題 3「開発部経費内訳表」	テキスト	模擬問題 3 を復習し、授業時間内に終えられなかった部分を作成し保存しておく。	30 分
12	模擬問題 4「1 2 月生活費表」	テキスト	模擬問題 4 を復習し、授業時間内に終えられなかった部分を作成し保存しておく。	30 分
13	模擬問題 5「新商品地区別売上表」	テキスト	模擬問題 5 を復習し、授業時間内に終えられなかった部分を作成し保存しておく。	30 分
14	模擬問題 6「広告効果の分析報告書」	テキスト	模擬問題 6 を復習し、授業時間内に終えられなかった部分を作成し保存しておく。	30 分
15	模擬問題 7「公務員試験完全制覇ノルマ達成表」	テキスト	サンプル問題を作成し、学期末試験に備える。	60 分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。課題の作成を基に、操作方法など理解していない部分を確認していくことで、学修内容にフィードバックする。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ネットワークリテラシー（Network Literacy） 2012011-026				担当教員	高梨 俊彦 （タカナシ トシヒコ） 吉川 宏之 （ヨシカワ ヒロユキ） 坂井 一貴 （サカイ カズタカ）			
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL／資格対応科目								

① 授業のねらい・概要									
情報機器の利用、Web サイトの閲覧、電子メールの送受信、インターネットを安全に使うためのマナーやモラルに関連した基礎知識と利用方法を学び、インターネットを自由に利活用するのに必要とされる基本的な知識と能力を身につける。「.com Master BASIC」の合格水準に達する知識を習得することができる。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
専門的知識・技能を活用する能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
テキストをもとに主に講義形式で授業を進める。必要に応じてコンピュータの使った実習を行う。テキストは必ず購入して持参すること。授業で学習した範囲のテキストの例題と模擬問題を解き、その内容を確実に理解すること。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) コンピュータやインターネットに関する専門用語の意味が理解できた。 (ii) ブラウザや電子メールを安全に利用し、簡単なトラブルに対処できる知識を習得した。 (iii) マナーを守ってインターネットを安全に正しく利用できるようになった。									
⑥ テキスト（教科書）									
小林道夫(2017)『完全対策 NTT コミュニケーションズ インターネット検定 .com Master BASIC 問題+総まとめ（公式テキスト第4版対応）』NTT 出版株式会社									
⑦ 参考図書・指定図書									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	30%				20%		100%
(i) コンピュータやインターネットに関する専門用語の意味が理解できた	30%	20%				10%		60%
(ii) ブラウザや電子メールを安全に利用し、簡単なトラブルに対処できる知識を習得した	15%	5%				5%		25%
(iii) マナーを守ってインターネットを安全に正しく利用できるようになった	5%	5%				5%		15%
フィードバックの方法	小テストは採点后、解説の時間を設ける。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
例題をこなし、理解度を確認しながら授業を進めていく。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	授業概要、インターネットの利用	教科書、筆記用具	教科書 p.23～38 の復習と例題と模擬問題での復習	60分
2	情報機器の基礎知識①（インターフェース）	教科書、筆記用具	教科書 p.41～49 の予習と例題と模擬問題での復習	60分
3	情報機器の基礎知識②（入出力機器）	教科書、筆記用具	教科書 p.50～55 の予習と例題と模擬問題での復習	60分
4	情報機器の基礎知識③（記録メディアとデータサイズ）	教科書、筆記用具	教科書 p.56～63 の予習と例題と模擬問題での復習	60分
5	OS とアプリケーションソフト	教科書、筆記用具	教科書 p.65～75 の予習と例題と模擬問題での復習	60分
6	情報機器の操作と機能	教科書、筆記用具	教科書 p.76～90 の予習と例題と模擬問題での復習	60分

7	インターネットの仕組み 小テスト	教科書、筆記用具	教科書 p.93～99 の予習と例題と模擬問題での復習 テスト準備学習	120分
8	インターネット接続・家庭内LAN	教科書、筆記用具	教科書 p.101～115 の予習と例題と模擬問題での復習	60分
9	Web ページ・Web ブラウザの操作	教科書、筆記用具	教科書 p.117～123 の予習と例題と模擬問題での復習	60分
10	電子メール・電子メールの利用	教科書、筆記用具	教科書 p.125～135 の予習と例題と模擬問題での復習	60分
11	Web ブラウザや電子メール利用時のトラブル	教科書、筆記用具	教科書 p.137～139 の予習と例題と模擬問題での復習	60分
12	インターネット社会のルールと情報の扱い	教科書、筆記用具	教科書 p.141～163 の予習と例題と模擬問題での復習	60分
13	情報管理・マルウェアと不正アクセス	教科書、筆記用具	教科書 p.165～177 の予習と例題と模擬問題での復習	60分
14	インターネットの安全な利用 小テスト	教科書、筆記用具	教科書 p.180～196 の予習と例題と模擬問題での復習 小テスト準備学習	120分
15	インターネット利用と法律	教科書、筆記用具	教科書 p.199～212 の予習と例題と模擬問題での復習	60分

⑪ アクティブラーニングについて	
復習用課題と事前学習用課題の二つを行うことによって知識の定着を図る知識定着・確認型 AL を採用する。提出用紙に書かれた質問や改善要望について、各回の始めに答え、学修内容をフィードバックする。	

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	
実務経験と授業科目との関連性	

授業科目名 科目コード	プレゼンテーションソフト利用技術 (Presentation Software Application Technology) 2012022-027					担当教員	高梨 俊彦 (タカナシ トシヒコ) 坂井 一貴 (サカイ カズタカ) 西俣 先子 (ニシマタ ヒロコ) 高島 幸成 (タカシマ コウセイ)			
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単 位 数	2	配当年次	2年次	開講期	前期	
科目特性	知識定着・確認型 AL / 資格対応科目									

① 授業のねらい・概要
<p>プレゼンテーションでは、企画やアイデアなどの特定のテーマについて、限られた時間の中でその目的や必要な情報を相手にわかりやすく伝えることが重要である。プレゼンテーション資料の作成を支援するソフトウェアの一つである Microsoft PowerPoint は、企業内の企画会議や顧客への提案活動などに積極的に利用されている。本授業では、PowerPoint を用いた効果的なプレゼンテーション資料の作成を行うための知識および技能を学ぶ。「PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験 上級」に対応している。</p>
② ディプロマ・ポリシーとの関連
専門的知識・技能を活用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
知識問題は講義形式で実技問題は実習形式で進めていく。コンピュータを使った実習形式であるため、テキストは必ず購入して授業に持参すること。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
⑤ 標準的な達成レベルの目安
<p>(i) Microsoft PowerPoint に関する基礎的な技能を有し、標準的なプレゼンテーションを作成することができる。</p> <p>(ii) Microsoft PowerPoint に関する実践的な技能を駆使して、効果的なプレゼンテーションを作成することができる。</p>
⑥ テキスト（教科書）

サーティファイソフトウェア活用能力認定委員会(2019)『PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験問題集(2016 対応)(第2版)』サーティファイ
⑦ 参考図書・指定図書
株式会社ウイネット(2016)『PowerPoint2016 クイックマスター(第1版)』ウイネット

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	15%	15%			20%		100%
(i) Microsoft PowerPoint に関する基礎的な技能を有し、標準的なプレゼンテーションを作成することができる	20%	5%	5%			10%		40%
(ii) Microsoft PowerPoint に関する実践的な技能を駆使して、効果的なプレゼンテーションを作成することができる	30%	10%	10%			10%		60%
フィードバックの方法	小テストは採点后、解説の時間を設ける。							

⑨ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
理解度を確認できる課題を通して、確実に知識・技能の習得を目指す。

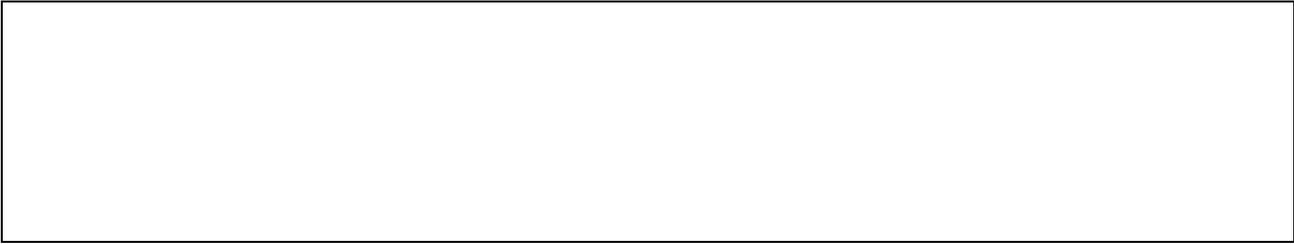
⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間 (分)
1	PowerPoint の基本操作	教科書、筆記用具	PowerPoint の基本操作と教科書 p.4～5 の復習 60分
2	実技「Hill Top Castle 雪が丘」	教科書、筆記用具	教科書 p.6～10 の予習、復習課題の提出 60分
3	実技「ぬいぐるみ工房」入力・知識「書式設定」	教科書、筆記用具	教科書 p.13～15・p.84～85 の予習、復習課題の提出 60分
4	実技「ぬいぐるみ工房」編集・知識「編集」	教科書、筆記用具	教科書 p.16～19・p.97～99 の予習、復習課題の提出 60分

5	実技「秋の寄せ植え講座」・知識「検索・置換」	教科書、筆記用具	教科書 p.22～30・p.100～101 の予習、復習課題の提出	60分
6	実技「エジプト旅行記」・知識「野線と表」	教科書、筆記用具	教科書 p.34～39・p.102～106 の予習、復習課題の提出	60分
7	実技「インターネット利用率調査結果」・知識「オブジェクト」	教科書、筆記用具	教科書 p.42～49・p.107～111 の予習、復習課題の提出	60分
8	実技「健康な生活のために」入力	教科書、筆記用具	教科書 p.121～124 の予習、復習課題の提出	60分
9	実技「健康な生活のために」編集	教科書、筆記用具	教科書 p.125～130 の予習、復習課題の提出	60分
10	実技「Atelier K」入力	教科書、筆記用具	教科書 p.134～137 の予習、復習課題の提出	60分
11	実技「Atelier K」編集	教科書、筆記用具	教科書 p.138～142 の予習、復習課題の提出	60分
12	実技「ブライダルフェア」入力	教科書、筆記用具	教科書 p.146～152 の予習、復習課題の提出	60分
13	実技「ブライダルフェア」編集	教科書、筆記用具	教科書 p.153～157 の予習	60分
14	上級模擬問題演習	教科書、筆記用具	上級模擬問題準備学習	60分
15	実技「システム提案書」	教科書、筆記用具	教科書 p.170～178 の予習	60分

⑪ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。出題した課題の内容を基に、各回の始めに課題の評価・考察を行い、学修内容をフィードバックする。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性



令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名	哲学（Philosophy）					担当教員	鈴木 覚 （スズキ サトル）		
科目コード	2013011-028								
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講 期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要

哲学は本来「学ぶもの」というより「する」ものである。哲学を勉強しなくても、哲学することはできる。ただ、勉強して様々な考え方を学んだ方が、自分で哲学するとき役立つ。この授業では、西洋の古代哲学から現代哲学までを概観し、自分で哲学的に考えていくための様々な「思考のツール」を学ぶ。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

職業人として通用する能力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

主に講義形式で授業を進める。毎回授業の最後に、次回小テストに向けた課題を出す。翌週の授業の最初に、前回の課題に関する小テストを行う。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

特になし。

⑤ 標準的な達成レベルの目安

- (i) 哲学の基本概念を理解できるようになること。
- (ii) 哲学の基本概念を用いて哲学上の諸問題について論述できるようになること。

⑥ テキスト（教科書）

貫成人(2008)『図説・標準 哲学史』新書館

⑦ 参考図書・指定図書

羽野幸春(2010)『詳解 倫理資料 新訂版』実教出版

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%				30%		100%
(i) 基本概念の理解	30%	20%				30%		80%
(ii) 基本概念を用いた論 述	20%							20%
フィードバックの方法	小テストは、用紙回収後に解説する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
教養は人生を豊かなものにします。社会に出ると教養の勉強をする時間を確保するのは難しくなるので、学生時代のうちにしっかりと勉強しておきましょう。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	導入とソクラテス	筆記用具	ソクラテスの復習とプラトンとアリストテレスの予習	60分
2	プラトンとアリストテレス	筆記用具	プラトンとアリストテレスの復習と大陸合理論の予習	60分
3	大陸合理論	筆記用具	大陸合理論の復習とイギリス経験論の予習	60分
4	イギリス経験論	筆記用具	イギリス経験論の復習とカント（コペルニクスの転回）の予習	60分
5	カント（コペルニクスの転回）	筆記用具	カント（コペルニクスの転回）の復習とカント（知と信）の予習	60分
6	カント（知と信）	筆記用具	カント（知と信）の復習とヘーゲルの予習	60分
7	ヘーゲル	筆記用具	ヘーゲルの復習とマルクス（疎外論）の予習	60分
8	マルクス（疎外論）	筆記用具	マルクス（疎外論）の復習とマルクス（物象化論）の予習	60分
9	マルクス（物象化論）	筆記用具	マルクス（物象化論）の復習とハイデgger（存在の意味への問い）の予習	60分
10	ハイデgger（存在の意味への問い）	筆記用具	ハイデgger（存在の意味への問い）の復習とハイデgger（死の先	60分

			駆) の予習	
11	ハイデッガー (死の先駆)	筆記用具	ハイデッガー (死の先駆) の復習とフーコー (狂気の歴史) の予習	60分
12	フーコー (狂気の歴史)	筆記用具	フーコー (狂気の歴史) の復習とフーコー (規律・訓練) の予習	60分
13	フーコー (規律・訓練)	筆記用具	フーコー (規律・訓練) の復習とウイトゲンシュタイン (思考の限界) の予習	60分
14	ウイトゲンシュタイン (思考の限界)	筆記用具	ウイトゲンシュタイン (思考の限界) の復習とウイトゲンシュタイン (言葉の意味) の予習	60分
15	ウイトゲンシュタイン (言葉の意味)	筆記用具	ウイトゲンシュタイン (言葉の意味) の復習	60分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。毎回授業の最初に、前回の課題に関する小テストを行い、テスト用紙回収後、その内容について解説する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	社会科学のための数学（Mathematics for Social Science） 2013011-029					担当教員	鯉江 康正 （コイエ ヤスマサ）		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	資格対応科目／知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>本授業は、経済学や経営学を学ぶために必要な数学の基礎知識を学習することを目的とする。経済学や経営学を学ぶときに、数学がネックになり、理解度が低くなってしまいう学生が見られる。本講義では、数学の基礎から復習しつつ、経済学や経営学を理解できるように関連した数学を、練習問題を取り入れて実施していく。したがって、数学が苦手な学生が、スムーズに社会科学を学べるようにすることを目標とする。また、公務員試験を意識した内容で講義を進める。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力を養う。									
③ 授業の進め方・指示事項									
数学は積み上げ式学問であるから、毎回の講義に対応した項目についてテキストを精読し、配布された練習問題を確実にやっていくこと。また、学修活動を確認するために、課題の提出を求める。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
特になし。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i) 基礎的な数学の知識を身につける</p> <p>(ii) 経済学や経営学の基礎的な問題が解けるようになる。</p> <p>(iii)</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
白石俊輔（著）、尾山大輔・安田洋祐（監修）（2014年）『経済学で出る数学 ワークブックでじっくり攻める』日本評論社									
⑦ 参考図書・指定図書									
尾山大輔・安田洋祐（編著）（2013年）『[改訂版] 経済学で出る数学 高校数学からきちんと攻める』日本評論社									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%		10%			30%		100%
(i) 基礎的な数学の知識を身につける	30%		5%			15%		50%
(ii) 経済学や経営学の基礎的な問題が解けるようになる。	30%		5%			15%		50%
(iii)								
フィードバックの方法	課題は採点して模範解答を添付し返却する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
基礎的な学習に力を入れていく。特に数学が苦手で、大学での学びに不安がある学生におすすめの数学入門講座である。ただし、全くの努力なしに数学は身につくものではないので、理解しようとする努力は必要である。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	オリエンテーション 1次関数と市場メカニズム① (関数と変数)	テキスト	$y = ax + b$ のグラフ、マーシャルの罫と逆関数、合成関数	30分
2	1次関数と市場メカニズム② (連立方程式と市場均衡、グラフと余剰)	テキスト	連立方程式、需要曲線、供給曲線、市場均衡、消費者余剰、生産者余剰、総余剰	60分
3	1次関数と市場メカニズム③ (応用練習問題)	テキスト	直線の式の決定、損益分岐点分析、豊作貧乏__不作だと、課題の提出	90分
4	2次関数と独占・寡占市場①(2次式の展開と因数分解)	テキスト	2次式の扱いに習熟するための展開と因数分解の計算練習	60分
5	2次関数と独占・寡占市場② (2次関数のグラフ)	テキスト	$y = a(x - s)^2 + t$ のグラフ、 $y = a(x - \alpha)(x - \beta)$ のグラフ	60分
6	2次関数と独占・寡占市場③ (2次関数のグラフ、2次関数	テキスト	$y = ax^2 + bx + c$ のグラフ、独占企業の利潤最大化	60分

	の応用)			
7	2次関数と独占・寡占市場④ (2次関数の応用)	テキスト	寡占市場のゲーム理論、課題の提出	90分
8	1変数関数の微分と利潤最大化① (2次関数の微分と利潤最大化)	テキスト	2次関数の微分、1変数関数の最適化：2次関数	60分
9	1変数関数の微分と利潤最大化② (多項式関数の微分と利潤最大化)	テキスト	多項式関数の微分公式、1変数関数の最適化：多項式関数、増減表、損益分岐価格と操業停止価格	60分
10	1変数関数の微分と利潤最大化③ (よく出る関数と微分の公式)	テキスト	1変数関数の最適化：指数関数、対数関数等、最適化の例：利潤最大化、弾力性	60分
11	1変数関数の微分と利潤最大化④ (経済学への応用)	テキスト	労働と余暇、消費と貯蓄、課題の提出	90分
12	多変数関数の微分と効用最大化① (多変数関数の微分)	テキスト	色々な変数についての微分、定数と係数を見分ける	60分
13	多変数関数の微分と効用最大化② (偏微分)	テキスト	偏微分の記号とその意味、偏微分の練習	60分
14	多変数関数の微分と効用最大化③ (制約なしの最適化と制約付きの最適化)	テキスト	制約条件なしの最適化、制約条件ありの最適化、課題の提出	90分
15	多変数関数の微分と効用最大化④ (ラグランジュ未定乗数法の図解)	テキスト	予算制約のある最適化、同次関数、試験の準備	90分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型ALを採用する。毎回の講義で質問感想シートを配布し、次の講義の最初にそれに対する解説を行い、学生の理解度を高めていく。また、練習問題等を通して、知識の定着を図る。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名	英文学 (English Literature)					担当教員	関 義夫 (セキ ヨシオ)		
科目コード	2013011-030								
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
イギリス小説の中から数作品を取り上げ、「小説を読むとはどのような行為なのか」ということについて、小説の技法に注目しながら考える。小説技法（リアリズム、意識の流れ、インターテクスチャリティ、視点など）に注目することにより、小説という虚構世界の人工性について理解する。 学期末試験のほかにレポート（課題）提出あり。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 講義形式で授業を進める。</li> <li>● 15回分のプリント資料をまとめて配付するので、毎回必ず持参すること。</li> <li>● 指定図書からのレポート（課題）提出あり。指定図書については授業で指示する。</li> <li>● 授業中に紹介する作品については、図書館等を利用し、事前または事後に必ず目を通しておくこと。不明な文学用語は、図書館所蔵の文学辞典やインターネット等を利用して、各自、調べること。</li> </ul>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
特になし。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 「小説を読むとはどのような行為なのか」について自分の考えを述べられる。 (ii) 小説技法（リアリズム、意識の流れ、インターテクスチャリティ、作者・テキスト・読者の関係、視点など）について理解できる。小説の「人工性」、「枠組みの恣意性」について理解できる。 (iii) 「読み」の多様性について理解し、自分の考えをレポート（課題）として提出する。									
⑥ テキスト（教科書）									
プリント資料使用（授業開始時に15回分をまとめて配付予定）									
⑦ 参考図書・指定図書									
ヴァージニア・ウルフ『ダロウェイ夫人』、マイケル・カニンガム『めぐりあう時間たち』 トマス・ハーディ『テス』、メアリー・シェリー『フランケンシュタイン』（光文社古典新訳文庫） H.G.ウェルズ『タイムマシン』 上田和夫編『イギリス文学辞典』（研究社）									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%			35%		15%		100%
(i) 「小説を読むとはどういう行為なのか」についての自分の考え	30%							30%
(ii) 小説技法の理解	20%							20%
(iii) 「読み」の多様性の理解と自分の考え(レポート提出)				35%		15%		50%
フィードバックの方法	学習の進捗状況を見て、理解が十分でないと思われる項目に関しては、関連個所の追加プリントの配付や画像資料(プロジェクタ)を用いての解説も行う。							

⑨ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
<p>授業内容を記したシラバスを十分理解したうえで履修登録をすること。</p> <p>授業への出席だけでなく、授業時間以外に自分で自主的に行わなければならないレポート作成(指定図書を読んで自分の考えをまとめる)が要求されるので、よく考えて履修登録をすること。レポート作成は、かなり時間がかかります。作品の粗筋を書いただけのレポートは、合格点がつきません。</p>

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間(分)	
1	イントロダクション (15回授業の概要等の説明)	筆記用具	「小説を読むとはどういう行為なのか」について自分なりに考えてみる。	60分
2	授業で取り上げる小説家たちについて	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号1~18を読んでもく。	60分
3	レポート課題小説の粗筋について	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号19~30を読んでもく。	60分
4	小説の技法①(19世紀リアリズム小説)	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号31~35を読んでもく。	60分
5	小説の技法②(20世紀初頭の実験的小説、意識の流れ)	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号36~30を読んでもく。	60分

6	小説の技法としての「語り」の変化について	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 40～48 を読んでくる。	60分
7	「視点」に関するモデルの一例紹介	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 49～60 を読んでくる。	60分
8	「作者」は消し去れるかという議論について	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 61～67 を読んでくる。	60分
9	トマス・ハーディ『テス』について	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 68～100 を読んでくる。	60分
10	『ダロウェイ夫人』と『めぐりあう時間たち』について	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 101～106 を読んでくる。	60分
11	ヴァージニア・ウルフ『ダロウェイ夫人』について	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 107～121 を読んでくる。	60分
12	マイケル・カニンガム『めぐりあう時間たち』について	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 122～136 を読んでくる。	60分
13	「作品（テキスト）」、「作者」、「読者」の関係について	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 137～170 を読んでくる。	60分
14	文学作品の映画化について	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 171～181 を読んでくる。	60分
15	まとめ	プリント資料、 筆記用具	プリント資料番号 1～181 (15 回分) 全体を読んで理解する。	60分

#### ⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL

- 小説の技法についての基礎知識の確認及び定着を目指す。
- 指定図書からのレポート（課題）提出を求める。

※以下は該当者のみ記載する。

#### ⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性



令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	日本文学 (Japanese Literature) 2013011-031					担当教員	丸山 義昭 (マルヤマ ヨシアキ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型AL								

① 授業のねらい・概要									
日本の近・現代文学の中から、主に著名な作家の優れた小説を読んでいく。詩や短歌にも触れる。夏目漱石、芥川龍之介、宮沢賢治、太宰治、井伏鱒二、三島由紀夫、安部公房、村上春樹、川上弘美といった作家の小説、金子光晴の詩、石川啄木の短歌を読む。文学作品を、設けた問いに沿って読み、意見の相互交流をはかりながら、深層批評の段階まで掘り下げていく。作品を読み味わいながら、自分が既に持っていた認識や価値観が揺さぶられるような文学体験ができればよい。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力／コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
授業で取り上げる予定の小説をあらかじめ読み、複数の問いを考えてくること。(1時間以上) 授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。(30分以上)									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
文学作品を深層まで読み味わうことを目的とする。したがって、 (i) 小説のプロットを理解しながら、読み深めるためにいくつかの問いを立てることができる。 (ii) 小説の語り方や個々の表現に着目しながら、問いに対して自分の意見が持てるようになる。 (iii) 授業後の二次感想を表現することができる。 を到達目標とする。									
⑥ テキスト (教科書)									
石川啄木『一握の砂・悲しき玩具』(新潮文庫) その都度授業で本文プリントとレジюмеを配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
随時、授業で知らせる。									
⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法									

具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	70%		25%			5%		100%
(i) 概略把握	25%		10%			5%		40%
(ii) 正確な理解	25%		10%					35%
(iii) 表現力	20%		5%					25%
フィードバックの方法								

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
知識定着・確認型ALを採用し、双方向でのコミュニケーションを意識した授業を目指していく。 小説はあらかじめ読んできて、読み深めるための問いをいくつか考えてくること。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	小説の読み方について 宮澤賢治『なめとこ山の熊』（前半）	国語辞書、筆記用具	高校で習った小説をざっとでよいので再読してくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
2	宮澤賢治『なめとこ山の熊』（後半）	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
3	宮澤賢治『土神と狐』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
4	井伏鱒二『山椒魚』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
5	夏目漱石『夢十夜』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分	90分

			かるようにノートを整理しておくこと。	
6	安部公房『公然の秘密』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
7	太宰治『葉桜と魔笛』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
8	村上春樹『象の消滅』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
9	芥川龍之介『鼻』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
10	芥川龍之介『白』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
11	芥川龍之介『トロッコ』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
12	三島由紀夫『美神』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分

13	川上弘美『離さない』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
14	詩の読み方について 金子光晴『落下傘』『くらげの唄』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分
15	短歌の読み方について 石川啄木『一握の砂』	テキスト、国語辞書、筆記用具	各回の授業で指定された作品を読み、複数の問いを考えてくること。授業後はその日のうちに、自分で分かるようにノートを整理しておくこと。	90分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型ALを採用する。各回終了後に、質問や意見を書いてもらい、次回の授業に組み込んで回答する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性

令和 3 (2021) 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	憲法 (Constitution) 2013011-032					担当教員	江部 誠一 (エベ セイイチ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>社会人としての必要な日本国憲法の知識を身につけるとともに、現在、身近に起こっている問題・課題を憲法の観点から説明できるようにする。</p> <p>また、公務員試験合格に必要な基本的知識を取得する。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
地域社会に貢献する姿勢/職業人として適用する能力/情報収集・分析力									
③ 授業の進め方・指示事項									
本授業は講義形式で行い、指定テキストに沿って進行する。進捗が早いので予習・復習が必要である。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
現在の社会・経済行動で憲法に係る問題・課題について注視することが望まれる。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i)日本国憲法の基本や特徴について理解し説明することができる。</p> <p>(ii)日本国憲法の人権に関する理念について基本的な知識を習得する。</p> <p>(iii)日本国憲法の統治機構に関する規定について基本的な知識を習得する。</p>									
⑥ テキスト (教科書)									
「公務員試験過去問題攻略 V テキスト憲法」(TAC 出版)。毎回レジュメを配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
必要に応じて紹介する。									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	40%	30%				30%		100%
(i)憲法総論	10%	10%				10%		30%
(ii)憲法人権	15%	10%				10%		35%
(iii)憲法統治機構	15%	10%				10%		35%
フィードバックの方法	前期末試験、小テストは採点后返却して解説する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
学生自ら考え行動してもらいたい。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	ガイダンス、憲法総論			60分
2	基本的人権Ⅰ 総論	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
3	基本的人権Ⅱ 総則的権利	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
4	基本的人権Ⅱ 総則的権利	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
5	基本的人権Ⅲ 精神的自由権	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
6	基本的人権Ⅲ 精神的自由権	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
7	基本的人権Ⅳ 経済的自由権	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
8	基本的人権Ⅳ 経済的自由権	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
9	基本的人権Ⅴ 社会権・受益権・人身の自由	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分

10	統治Ⅰ 統治総論・国会	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
11	統治Ⅰ 統治総論・国会	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
12	統治Ⅱ 内閣	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
13	統治Ⅲ 司法権	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
14	統治Ⅲ 司法権	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分
15	統治Ⅳ その他の問題	指定テキスト	テキストの予習と復習	60分

⑪ アクティブラーニングについて				
知識定着・確認型ALを採用し、各内容について講義形式で進めていく。テキストによる講義で自ら社会・経済の問題・課題の発見力を養う。				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
金融機関、法律経済総合事務所勤務経験あり。現在、経営コンサルタント事務所代表として活動中。「中小企業診断士」「医業経営コンサルタント」資格を有している。				
実務経験と授業科目との関連性				
金融・法律・経済・経営知識をもとに行った種々の支援・相談から、憲法に係る問題・課題について、わかりやすく説明する。				

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	民法（Civil Code） 2013011-033					担当教員	井上 芳 （イノウエ カオル）		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講 期	前期
科目特性	■知識定着・確認型 AL(振返りを講義時に実施) ■協同学修型 AL(演習時グループ・ワークを実施)								

① 授業のねらい・概要									
■授業の目的(ねらい)： (i) 民法は我々の財産関係の社会活動を法的に構成し、利害関係の調整・規制を図る法律である。 (ii) 本講はこの民法を試験科目とする就職試験に対処する基礎知識の習得を目的としている。 ■概要： (i) 就職試験における民法科目は基本条文が問われており、まず頻出条文の知識を習得させる。 (ii) その後、最近の判例の理解を深めるように指導する。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
■地域社会に貢献する姿勢/職業人として通用する能力 (職業遂行における地域社会との関わりに鑑み、そのための法律上の基礎知識を付与する。)									
③ 授業の進め方・指示事項									
■授業の進め方： (i) 就職試験に必要な項目を重点に、テキストの解説を実施する。 (ii) 事例と過去問の解説を実施する。 ■指示事項： (i) 各節のポイントの自宅復習に努める。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
なし									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) テキスト記載の法律用語を理解し、説明できる。 (ii) テキスト記載の過去問を自力で回答できる。									
⑥ テキスト（教科書）									
(i) 伊藤塾の公務員試験「民法」の点数が面白いほどとれる本									
⑦ 参考図書・指定図書									
なし									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		20%			30%		100%
(i) 演習問題の回答力	30%		10%			20%		60%
(ii) 法律用語の理解力	20%		10%			10%		40%
(iii)								
フィードバックの方法	講義終了時、自宅での復習課題を課し、次回講義で説明する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
<p>■ 公務員試験受験だけでなく、社会人としての民法知識理解の為の受講としてお勧めします。 民法は社会生活上で必須な知識で、学生生活のうちに一度は学んでいただきたいと思います。</p>

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	ガイダンス・民法の概要 （民法とは？民法の全体）	テキスト （教科書）	各節の、「ポイント」復習	60分
2	民法総則 1 （権利/意思/行為 能力）	テキスト （教科書）	各節の、「ポイント」復習	60分
3	民法総則 2 （物、契約成立/有効要件）	テキスト （教科書）	各節の、「ポイント」復習	60分
4	民法総則 3 （契約の効果帰属要件）	テキスト （教科書）	各節の、「ポイント」復習	60分
5	民法総則 4 （条件と期限、時効）	テキスト （教科書）	各節の、「ポイント」復習	60分
6	物権 1 （物権の性質、物権変動）	テキスト （教科書）	各節の、「ポイント」復習	60分
7	物権 2 （占有権、所有権、用益物権）	テキスト （教科書）	各節の、「ポイント」復習	60分
8	債権 1 （債権とは？債務不履行、他）	テキスト （教科書）	各節の、「ポイント」復習	60分
9	債権 2 （債権譲渡、債権総論）	テキスト （教科書）	各節の、「ポイント」復習	60分
10	債権 3 （債権各論、委任契約）	テキスト （教科書）	各節の、「ポイント」復習	60分

11	債権 4 (不当利得、不法行為)	テキスト (教科書)	各節の、「ポイント」復習	60分
12	家族法 1 (親族法、婚姻)	テキスト (教科書)	各節の、「ポイント」復習	60分
13	家族法 2 (親子関係)	テキスト (教科書)	各節の、「ポイント」復習	60分
14	相続法 1 (相続人、相続放棄/承認)	テキスト (教科書)	各節の、「ポイント」復習	60分
15	相続法 2 (遺言、遺留分)	テキスト (教科書)	各節の、「ポイント」復習	60分

<b>⑪ アクティブラーニングについて</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■協同学修型ALを採用する。</li> <li>■各内容について講義と問題演習を行う。</li> <li>■学生自ら及び学生チームで演習問題を解かせ、条文等の理解力を高めさせていく。</li> </ul>	

※以下は該当者のみ記載する。

<b>⑫ 実務経験のある教員による授業科目</b>	
<b>実務経験の概要</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■金融機関では、支店営業での営業推進/審査部で融資先審査・企業再生/市場営業部で市場性商品相談/事務統括部で市場性商品運用/国際業務部で取引先国際化支援・営業店指導/外為 Web 取引及び各国取引等相談、等の役職経験がある。</li> <li>■システム開発会社では、システム設計/システム開発/システム運用、等の役職経験がある。</li> <li>■手形交換所では、地域金融機関の業務支援/信用情報管理/法人運営管理などの管理経験がある。</li> <li>■経営コンサルタントとして、新潟県産業創造機構の事業承継ブロックコーディネーター/海外展開支援専門家/地域中小企業各社の経営指導経験がある。</li> </ul>	
<b>実務経験と授業科目との関連性</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■金融機関での、顧客資金管理における民法をベースとした法的相談対応経験は、本講義との関連が高い内容である。また顧客審査における企業経営の確認において、民法を踏まえた判断を実施しており、その経験が本講義実施に生かされる。</li> <li>■経営コンサルタント業務では、経営指導対応や事業承継対応において民法を意識した対応が不可欠で、本授業科目との関連が極めて高い業務を実施している。その経験も講義実施に生きることになる。</li> </ul>	

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名	商法 (Commercial law)					担当教員	井上 芳 (イノウエ カオル)		
科目コード	2013011-034								
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■知識定着・確認型 AL(振返りを講義開始時に実施)</li> <li>■協同学修型 AL(演習時グループ・ワークを実施)</li> </ul>								

① 授業のねらい・概要
<p>■授業の目的(ねらい)：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(i) 商法は、会社・株式・会社機関・手形小切手などを対象に、膨大で専門性が高い法律である。</li> <li>(ii) 本講は、この商法を試験科目とする就職試験に対処できる基礎知識の習得を目的としている。</li> </ul> <p>■概要：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(i) 就職試験における商法科目は基本条文レベルであり、まず頻出条文の知識を習得させる。</li> <li>(ii) その後、最近の大幅な改正などの動きにも対応できるように指導する。</li> </ul>
② ディプロマ・ポリシーとの関連
<p>■地域社会に貢献する姿勢/職業人として通用する能力 (職業遂行における地域社会との関わりに鑑み、そのための法律上の基礎知識を付与する。)</p>
③ 授業の進め方・指示事項
<p>■授業の進め方：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(i) 就職試験に必要な項目のみに絞ったテキストの解説を実施する。</li> <li>(ii) 各節の演習問題の解説を実施する。</li> </ul> <p>■指示事項：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(i) 各節の演習問題の自宅復習に努める。</li> </ul>
④ 関連科目・履修しておくべき科目
なし
⑤ 標準的な達成レベルの目安
<ul style="list-style-type: none"> <li>(i) 各節の演習問題を自力で回答できるようになる。</li> <li>(ii) テキスト記載の法律用語等を理解し、説明できる。</li> </ul>
⑥ テキスト（教科書）
<ul style="list-style-type: none"> <li>(i) 公務員試験 過去問攻略Vテキスト7「商法」</li> </ul>
⑦ 参考図書・指定図書
なし

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		20%			30%		100%
(i) 演習問題の回答力	30%		10%			20%		60%
(ii) 法律用語の理解力	20%		10%			10%		40%
(iii)								
フィードバックの方法	各節終了後、自宅での復習課題を課し、次回講義冒頭で模範解答を示す。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
<p>■就職試験受験だけでなく、社会人としての商法知識理解の為の受講もお勧めします。</p> <p>商法は社会生活を営む上で必要な知識で、学生生活のうちに一度は学んでいただくと思います。</p>

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	ガイダンス・会社法1 （全体像、商号、使用人等）	Vテキスト 「商法」	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	60分
2	会社法2 （商業登記、会社意義・設立）	Vテキスト 「商法」	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	60分
3	会社法3 （株式会社設立）	Vテキスト 「商法」	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	60分
4	会社法4 （株主総会）	Vテキスト 「商法」	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	60分
5	会社法5 （取締役・取締役会等）	Vテキスト 「商法」	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	60分
6	会社法6 （監査役・会計参与）	Vテキスト 「商法」	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	60分
7	会社法7 （委員会設置会社）	Vテキスト 「商法」	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	60分
8	会社法8 （取締役・監査役の義務等）	Vテキスト 「商法」	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	60分
9	会社法9 （株式会社の計算等）	Vテキスト 「商法」	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	60分

10	会社法 10 (組織変更・組織再編)	Vテキスト 「商法」	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	60分
11	手形・小切手法 1 (手形小切手意義・性質等)	Vテキスト 「商法」	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	60分
12	手形・小切手法 2 (手形小切手の振出・裏書等)	Vテキスト 「商法」	・各節の、「ポイント整理」復習 ・各節の、「Exercise」実施	60分
13	演習 1 (会社法)	Vテキスト 「商法」	・問題集による演習実施 ・解答説明	60分
14	演習 2 (手形小切手法)	Vテキスト 「商法」	・問題集による演習実施 ・解答説明	60分
15	演習 3 と総まとめ (全範囲)	Vテキスト 「商法」	・問題集による演習実施 ・解答説明	60分

#### ⑪ アクティブラーニングについて

- 協同学修型ALを採用する。
- 各内容について講義と問題演習を行う。
- 学生自ら及び学生チームで演習問題を解かせ、条文等の理解力を高めさせていく。

※以下は該当者のみ記載する。

#### ⑫ 実務経験のある教員による授業科目

##### 実務経験の概要

- 金融機関では、支店営業での営業推進/審査部で融資先審査・企業再生/市場営業部で市場性商品相談/事務統括部で市場性商品運用/国際業務部で取引先国際化支援・営業店指導/外為 Web 取引及び各国取引等相談、等の役職経験がある。
- システム開発会社では、システム設計/システム開発/システム運用、等の役職経験がある。
- 手形交換所では、地域金融機関の業務支援/信用情報管理/法人運営管理などの管理経験がある。
- 経営コンサルタントとして、新潟県産業創造機構の事業承継プロコординーター/海外展開支援専門家/地域中小企業各社の経営指導経験がある。

##### 実務経験と授業科目との関連性

- 金融機関での、顧客融資管理における商法をベースとした法的相談対応経験は、本講義との関連が高い内容である。また顧客審査における企業経営の確認において、商法を踏まえた判断を実施しており、その経験が本講義実施に活かされる。
- 経営コンサルタント業務では、事業承継対応において会社法などの商法を意識した対応が不可欠で、本授業科目との関連が極めて高い業務を実施しており、その経験は講義実施に生きている。

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名	行政法（Administrative Law）					担当教員	霜田 亮 （シモダ リョウ）		
科目コード	2013011-035								
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	資格対応科目／知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>行政法は国家と市民の関係に関する法律であり、社会生活と密接に関連する。しかし、行政活動全般の仕組みなど、その全容が意識されることはあまりない。本講義では、行政法の考え方を理解し、行政活動や行政組織の背景にある理論に触れることをねらいとする。本講義で学ぶ知識は、将来公務員を目指す学生にとっては必須のものであり、また、公務員を目指す学生でなくとも、日常生活・事業活動の両面で行政と関わる際の助けとなる。公務員試験に対応した科目である。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力を養う。									
③ 授業の進め方・指示事項									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義形式で授業を進める。講義の最後にテキスト収録の問題の解説を行い、問題を解くことを念頭にした知識の定着を促す。</li> <li>・第2回以降、講義の初めに前回の講義内容に関する小テストを実施し、その後に解説を行う。</li> </ul>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「憲法」または「民法」のいずれかを履修しておくことが望ましい。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<ul style="list-style-type: none"> <li>(i) 行政法の諸原則（法律による行政の原理など）の考え方を理解している。</li> <li>(ii) 行政作用の諸形式について理解し、それぞれの特徴を説明できる。</li> <li>(iii) 行政救済の諸制度の流れを理解している。</li> <li>(iv) 行政組織（国、地方）の仕組みを理解している。</li> </ul>									
⑥ テキスト（教科書）									
TAC 公務員講座編著（2019）『公務員試験 過去問攻略 V テキスト 4 行政法（初版）』TAC 出版									
⑦ 参考図書・指定図書									
TAC 株式会社（公務員講座）編著（2018）『公務員試験 まるごと講義生中継シリーズ 新谷一郎の行政法 新・まるごと講義生中継（初版）』TAC 出版									

東京リーガルマインド LEC 総合研究所 公務員試験部 (2020) 『2021-2022 年合格目標 公務員試験  
本気で合格! 過去問解きまくり! 12 行政法』東京リーガルマインド  
藤田宙靖 (2016) 『行政法入門 (第 7 版)』有斐閣  
中原茂樹 (2018) 『基本行政法 (第 3 版)』日本評論社

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法

具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	75%	10%				15%		100%
(i) 行政法の諸原則	3%	1%				1%		5%
(ii) 行政作用の諸形式	30%	4%				6%		40%
(iii) 行政救済の諸制度	30%	4%				6%		40%
(iv) 行政組織の仕組み	12%	1%				2%		15%
フィードバックの方法	小テストは実施後に解説する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)

行政法は抽象度が高く、学生の皆さんにはイメージが難しい法律です。できるだけ具体的な例を多く  
交えてお話し、法のイメージ作りを容易にするよう工夫を行います。

⑩ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間 (分)
1	行政法とは	テキスト 筆記用具	テキスト 2～9 ページを読み、理解 をする。Exercise の問題を自力で解 く。小テストの復習をする。 60 分
2	公法と私法、法律による行政の 原理	テキスト 筆記用具	テキスト 10～40 ページを読み、理 解をする。Exercise の問題を自力で 解く。小テストの復習をする。 60 分
3	行政行為① (意義と諸効力、内 容による分類)	テキスト 筆記用具	テキスト 42～62 ページを読み、理 解をする。Exercise の問題を自力で 解く。小テストの復習をする。 60 分
4	行政行為② (裁量の有無による 分類、行政行為の附款)	テキスト 筆記用具	テキスト 63～83 ページを読み、理 解をする。Exercise の問題を自力で 解く。小テストの復習をする。 60 分

5	行政行為③（瑕疵の有無による分類、取消しと撤回）	テキスト 筆記用具	テキスト 84～104 ページを読み、理解をする。Exercise の問題を自力で解く。小テストの復習をする。	60 分
6	行政行為④（行政手続法）	テキスト 筆記用具	テキスト 105～124 ページを読み、理解をする。Exercise の問題を自力で解く。小テストの復習をする。	60 分
7	行政法上の強制手段	テキスト 筆記用具	テキスト 126～153 ページを読み、理解をする。Exercise の問題を自力で解く。小テストの復習をする。	60 分
8	行政立法、行政契約	テキスト 筆記用具	テキスト 156～178 ページを読み、理解をする。Exercise の問題を自力で解く。小テストの復習をする。	60 分
9	行政計画、行政指導	テキスト 筆記用具	テキスト 179～197 ページを読み、理解をする。Exercise の問題を自力で解く。小テストの復習をする。	60 分
10	国家補償、国家賠償①（国家賠償法 1 条論）	テキスト 筆記用具	テキスト 200～228 ページを読み、理解をする。Exercise の問題を自力で解く。小テストの復習をする。	60 分
11	国家賠償②（国家賠償法 2 条論）、損失補償	テキスト 筆記用具	テキスト 229～258 ページを読み、理解をする。Exercise の問題を自力で解く。小テストの復習をする。	60 分
12	行政事件訴訟法①（全体像、取消訴訟）	テキスト 筆記用具	テキスト 260～308 ページを読み、理解をする。Exercise の問題を自力で解く。小テストの復習をする。	60 分
13	行政事件訴訟法②（訴訟の終了、主観訴訟、客観訴訟）	テキスト 筆記用具	テキスト 309～343 ページを読み、理解をする。Exercise の問題を自力で解く。小テストの復習をする。	60 分
14	行政上の不服申立て	テキスト 筆記用具	テキスト 346～373 ページを読み、理解をする。Exercise の問題を自力で解く。小テストの復習をする。	60 分
15	行政機関情報公開法、行政の仕組み	テキスト 筆記用具	テキスト 376～431 ページを読み、理解をする。Exercise の問題を自力で解く。小テストの復習をする。	60 分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。第 2 回以降毎回小テストを実施し、基礎的な知識の定着を図る。また、各講義の最後に演習問題に取り組み、知識をどのように活用するかを学ぶ。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
現在は製造業を中心としたコンサルティングを主たる事業としている。製造現場の改善や品質管理の仕組みづくりなど、組織のさまざまな階層での困りごとの解決に取り組んでいる。その他、弁理士や社会保険労務士として公的機関に対する申請代理の業務を行う。
実務経験と授業科目との関連性
弁理士の代理業務は特許庁に対する手続であり、社会保険労務士の代理業務は厚生労働省等に対する手続である。いずれも行政機関に対する手続として、行政法と関連がある。また、補助金の事務局業務の経験もあり、行政機関またはこれに準じる組織に内外両面から関与してきた。

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	心理学 ( Psychology ) 2013011-036					担当教員	山川 智子 (ヤマカワ トモコ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	協同学修型 AL/外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要									
従来の一般的な心理学に加え、脳科学、社会学、行動経済学など多様な要素を盛り込んでいる。心理学の基礎知識を活かすため、「言葉にして表現する」ということに重点を置いている。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
コミュニケーション能力/職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
人間関係と自己分析を軸として、人間の心理と行動への考察を深める。一般的な心理学の基礎知識を踏まえ、より深く人間心理を考察する能力を身につけることを目標とする。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
特になし。高校までの倫理社会や保健体育、大学で学ぶ哲学、経営学・経済学等との重複部分は特に理解を深めておいて欲しい。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i)一般的な心理学に出てくる用語全般を把握し、定義を100字程度で簡潔に説明できる。 (ii) 社会やコミュニケーションに関わる心理学の理解を深めて、行動指針に具体化できる。 (iii) 心理学の歴史的な経緯を踏まえ、代表的な心理学者の理論と事例を端的に解説できる。									
⑥ テキスト(教科書)									
齋藤 勇監修『図解 心理学用語大全 人物と用語でたどる心の学問』(2020)誠文堂新光社 他に、プリント資料を提示する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
マーカス・ウィークス『10代からの心理学図鑑』(2015)三省堂 越智啓太『心理学ビジュアル百科』(2016)創元社 ゆうきゆう『なるほど!とわかるマンガはじめての心理学』(2014)西東社 『ビジネス心理検定試験公式テキスト1 基礎心理編』(2012)中央経済社 妹尾武治『脳がシビれる心理学』(2014)実業之日本社 『メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅲ種公式テキスト』(2017)中央経済社									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法									
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計	

総合評価割合	50%		20%			30%		100%
(i) 心理学の用語の理解	10%		5%			10%		25%
(ii) テーマの文章表現	10%		15%			10%		35%
(iii) 心理学の総合的理解	30%					10%		40%
フィードバックの方法	出席票や解答用紙は、原則返却しない。確認・添削後、修正すべきポイントや評点を知らせる。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）	
<p>従来は「しゃべり場」と称し、周囲の履修者とテーマに即したディスカッションする機会を設けていた。COVID-19の感染拡大防止のため、積極的に話す機会を設けるわけにはゆかないが、代わりに各自が与えられたテーマに思索を巡らし、自らの言葉で表現する作業を検討している。昨年度は毎回心理テストを行い、結果を受講者と共有することで新たな気づきを得た。担当する授業すべてに共通するのは、1.自己効力感を醸成する。2.学習性無気力をなくす。3.人生の裁量権を増やす。である。</p>	

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	オリエンテーション・心理テスト「あなたは一体どんな人？」	テキスト、配付資料、筆記用具	テキストや心理テスト解説などの配付資料を読み、内容を確認する。	90分
2	巨人の肩の上に立つ①心理学研究者武勇伝前編	テキスト、配付資料、筆記用具	テキストやプリントを読み、次回までに出された課題を消化しておく。	60分
3	巨人の肩の上に立つ②心理学研究者武勇伝後編	テキスト、配付資料、筆記用具	テキストやプリントを読み、次回までに出された課題を消化しておく。	60分
4	学習と記憶①～エビングハウスの忘却曲線、頭の良さとは？	テキスト、配付資料、筆記用具	テキストやプリントを読み、次回までに出された課題を消化しておく。	60分
5	学習と記憶②～人は人工知能(AI)に取って代わられるか？	テキスト、配付資料、筆記用具	テキストやプリントを読み、次回までに出された課題を消化しておく。	60分
6	判断・決断・意思決定～脳や心では何が起きているのか？	テキスト、配付資料、筆記用具	テキストやプリントを読み、次回までに出された課題を消化しておく。	60分
7	メンタルヘルス・マネジメント～自分の心と身体を労わる～	テキスト、配付資料、筆記用具	テキストやプリントを読み、次回までに出された課題を消化しておく。	60分
8	サイコロジカル・ファーストエイド(PFA)～共感と心のケア	テキスト、配付資料、筆記用具	テキストやプリントを読み、次回までに出された課題を消化しておく。	60分
9	アクティブ・リスニング～人の話をしっかり聞くコツとツボ	テキスト、配付資料、筆記用具	テキストやプリントを読み、次回までに出された課題を消化しておく。	60分
10	社会心理学①対人関係～とかく人の世は住みにくい	テキスト、配付資料、筆記用具	テキストやプリントを読み、次回までに出された課題を消化しておく。	60分

11	社会心理学②集団心理～小人 閑居して不善を為す	テキスト、配付 資料、筆記用具	テキストやプリントを読み、次回ま でに出された課題を消化しておく。	60分
12	交渉とコミュニケーション① 段階的要請法と譲歩的要請法	テキスト、配付 資料、筆記用具	テキストやプリントを読み、次回ま でに出された課題を消化しておく。	60分
13	交渉とコミュニケーション② アサーティブな表現と対応	テキスト、配付 資料、筆記用具	テキストやプリントを読み、次回ま でに出された課題を消化しておく。	60分
14	レジリエンス～くじけない心 をつくる「心の筋トレ」	テキスト、配付 資料、筆記用具	テキストやプリントを読み、次回ま でに出された課題を消化しておく。	60分
15	総括：心理学で学んだ内容をど のように発展させてゆくか	テキスト、配付 資料、筆記用具	試験直前対策で示した内容を、試験 前にさらに確認して理解しておく。	120分

⑪ アクティブラーニングについて	
<p>課題提出による学生参加型 AL を採用する。毎回のテーマに即した問いかけを行って、寄せられた結果について次回以降に解説と考察を行い、学修内容をフィードバックする。テキストの指定された部分を事前に読んで、用語を把握した上で授業に臨んで欲しい。原則として配付資料の再配付や置きはしないので、各自できちんとファイリングしておくことを求める。</p>	

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	地域経営 (Regional Management) 2013011-037					担当教員	栗井 英大 (クリイ ヒデヒロ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	地域志向科目 / 知識定着・確認型 AL / 外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要

少子高齢化・生産年齢人口の減少などを背景に、都市と地方の格差が次第に拡大し、地方衰退の流れが加速している。一方、私たちが「政(まつりごと)」を委託している行政が、行財政の効率化のもと、地域の全ての課題に対処することができないことも事実である。その結果、解決策を地方自治体に求めるのではなく、住民の手で課題・困難に対処しなければならないケースが多く生じている。そこで、本講義では、まず市町村合併の背景・その後の変化等を学ぶことで、地方行政の現状を理解する。その上で、地域の課題解決・活性化のために、行政・私たち地域住民は何が可能なのか、またどのような取り組み方法があるのかについて、具体的な事例を紹介する過程を通じて理解する。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

①地域社会に貢献する姿勢 / ②職業人として通用する能力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

講義は、パワーポイントを活用し講義を行い、書き込み式の配付資料の空欄を学生自ら埋めていく方法で進める。また、講義冒頭では、記憶の再生、定着を促すために、前回講義の復習を行う。正当な理由のない遅刻・途中退席は認めない。日々の社会的な出来事も積極的に取り上げるほか、学生の意見を取り入れつつ、講義を進める。そのため、授業内容が変更となる場合がある。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

「地域活性化論」

⑤ 標準的な達成レベルの目安

- (i) 「平成の大合併」と地方財政の現状を理解・説明することができる。
- (ii) 行政による地域活性化手法を理解・説明することができる。
- (iii) 地域資源を活用した、農商工連携を説明し、具体策を構築することができる。

⑥ テキスト(教科書)

テキスト指定なし。授業開始時にレジュメを配布する。

⑦ 参考図書・指定図書

山内道雄 岩本悠 田中輝美 (2015) 『未来を変えた島の学校』 岩波書店  
 その他、テーマに関連した参考文献や関連情報を必要に応じ紹介する。

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法

具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%		15%	20%		5%		100%
(i) 平成の大合併と地方財政の現状の理解・説明	20%		6%	8%		2%		36%
(ii) 行政による地域活性化手法の理解・説明	20%		6%	8%		2%		36%
(iii) 地域資源を活用した農商工連携の説明と具体策の構築	20%		3%	4%		1%		28%
フィードバックの方法	初回講義内で、成績評価の方法・基準、講義の進め方、試験の方法等について、具体的に説明するので、出席すること。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）

行政による地域活性化を考えるべく、多くの全国・県内の事例を紹介する。

⑩ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	講義ガイダンス 都市と地方の格差	筆記用具	講義の復習 都市と地方の格差 90分
2	人口減少	筆記用具	講義の復習 人口減対策 90分
3	人口減少対策の先進事例	筆記用具	講義の復習 市町村合併の必要性 90分
4	平成の大合併とその背景	筆記用具	講義の復習 市町村合併のメリット・デメリット 90分
5	合併後の変化	筆記用具	講義の復習 周辺市町村の活性化策 90分
6	住民自治の事例紹介	筆記用具	講義の復習 地域活性化に向けた取り組み 90分

7	NPO とは	筆記用具	講義の復習 県内 NPO 法人の概要	90 分
8	NPO の現状と課題	筆記用具	講義の復習 NPO 法人の立ち上げ	90 分
9	◆地域おこしと産学連携 (予定)	筆記用具	講義の復習 講義内容のレポート作成	90 分
10	島根県海士町①地域産品ブランド化	筆記用具	講義の復習 I ターン・U ターンの推進策	90 分
11	島根県海士町②島前高校	筆記用具	講義の復習 廃校の活用方法	90 分
12	農商工連携とは	筆記用具	講義の復習 県内の農商工連携事例	90 分
13	農商工連携事例①富山県氷見市	筆記用具	講義の復習 県外の農商工連携事例	90 分
14	農商工連携事例②北海道江別市	筆記用具	講義の復習 農商工連携の成功のポイント	90 分
15	農商工連携のポイント 講義のまとめ	筆記用具 全ての配布資料	講義の復習 期末試験に向けた準備学習	90 分

#### ⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。

- ・ 毎回講義中に課題・問題を出すことにより、インプット型の講義に加えて、学生の知識のアウトプットも重視し、知識の定着を目指す。
- ・ 前回講義中に受け付けた質問・感想、及び宿題の内容について、講義中にフィードバックを行うことで、理解度を高めていく。

※以下は該当者のみ記載する。

#### ⑫ 実務経験のある教員による授業科目

##### 実務経験の概要

平成 15 (2003) 年 3 月～平成 24 (2012) 年 6 月まで、(財)新潟経済社会リサーチセンターに在籍。研究員として、新潟県経済の調査分析および業界動向等の調査レポート作成業務に従事した。

##### 実務経験と授業科目との関連性

県内外の地域活性化事例に触れ、各種レポート作成に携わった経験を生かし、地域を活性化した具体的な事例を分かりやすく紹介する。

令和 3 (2021) 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	環境と社会 (Environment and Society) 2013011-038					担当教員	西俣先子 (ニシマタ ヒロコ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1 年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
環境問題の知識を身につけることを目的とする。環境問題の知識を得ることは、自分の生活や人間の経済活動が環境に及ぼす影響を理解することにつながる。本授業では、主要な環境問題の実態についての知識、および、課題や対策について考える力を身につける。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力／情報収集・分析能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
必要に応じてプリントを配布する。授業内容を理解しやすくするために映像等も利用する。授業中に 出題した課題の提出期限を守ること（提出期限を過ぎたものは受け取らない）。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 現在問題とされている主要な環境問題の実態を理解できるようになる。 (ii) 環境問題を解決するための社会経済セクターの対応を社会の仕組みを理解しながら考えることができるようになる。									
⑥ テキスト（教科書）									
東京商工会議所編著（2019）『改訂 7 版 環境社会検定試験 eco 検定公式テキスト』日本能率協会マネジメントセンター *改訂 8 版が出版された場合には、そちらを購入すること。									
⑦ 参考図書・指定図書									
環境省サイト『環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書』 <a href="http://www.env.go.jp/policy/hakusyo">http://www.env.go.jp/policy/hakusyo</a>									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	70%		20%			10%		100%
(i) 主要な環境問題の実態を理解できるようになる。	50%		20%			5%		75%
(ii) 主要な環境問題について、他人に説明できるようになる。	20%					5%		25%
フィードバックの方法	課題は総評を公表する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
引き続き、丁寧な解説と分かりやすい授業資料や映像の活用を行いたい。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	イントロダクション	シラバス	シラバスを熟読し授業の目的を理解したうえで授業に参加する	10分
2	人間の活動の拡大と環境問題	教科書	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
3	人間活動の拡大を理解する エコロジカル・フットプリント	教科書	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
4	森林問題	教科書	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
5	砂漠化	教科書	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
6	典型7公害から 大気汚染に関する基礎知識	教科書	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
7	典型7公害から 大気汚染問題の歴史と対策	教科書	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分

8	典型 7 公害から 水質汚濁に関する基礎知識	教科書	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60 分
9	典型 7 公害から 水質汚濁問題の歴史と対策	教科書	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60 分
10	水問題の現状と対策	教科書	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60 分
11	交通と環境問題	教科書	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60 分
12	都市化に伴う環境問題 ヒートアイランド現象を事例として	教科書	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	90 分
13	化学物質のリスクとリスク管理	教科書	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60 分
14	化学物質のリスク アスベスト問題を事例として	教科書	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所の確認を行う。	60 分
15	まとめ		学んだ内容の再確認を行う。	90 分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。授業中にコメントを記入してもらい、コメント内容を利用する形で授業を進める。また、学生と問答をかわしながら授業を進める。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性



令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	環境経済学 (Environmental Economics) 2013011-039					担当教員	西俣 先子 (ニシマタ ヒロコ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>環境問題と経済の関わりについて理解することを目的とする。授業は大きく分けて1. 基礎知識の習得、2. 理解の深化を狙ったテーマ別の学び、3. 問題の分析や問題解決の手法の理解の3つの部分から構成される。1. では環境問題について考えるための基礎知識として、環境問題の歴史や今後の環境問題を考えるうえで重要なコンセプトについて学ぶ。2. では環境と貿易、公害問題などの個別テーマを取り上げ、具体例を確認しながら、環境問題と経済の関わりについて考える。3. では環境問題を経済学の視点から分析し、環境問題が発生するメカニズムや問題を解決するための政策手法等について理解する。なお、環境経済学について説明する場合、図を使って説明する。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
専門的知識・技能を活用する能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
<p>授業内容を理解しやすくするために映像等を利用する。質問等のやりとりをしながら授業を進めるため、積極的に答えていただきたい。授業中に出題した課題の提出期限を守ること（提出期限を過ぎたものは受け取らない）。</p>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i) 環境問題と経済の関わりについて理解するための知識を身につける (ii) 環境政策、特に経済的手法について理解し、説明できるようになる</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
テキスト指定なし。代わりに、授業時に資料を配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
宇井純(2006)『新装版 合本 公害原論』亜紀書房									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	70%		20%			10%		100%
(i) 環境問題と経済の関わりについて理解するための知識を身につける	40%		20%			5%		65%
(ii) 環境政策、特に経済的手法について理解し、説明できるようになる	30%					5%		35%
フィードバックの方法	課題は総評を公表する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
昨年度休講。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	イントロダクション	シラバス	シラバスを熟読し授業の目的を理解したうえで授業に参加する	10分
2	経済活動の拡大と環境問題		授業終了後に授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
3	経済成長とは何か？	資料配布 *配布した資料を次回も持参する必要があるかは授業中に指示する	授業終了後に授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
4	持続可能な発展のために	資料配布 *配布した資料を次回も持参する必要があるかは授業中に指示する	授業終了後に授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分
5	【環境と貿易】 環境と貿易について考えるた	資料配布 *配布した資料	授業終了後に授業で示した重要箇所の確認を行う。	60分

	めの基礎知識	を次回も持参する必要があるかは授業中に指示する		
6	【環境と貿易】環境と貿易の両立に関する歴史		授業終了後に授業で示した重要箇所を確認を行う。	60分
7	【環境と貿易】環境と貿易の両立に関する議論	資料配布 *配布した資料を次回も持参する必要があるかは授業中に指示する	授業終了後に授業で示した重要箇所を確認を行う。	60分
8	【公害・環境問題】 公害・環境問題の歴史	資料配布 *配布した資料を次回も持参する必要があるかは授業中に指示する	授業終了後に授業で示した重要箇所を確認を行う。	60分
9	【公害・環境問題】 公害・環境問題の本質1（公害の事例を知る）	資料配布 *配布した資料を次回も持参する必要があるかは授業中に指示する	授業終了後に授業で示した重要箇所を確認を行う。	60分
10	【公害・環境問題】 公害・環境問題の本質2（公害の事例と対策）		授業終了後に授業で示した重要箇所を確認を行う。	60分
11	【公害・環境問題】 経済学の視点からみる公害・環境問題	資料配布 *配布した資料を次回も持参する必要があるかは授業中に指示する	授業終了後に授業で示した重要箇所を確認を行う。 *課題を出すので、提出期限までに提出すること。	90分
12	【環境政策】 環境政策の手法	資料配布 *配布した資料を次回も持参する必要があるか	教科書の該当範囲を読んで授業に参加、授業終了後は授業で示した重要箇所を確認を行う。	60分

		は授業中に指示 する		
13	【環境政策】 経済的手法 排出量取引		教科書の該当範囲を読んで授業に 参加、授業終了後は授業で示した重 要箇所を確認を行う。	60分
14	【環境政策】 経済的手法 税制・財政		教科書の該当範囲を読んで授業に 参加、授業終了後は授業で示した重 要箇所を確認を行う。	60分
15	まとめ		これまで学んだ内容を教科書と配 布資料を熟読し、学んだ内容の再確 認を行う。	90分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。授業中にコメントを記入してもらい、コメント内容を利用する形で授業を進める。また、学生と問答をかわしながら授業を進める。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	経済・経営の現場を知る1 (Topics of Economy and Management 1) 2013011-040					担当教員	栗井 英大 (クリイ ヒデヒロ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	地域志向科目 / 知識定着・確認型 AL / 外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要

今後の学修の基礎となる経済・経営概念の解説を通じて、大学において学修・研究していく足がかりを提供することが本講義の主目的である。

本講義では主に国内・県内経済に関する題材をもとに、現実の経済活動、県内産業や特徴的な企業を取り上げ、紹介する。

本講義を通じて、経済・景気の動き、県内産業の特徴や成り立ちのほか、本県には全国的にも有名な企業が多く存在することを学び、今後の研究のための基礎知識を蓄積し、問題意識を育てていただきたい。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

①地域社会に貢献する姿勢 / ②職業人として通用する能力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

講義は、パワーポイントを活用し講義を行い、書き込み式の配付資料の空欄を学生自ら埋めていく方法で進める。また、講義冒頭では、記憶の再生、定着を促すために、前回講義の復習を行う。

正当な理由のない遅刻・途中退席は認めない。

日々の社会的な出来事も積極的に取り上げるほか、学生の意見を取り入れつつ、講義を進める。そのため、授業内容が変更となる場合がある。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

「経済・経営の現場を知る2」

⑤ 標準的な達成レベルの目安

- (i) 県内経済の産業構造を理解・説明することができる。
- (ii) 県内の主要企業とその製造品目を理解・説明することができる。
- (iii) 現在の景気動向を理解・説明することができる。

⑥ テキスト (教科書)

テキスト指定なし。授業開始時にレジュメを配布する。

⑦ 参考図書・指定図書
細野真宏（2003）『経済のニュースがよくわかる本 日本経済編』小学館 大江英樹（2015）『知らないと損する経済とお金の超基本 1年生』東洋経済新聞社 新潟県統計課ホームページ「にいがた県統計ボックス」 その他、テーマに関連した参考文献や関連情報を必要に応じ紹介する。

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%		15%	20%		5%		100%
(i) 県内経済の産業構造の理解・説明	20%		6%	8%		2%		36%
(ii) 県内の主要企業とその製造品目の理解・説明	20%		6%	8%		2%		36%
(iii) 現在の景気動向の理解・説明	20%		3%	4%		1%		28%
フィードバックの方法	初回講義内で、成績評価の方法・基準、講義の進め方、試験の方法等について、具体的に説明するので、出席すること。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
新潟県の有力企業や産業の特徴を、より具体的に紹介していく。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	講義ガイダンス 産業分類の概要、景気とは？	筆記用具	講義の復習 新潟県の主要産業 90分
2	農林水産業	筆記用具	講義の復習 新潟県内の農商工連携事例 90分
3	鉱業・建設業	筆記用具	講義の復習 知的財産権 90分
4	米菓製造業	筆記用具	講義の復習 米菓メーカー 90分
5	製造業①（食品、繊維、製紙）	筆記用具	講義の復習 県内本社の上場企業 90分

6	製造業②（化学、窯業、金属）	筆記用具	講義の復習 新潟県の伝統的工芸品	90分
7	◆長岡市の製造業	筆記用具	講義の復習 長岡市の製造業の発展の歩み・特徴	90分
8	製造業③（機械系・その他）	筆記用具	講義の復習 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働	90分
9	電気・ガス、卸・小売業	筆記用具	講義の復習 新潟県に本店を置く銀行	90分
10	金融機関	筆記用具	講義の復習 第四銀行と北越銀行の経営統合	90分
11	サービス業	筆記用具	講義の復習 現在の新潟県の景気	90分
12	県民経済計算	筆記用具	講義の復習 政府の景気判断	90分
13	景気関連統計の見方・読み方	筆記用具	講義の復習 アベノミクス	90分
14	アベノミクスとは	筆記用具	講義の復習 新潟県の人口増加対策	90分
15	人口減少 講義のまとめ	筆記用具 全ての配布資料	講義の復習 期末試験に向けた準備学習	90分

#### ⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。

- ・ 毎回講義中に課題・問題を出すことにより、インプット型の講義に加えて、学生の知識のアウトプットも重視し、知識の定着を目指す。
- ・ 前回講義中に受け付けた質問・感想、及び宿題の内容について、講義中にフィードバックを行うことで、理解度を高めていく。

※以下は該当者のみ記載する。

#### ⑫ 実務経験のある教員による授業科目

##### 実務経験の概要

平成 15（2003）年 3 月～平成 24（2012）年 6 月まで、(財)新潟経済社会リサーチセンターに在籍。研究員として、新潟県経済の調査分析および業界動向等の調査レポート作成業務に従事した。

##### 実務経験と授業科目との関連性

県内経済の動向調査、様々な業種のレポート作成に携わった経験を生かし、県内経済・産業の特徴について、具体的な企業の紹介等を交えつつ分かりやすく説明する。

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	経済・経営の現場を知る2（Current Business Topics 2）2013011-041					担当教員	生島 義英 （イクシマ ヨシヒデ）		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	地域志向科目／知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要
本授業では、対象を流通業に絞り、企業経営やビジネスに関する最新のトピックスや考え方・捉え方を解説する。流通業は、私たちの生活と密接不可分な極めて身近な存在である。本授業では流通業の仕組みや運営方法の基本を学修するとともに、新潟県・長岡市の小売業を中心とした現状や今後の方向性等および現場業務について取り上げ、流通業を理解していく。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
地域社会に貢献する姿勢／職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
①該当範囲の授業 ②前回授業の振り返り、「振り返りレポート」のフィードバック ③新聞記事など流通業の経営に関する新聞記事などの話題の提供 ④ 授業終了時振り返りレポートの作成 教科書は、必ず購入する。 授業範囲の教科書該当ページを事前に読み込み、わからないことを事前に把握する。 振り返りレポートは、授業で習得した知識を簡潔にまとめることにより知識の定着を図る。 グーグルクラスルームを使用するので、必ず登録する。
⑤ 関連科目・履修しておくべき科目
経済・経営の現場を知る1，経営学，流通論入門
⑥ 標準的な達成レベルの目安
(i) 流通業に関する基礎知識を理解し、内容を説明することができる。 (ii) 流通業の現状と課題、今後の方向性について考察することができる。 (iii) 新潟県、長岡市の流通業発展経緯、課題について考察することができる。
⑦ テキスト（教科書）
小林隆一（2016），『流通の基本(第5版)』，日本経済新聞出版社 授業時間にレジュメ、関連資料を配布する
⑧ 参考図書・指定図書
鈴木邦成（2017），『トコトンやさしい小売・流通の本』，日刊工業新聞社 日本経済新聞 日経流通新聞、新潟日報など

⑨ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%			10%		10%		100%
(i)流通業に関する基礎知識を理解し、内容を説明することができる。	30%			4%		4%		38%
(ii)流通業の現状と課題、今後の方向性について考察することができる。	20%			3%		3%		26%
(iii) 新潟県、長岡市の流通業発展経緯、課題について考察することができる。	30%			3%		3%		36%
フィードバックの方法	授業冒頭に前回授業内容サマリーをフィードバックして知識の定着を図る。授業後振り返りレポートを作成し、次回授業時にフィードバックする。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
履修者になるべく理解しやすいように画像や図表などを多く授業を行う。 実務者の講演を取り入れる。

⑪ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	イントロダクション 流通の仕組み	教科書	授業後振り返りのまとめ 関連情報の収集と整理	60分
2	小売業の形態① 小売業の分類、売上推移	教科書 配布資料	授業前に教科書の該当部分の予習、 小売業態に関する関連情報の整理	60分
3	小売業の形態② 百貨店など	教科書 配布資料	授業前に教科書の該当部分の予習、 百貨店に関する関連情報の整理	60分
4	小売業の形態③ GMS、SM、コンビニなど	教科書 配布資料	授業前に教科書の該当部分の予習、 GMS、SMなど小売業態に関する 関連情報の整理	60分
5	小売業の形態④ ドラッグストア、ホームセンター、 家電量販店など	教科書 配布資料	授業前に教科書の該当部分の予習、 DS、HCなど小売業態に関する 関連情報の整理	60分

6	◆小売業の経営について 外部講師による授業	教科書 配布資料	授業後外部講師の授業内容をまとめ、理解する。	60分
7	小売業の経営① チェーンストア経営，ボランティアチェーンの仕組みなど	教科書 配布資料	授業前に教科書の該当部分の予習，チェーンストア経営などに関する関連情報の整理	60分
8	小売業の経営② F C，地域対応，商圈の仕組みなど	教科書 配布資料	授業前に教科書の該当部分の予習，フランチャイズなどに関する関連情報の整理	60分
9	小売業の経営③ M D，インストアM D，カテゴリーマネジメントなど	教科書 配布資料	授業前に教科書の該当部分の予習，M D，カテゴリーマネジメントなどに関する関連情報の整理	60分
10	小売業の経営④ P O S，E D I，I T活用など	教科書 配布資料	授業前に教科書の該当部分の予習，流通業のI Tに関する関連情報の整理	60分
11	◆物流の仕組みについて 外部講師による授業	教科書 配布資料	授業後外部講師の授業内容をまとめ、理解する。	60分
12	物流① 物流とは，物流の基本機能など	教科書 配布資料	授業前に教科書の該当部分の予習，物流の基本機能に関する関連情報の整理	60分
13	物流② 小売業の物流，共同配送など	教科書 配布資料	授業前に教科書の該当部分の予習，小売物流などに関する関連情報の整理	60分
14	物流③ 物流センター，ロジスティクス，S C M	教科書 配布資料	授業前に教科書の該当部分の予習，ロジスティクス・S C Mなどに関する関連情報の整理	60分
15	流通業の課題 授業のまとめ	教科書 配布資料	授業全体の振り返り 流通業の課題に関する情報の収集と整理	60分

#### ⑫ アクティブラーニングについて

知識定着・確認方A Lを行う。授業中に問いかけを行うことにより考える時間をとり、その内容を発表し理解を深める。毎回授業後半に振り返りレポートを作成する。授業の進行上振り返りレポートを作成する時間が取れない場合、宿題となる。

※以下は該当者のみ記載する。

#### ⑬ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

昭和 63 年（1988 年）4 月から平成 31 年（2019 年）3 月まで 31 年間民間企業に在籍し、在籍期間中は、情報システム部門において流通業・鉄道業のシステム設計と運用など、物流管理部門において小売業物流の仕組みの構築と運用改善・物流教育・運用など、人事労務管理部門において制度設計や法令変更対応、組合との交渉など、総務部門において株主総会・取締役会の事務局運営やコンプライアンス・CSR などの業務に従事した。実務担当者、管理職、グループ企業の取締役の経験など様々なマネジメント業務に携った。

#### 実務経験と授業科目との関連性

流通業において、担当者としての実務経験や部門長として管理職経験、役員経験を活かし、実務経験がなく、実務を想像しにくい学生に対して、より実務的、具体的にビジネスの業務運営，課題解決，業務構築などの一連のプロセスを教授することができる。

現場で発生している問題など具体的な事例をもとに、課題解決策の策定などについて、興味深く説明することができる。

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	社会学（Sociology） 2013011-042					担当教員	米 山 宗 久 （ヨネヤマ ムネヒサ）		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL / 協同学修型 AL / 資格対応科目								

① 授業のねらい・概要									
<p>私たちを取り巻く「社会」とは、どのように成立しているのか？「社会的なもの」と「個人的なもの」とはどのような関係にあるのか？私たちの生活している地域社会を基本としているコミュニティの視点と個人としての視点で考察する。本講義では、社会の位置づけ、地域社会における集団・家族・環境・教育・格差・メディアの各領域の現状と課題を明らかにする。できるだけ発言の機会を設けるとともに、学修内容の理解を深めるために視聴覚教材も活用する。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
<p>職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力を養う。</p>									
③ 授業の進め方・指示事項									
<p>教科書に基づき、追加的事項を補足しながら授業を進める。小レポートの内容を基に、フィードバックを行う。そのために協同学修型 AL では、ディスカッションを行う。</p>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
<p></p>									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i) 社会学の概念を理解する。                  (ii) 社会現象を考察して理解する。                  (iii) 相互行為と自分の意味を理解する。                  (iv) 地域社会・コミュニティを理解する。                  (v) メディアや情報の社会的影響を理解する。</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
<p>工藤保則・大山小夜・笠井賢紀（2018）「基礎ゼミ 社会学」世界思想社</p>									
⑦ 参考図書・指定図書									
<p>篠原清夫・栗田真樹（2018）「大学生のための社会学入門」晃洋書房</p>									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%			40%		10%		100%
(i) 社会学の概念を理解	10%			8%		2%		20%
(ii) 社会現象を考察して 理解	10%			8%		2%		20%
(iii) 相互行為と自分の意 味を理解	10%			8%		2%		20%
(iv) 地域社会・コミュニ ティを理解	10%			8%		2%		20%
(v) メディアや情報の社 会的影響を理解	10%			8%		2%		20%
フィードバックの方法	小レポートはプレゼンテーションを行う。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
社会福祉主事任用資格の取得及び福祉住環境コーディネーターを目指すなど、公務員や福祉関係の職業を希望している学生は必ず受講してもらいたい。小レポート課題は、8回程度を行う。双方向でのコミュニケーションを意識した授業を目指して行く。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	オリエンテーション	テキスト	社会についての基本的な知識と理 解	30分
2	自分と他人の関係	テキスト	相互行為と自我や意味の形成の知 識と理解	60分
3	家族	テキスト	家族などの関係性の知識と理解	60分
4	福祉や教育	テキスト	福祉と教育の地域と理解	60分
5	地域社会	テキスト	都市・農村の知識と理解	60分
6	労働	テキスト	労働・消費と企業・産業の知識と理 解	60分
7	文化	テキスト	文化の知識と理解	60分

8	メディア	テキスト	メディア・情報・コミュニケーションの知識と理解	60分
9	ジェンダー	テキスト	ジェンダーの知識と理解	60分
10	エスニシティ	テキスト	グローバリゼーションの知識と理解	60分
11	格差	テキスト	階層・階級・社会的不平等の知識と理解	60分
12	社会問題	テキスト	社会病理・社会問題の知識と理解	60分
13	社会運動	テキスト	社会運動・NPOなど改革の知識と理解	60分
14	自然環境	テキスト	人間と自然環境の知識と理解	60分
15	政治	テキスト	国家・政治・権力の知識と理解	60分

⑪ アクティブラーニングについて				
知識定着・確認型ALを採用する。小レポートの内容を基に、フィードバックを行う。そのために協同学修型ALでは、ディスカッションを行う。				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
<p>行政機関・社会福祉協議会・民間福祉施設では、生活保護・障害者福祉・高齢者福祉・ひとり親家庭福祉・児童福祉・介護保険制度や児童館に関わる行政業務、ボランティア支援・市民協働活動・福祉教育に関わる地域福祉・ソーシャルワーク業務、利用者の処遇・生活支援・相談業務に関わる利用者支援業務に従事してきた。また、行政計画である「地域福祉計画」「地域福祉活動計画」「介護保険計画」「障害者計画」の計画策定を行った。さらに「長岡市高齢者保健福祉推進会」「長岡市地域包括支援センター運営部会」「長岡市福祉有償運送運営協議会」「長岡市福祉施設指定管理者選定委員会」「長岡市男女共同参画審議会」「長岡市障害者施策推進協議会」「長岡市民生委員推薦会」などの委員を歴任している。</p>				

#### 実務経験と授業科目との関連性

行政機関・社会福祉協議会・民間福祉施設における経験から、社会に起きている事項について、客観的視点、主観的視点、支援者の視点、住民の視点など多角的視点から社会を見ることを学生に伝えることができる。

たとえば、家族関係が希薄化する原因、家族内で起こっているDVや児童虐待の現状、課題と対策の必要性を伝えることができる。さらに行政として対応した実体験として、相談機関や保護機関を理解してもらうための必要性も伝えることができる。

また、地域福祉計画や地域福祉活動計画においても、市民が行う活動の現状と課題・問題点が明記されている。それらの知識を学生に伝えていくことによって、学生は現状と課題をまとめたり、課題解決策を導き出す能力を養うことができる。

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	家族社会学（Family Sociology） 2013011-043					担当教員	米 山 宗 久 （ヨネヤマ ムネヒサ）		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL / 協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>少子化が進行する中で子どもと家庭は深い関係であり、子ども家庭を福祉の視点で理解するとともに、ワーク・ライフ・バランスが直面する課題について適切な知見を得ることを目的とする。さらにその対策としての必要性を理解できるようになることを目標とする。</p> <p>少子高齢化の現状と子ども家庭の歩み、子どもにとって親や家族などを整理したうえで、子どもの権利、福祉制度、施設と専門職を取り上げて現状と課題を明らかにする。できるだけ発言の機会を設けるとともに、学修内容の理解を深めるために視聴覚教材も活用する。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力を養う。									
③ 授業の進め方・指示事項									
教科書に基づき、追加的事項を補足しながら授業を進める。小レポートや小テストを実施して、フィードバックを行う。そのために協同学修型 AL では、外部講師を招聘してディスカッションを行う。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i) 子どもの権利保障を理解する。</p> <p>(ii) 子ども家庭福祉制度を理解する。</p> <p>(iii) 子ども家庭福祉の現状と課題を理解する。</p> <p>(iv) 子どもを取り巻く現状と課題を理解する。</p> <p>(v) 子ども家庭福祉の動向と展望を理解する。</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
浦田雅夫（2020）「新・子ども家庭福祉」教育情報出版									
⑦ 参考図書・指定図書									
永田夏来・松木洋人（2017）「入門 家族社会学」新泉社									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%		20%		10%		100%
(i) 子どもの権利保障を理解する	10%	4%		4%		2%		20%
(ii) 子ども家庭福祉制度を理解する	10%	4%		4%		2%		20%
(iii) 子ども家庭福祉の現状と課題を理解する	10%	4%		4%		2%		20%
(iv) 子どもを取り巻く現状と課題を理解する	10%	4%		4%		2%		20%
(v) 子ども家庭福祉の動向と展望を理解する	10%	4%		4%		2%		20%
フィードバックの方法	小レポートはプレゼンテーションを行い、小テストは解説を行う。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
<p>社会福祉主事任用資格の取得及び福祉住環境コーディネーターを目指すなど、公務員や福祉関係の職業を希望している学生は必ず受講してもらいたい。小レポートと小テストを合わせて、7回程度行う。外部講師招聘時は予習として課題を提示する。</p> <p>今回から子ども家庭に視点をあてる。</p>

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	少子高齢化の現状と地域社会か	テキスト	少子化の要因と地域社会の変化を理解	30分
2	子ども家庭福祉のあゆみ	テキスト	子育て支援の歴史を理解	60分
3	子どもの権利保障	テキスト	権利条約・児童憲章を理解	60分
4	子ども家庭福祉の制度と法体系	テキスト	子どもに関する法律や専門機関を理解	60分
5	子ども家庭福祉に関わる施設	テキスト	児童福祉施設を理解	60分

6	子ども家庭福祉に関わる専門職	テキスト	相談援助や児童福祉専門職を理解	60分
7	母子保健と子育て支援サービス	テキスト	保健サービスと保育ニーズを理解	60分
8	小テスト	自筆ノート	1回～7回目授業のまとめ	60分
9	子どもの貧困と虐待	テキスト	貧困や虐待の現状や原因を理解	60分
10	ワークライフバランス	配布資料	仕事と家庭を理解	60分
11	障がいのある子どもと家庭への支援	テキスト	高齢社会の現状を理解	60分
12	不登校・引きこもりへの支援	テキスト	不登校・引きこもりの実態を理解	60分
13	スマホとゲーム依存症	テキスト	スマホとゲームとの付き合い方	60分
14	地域における連携・協働・ネットワーク	テキスト	子どもと家庭を支える地域ネットワークを理解	60分
15	小テスト	自筆ノート	9回～14回目授業のまとめ	60分

⑪ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。小レポートや小テストを実施して、フィードバックを行う。そのために協同学修型 AL では、外部講師を招聘してディスカッションを行う。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
<p>行政機関・社会福祉協議会・民間福祉施設では、生活保護・障害者福祉・高齢者福祉・ひとり親家庭福祉・児童福祉・介護保険制度や児童館に関わる行政業務、ボランティア支援・市民協働活動・福祉教育に関わる地域福祉・ソーシャルワーク業務、利用者の処遇・生活支援・相談業務に関わる利用者支援業務に従事してきた。また、行政計画である「地域福祉計画」「地域福祉活動計画」「介護保険計画」「障害者計画」の計画策定を行った。さらに「長岡市高齢者保健福祉推進会」「長岡市地域包括支援センター運営部会」「長岡市福祉有償運送運営協議会」「長岡市福祉施設指定管理者選定委員会」「長岡市男女共同参画審議会」「長岡市障害者施策推進協議会」「長岡市民生委員推薦会」などの委員を歴任している。</p>

#### 実務経験と授業科目との関連性

行政機関・社会福祉協議会・民間福祉施設における経験から、家族内におけるDV、児童虐待、孤立化の現状、それに対する課題と対策を学生に伝えることができる。

たとえば、DVによる相談機関（児童相談所・女性相談所）の必要性を伝えることができる。さらに実体験として相談機関につなげた経緯・課題を伝えることができる。

また、子ども子育て支援計画においても、家族の現状と課題・問題点が明記されている。それらの知識を学生に伝えていくことによって、学生は現状と課題をまとめたり、課題解決策を導き出す能力を養うことができる。

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	高齢者と社会政策（Aged Social Policy） 2013011-044					担当教員	米 山 宗 久 （ヨネヤマ ムネヒサ）		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単 位 数	2	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL / 協同学修型 AL / 外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要

介護保険制度に関する知識や高齢者の生きがいと健康づくりなどの社会政策について理解するとともに、今後の高齢者が直面する課題について適切な知見を得ることやその対策としての必要性を理解できるようになることを目的とする。さらに要介護認定者の半数となっている認知症高齢者について学び、今後日本が迎える超高齢社会に向けた課題や問題点を明らかにする。できるだけ発言の機会を設けるとともに、学修内容の理解を深めるために視聴覚教材も活用する。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

地域社会に貢献する姿勢 / 職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

教科書に基づき、追加的事項を補足しながら授業を進める。小レポートや小テストを実施して、フィードバックを行う。そのために協同学修型 AL では、外部講師を招聘してディスカッションを行う。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

⑤ 標準的な達成レベルの目安

- (i) 高齢期の心身の変化を理解する。
- (ii) 高齢者に対するサービスを理解する。
- (iii) 介護保険制度の仕組みを理解する。
- (iv) 高齢者に対する支援・専門職を理解する。
- (v) 人生の最終段階における支援を理解する。

⑥ テキスト（教科書）

大塩まゆみ・奥西栄介（2018）『新・基礎からの社会福祉 高齢者福祉第3版』ミネルヴァ書房

⑦ 参考図書・指定図書

直井道子・中野いく子（2014）『よくわかる高齢者福祉』ミネルヴァ書房  
第8期長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険福祉計画

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	40%	30%		20%		10%		100%
(i) 高齢期の心身の変化を理解する	8%	6%		4%		2%		20%
(ii) 高齢者に対するサービスを理解する	8%	6%		4%		2%		20%
(iii) 介護保険制度の仕組みを理解する	8%	6%		4%		2%		20%
(iv) 高齢者に対する支援・専門職を理解する	8%	6%		4%		2%		20%
(v) 人生の最終段階における支援を理解する	8%	6%		4%		2%		20%
フィードバックの方法	小レポートはプレゼンテーションを行い、小テストは解説を行う。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
<p>社会福祉主事任用資格の取得及び福祉住環境コーディネーターを目指すなど、公務員や福祉関係の職業を希望している学生は必ず受講してもらいたい。小レポートと小テストを合わせて、7回程度行う。（履修者数により増減有）外部講師招聘時は予習として課題を提示する。</p>

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	人生における高齢期	テキスト	高齢期の課題や心身の変化を理解	30分
2	高齢者を取り巻く社会的状況	テキスト	高齢者人口や世帯状況を理解	60分
3	高齢者に対する制度とサービス (1)	テキスト	高齢者福祉制度の変遷を理解	60分
4	高齢者に対する制度とサービス (2)	テキスト	地域包括ケアシステムを理解	60分
5	介護保険制度のしくみ (1)	テキスト	介護保険の仕組みを理解	60分
6	介護保険制度のしくみ (2)	テキスト	介護予防と地域支援事業を理解	60分

7	介護保険サービス利用の実態	テキスト	居宅サービス・施設サービスを理解	60分
8	小テスト	自筆ノート	1回～7回目授業のまとめ	60分
9	高齢期を支える環境づくり	テキスト	福祉住環境整備を理解	60分
10	高齢者を支える専門職	テキスト	高齢者を支える専門職の種類と仕事を理解	60分
11	認知症高齢者(1)	テキスト	認知症の主な原因疾患を理解	60分
12	認知症高齢者(2)	テキスト	認知症ケアと支援を理解	60分
13	高齢者虐待に対する支援	テキスト	高齢者虐待と予防を理解	60分
14	終末期の支援	テキスト	高齢者が望む居場所とケアを理解	60分
15	小テスト	自筆ノート	9回～14回目授業のまとめ	60分

⑪ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型ALを採用する。小レポートや小テストを実施して、フィードバックを行う。そのために協同学修型ALでは、外部講師を招聘してディスカッションを行う。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
<p>行政機関・社会福祉協議会・民間福祉施設では、生活保護・障害者福祉・高齢者福祉・ひとり親家庭福祉・児童福祉・介護保険制度や児童館に関わる行政業務、ボランティア支援・市民協働活動・福祉教育に関わる地域福祉・ソーシャルワーク業務、利用者の処遇・生活支援・相談業務に関わる利用者支援業務に従事してきた。また、行政計画である「地域福祉計画」「地域福祉活動計画」「介護保険計画」「障害者計画」の計画策定を行った。さらに「長岡市高齢者保健福祉推進会」「長岡市地域包括支援センター運営部会」「長岡市福祉有償運送運営協議会」「長岡市福祉施設指定管理者選定委員会」「長岡市男女共同参画審議会」「長岡市障害者施策推進協議会」「長岡市民生委員推薦会」などの委員を歴任している。</p>

#### 実務経験と授業科目との関連性

行政機関・社会福祉協議会・民間福祉施設における経験から、介護保険制度の基本的支援や政策、対象者別の意義や目的、活動内容や影響力、さらに活動における課題を学生に伝えることができる。

たとえば、認知症高齢者の鉄道事故、交通事故の対応、介護保険制度以外の生きがいつくりなどの必要性を伝えることができる。さらに実体験として地域住民主体の健康づくりの必要性も伝えることができる。

また、介護保険計画や高齢者保健福祉計画においても、介護の現状と課題・問題点が明記されている。それらの知識を学生に伝えていくことによって、学生は現状と課題をまとめたり、課題解決策を導き出す能力を養うことができる。

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ボランティア論（Introduction to Volunteer） 2013011-045					担当教員	米 山 宗 久 （ヨネヤマ ムネヒサ）		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	地域志向科目 / 知識定着・確認型 AL / 協同学修型 AL / 外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要									
ボランティア活動の意義と理念、歴史的変遷、現代的課題について理解を深めると共に、実際の活動に必要な能力や視点を獲得することを目的とする。その上で、個人的志向に留まらず、社会の創造に貢献する為に、個々人が自ら何をなすべきかを模索する契機となることを目指す。尚、活動内容の理解を深めるために視聴覚教材を用いたり、外部講師を招聘する。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
地域社会に貢献する姿勢 / 職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力を養う。									
③ 授業の進め方・指示事項									
教科書に基づき、追加的事項を補足しながら授業を進める。小レポートや小テストを実施して、フィードバックを行う。そのために協同学修型 AL では、外部講師を招聘してディスカッションを行う。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) ボランティア活動の意義と理念を理解する。 (ii) ボランティア活動の課題を理解する。 (iii) 実際の活動に必要な能力や視点を理解する。 (iv) NPO活動を理解する。 (v) 協働社会の必要性を理解する。									
⑥ テキスト（教科書）									
早瀬昇(2018)「参加の力が創る共生社会 市民の共感・主体性をどう醸成するか」ミネルヴァ書房									
⑦ 参考図書・指定図書									
大阪ボランティア協会（2006）『基礎から学ぶボランティアの理論と実際』中央法規出版 岡本栄一（2005）「ボランティアのすすめ 基礎から実践まで」ミネルヴァ書房									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	40%	20%		10%	20%	10%		100%
(i) ボランティア活動の意義と理念を理解する	8%	4%		2%	10%	2%		26%
(ii) ボランティア活動の課題を理解する	8%	4%		2%	10%	2%		26%
(iii) 実際の活動に必要な能力や視点を理解する	8%	4%		2%		2%		16%
(iv) NPO活動を理解する	8%	4%		2%		2%		16%
(v) 協働社会の必要性を理解する	8%	4%		2%		2%		16%
フィードバックの方法	小レポートはプレゼンテーションを行い、小テストは解説を行う。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
公務員や福祉関係の職業を希望している学生は必ず受講してもらいたい。ボランティア活動を実践する学生を対象とする。小レポートと小テストを合わせて、6回程度行う。外部講師招聘時は予習として課題を提示する。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	オリエンテーション	テキスト	ボランティア活動の知識と理解	30分
2	参加の力	テキスト	参加力を発揮した多彩な取り組みを理解	60分
3	ボランティア活動の基本的性格・定義	テキスト	自主性・自立性を理解	60分
4	ボランティア活動の公共性	テキスト	公共的な活動を理解	60分
5	ボランティアの歴史	テキスト	公共活動は行政のみかを理解	60分
6	ボランティアの歴史	テキスト	ボランティアの無償性とNPO活動を理解	60分

7	ボランティア活動の自発性 (1)	テキスト	市民と行政の取り組みの違いを理解	60分
8	ボランティア活動の自発性 (2)	テキスト	当事者意識を広げ、市民の自治力を理解	60分
9	小テスト	自筆ノート	1回～8回目授業のまとめ	60分
10	ボランティアの弱み	テキスト	自発的社会活動の弱点を理解	60分
11	市民活動の意味	テキスト	特定非営利活動促進法を理解	60分
12	ボランティア参加の意義	テキスト	参加が生み出す変化を理解	60分
13	ボランティア組織づくり	テキスト	リーダーシップを理解	60分
14	公益法人制度	テキスト	税制優遇や公益法人を理解	60分
15	小テスト	自筆ノート	10回～14回目授業のまとめ	60分

⑪ アクティブラーニングについて				
知識定着・確認型 AL を採用する。小レポートや小テストを実施して、フィードバックを行う。そのために協同学修型 AL では、外部講師を招聘してディスカッションを行う。				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
<p>行政機関・社会福祉協議会・民間福祉施設では、生活保護・障害者福祉・高齢者福祉・ひとり親家庭福祉・児童福祉・介護保険制度や児童館に関わる行政業務、ボランティア支援・市民協働活動・福祉教育に関わる地域福祉・ソーシャルワーク業務、利用者の処遇・生活支援・相談業務に関わる利用者支援業務に従事してきた。また、行政計画である「地域福祉計画」「地域福祉活動計画」「介護保険計画」「障害者計画」の計画策定を行った。さらに「長岡市高齢者保健福祉推進会」「長岡市地域包括支援センター運営部会」「長岡市福祉有償運送運営協議会」「長岡市福祉施設指定管理者選定委員会」「長岡市男女共同参画審議会」「長岡市障害者施策推進協議会」「長岡市民生委員推薦会」などの委員を歴任している。</p>				

#### 実務経験と授業科目との関連性

社会福祉協議会における経験から、ボランティア活動における基本的姿勢や心構え、活動の意義や目的、活動内容や影響力、さらに活動における課題を学生に伝えることができる。

たとえば、ボランティアを養成するためにコーディネーターの企画力や小学校からの福祉教育の必要性を伝えることができる。さらに実体験として消防団活動や防犯活動が地域住民の理解してもらうための必要性も伝えることができる。

また、地域福祉計画や地域福祉活動計画においても、ボランティア活動の現状と課題・問題点が明記されている。それらの知識を学生に伝えていくことによって、学生は現状と課題をまとめたり、課題解決策を導き出す能力を養うことができる。

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ボランティア体験（Volunteer Experience） 2013011-046					担当教員	米 山 宗 久 （ヨネヤマ ムネヒサ）		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	集中
科目特性	地域志向科目 / 知識定着・確認型 AL / 課題解決型 AL / 外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要									
<p>ボランティアの現状を幅広く、さらに総合的に学修することにより、今後のボランティア活動の足掛かりとする。具体的には次の目標とする。1) 地域におけるボランティア活動に主体的に参加する。2) ボランティア活動によって社会のしくみを知る。3) ボランティア活動によって多くの人々と交流する。4) ボランティア活動によって人の存在価値を知る。5) ボランティア活動による自己実現を目指す。学に在学する4年間において、学外におけるボランティア活動に参加することで、学内の講義等では学び・体験することができない多様な経験を修得するとともに、地域社会と本学学生との暖かみのある交流を通して社会に貢献し、豊かな情感を備えた人間育成を図ること、さらにボランティアリーダーとしての資質習得を目的とする。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
<p>地域社会に貢献する姿勢 / 職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力 / コミュニケーション能力を養う。</p>									
③ 授業の進め方・指示事項									
<p>ボランティア活動の実践のために活動準備を行う。ボランティア先の選定、活動計画書の作成、ボランティア活動報告書の作成、活動報告会を行う。</p>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
ボランティア論									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i) ボランティアの意義を理解する。                  (ii) ボランティアの継続性を理解する。                  (iii) ボランティアを体験することで新たな発見を理解する。                  (iv) ボランティア活性化の必要性を理解する。                  (v) ボランティアコーディネーターの役割を理解する。</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
岡本栄一（2005）「ボランティアのすすめ 基礎から実践まで」ミネルヴァ書房									
⑦ 参考図書・指定図書									
必要に応じて随時授業で知らせる。									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			60%	20%	10%	10%		100%
(i) ボランティアの意義を理解する			12%	4%	2%	2%		20%
(ii) ボランティアの継続性を理解する			12%	4%	2%	2%		20%
(iii) ボランティアを体験することで新たな発見を理解する			12%	4%	2%	2%		20%
(iv) ボランティア活性化の必要性を理解する			12%	4%	2%	2%		20%
(v) ボランティアコーディネーターの役割を理解する			12%	4%	2%	2%		20%
フィードバックの方法	報告会を実施して情報共有を行う。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
ボランティア活動を途中で放棄した学生がおり、受け入れ先へ迷惑をかけたため、自分自身でボランティア先を選考する方式にした。説明会の未参加者は、「履修希望なし」として対応する。できるだけ1年次での履修を進める。ボランティア活動の期間は、8月～9月の間に40時間の活動をする。受け入れ先は原則自分自身で探し、日程調整を行う。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	オリエンテーション	テキスト	ボランティア種別を考察 30分
2	ボランティア活動の実践	テキスト	ボランティア先の検討 60分
3	活動準備	テキスト	ボランティア先の検討 60分
4	地域分野のボランティア	テキスト	ボランティア種別の活動内容を考察 60分
5	高齢者分野のボランティア	テキスト	ボランティア種別の活動内容を考察 60分

6	障害者分野のボランティア	テキスト	ボランティア種別の活動内容を考察	60分
7	児童分野のボランティア	テキスト	ボランティア種別の活動内容を考察	60分
8	個人活動	テキスト	実践内容の考察	60分
9	ボランティア活動計画書の提出	配布資料	ボランティア先との協議	60分
10	ボランティア活動（活動時間は40時間とする。活動日誌を作成する。）	配布資料	ボランティア実践	60分
11	事後学修（活動報告書の提出）	配布資料	報告書のとりまとめ	60分
12	活動報告会準備	配布資料	報告発表の準備	60分
13	活動報告会	配布資料	報告発表	60分
14				
15				

#### ⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL では、活動日誌・報告書作成と報告発表、フィードバックを行う。課題解決型 AL では、フィールドワークとして学外のボランティア活動を行う。

※以下は該当者のみ記載する。

#### ⑫ 実務経験のある教員による授業科目

##### 実務経験の概要

行政機関・社会福祉協議会・民間福祉施設では、生活保護・障害者福祉・高齢者福祉・ひとり親家庭福祉・児童福祉・介護保険制度や児童館に関わる行政業務、ボランティア支援・市民協働活動・福祉教育に関わる地域福祉・ソーシャルワーク業務、利用者の処遇・生活支援・相談業務に関わる利用者支援業務に従事してきた。また、行政計画である「地域福祉計画」「地域福祉活動計画」「介護保険計画」「障害者計画」の計画策定を行った。さらに「長岡市高齢者保健福祉推進会」「長岡市地域包括支援センター運営部会」「長岡市福祉有償運送運営協議会」「長岡市福祉施設指定管理者選定委員会」「長岡市男女共同参画審議会」「長岡市障害者施策推進協議会」「長岡市民生委員推薦会」などの委員を歴任している。

#### 実務経験と授業科目との関連性

社会福祉協議会における経験から、ボランティア活動における基本的姿勢や心構え、活動の意義や目的、活動内容や影響力、さらに活動における継続課題を学生に伝えることができる。

たとえば、ボランティアを継続するためにコーディネーターの企画力や意思付け、ボランティア先との信頼関係の必要性を伝えることができる。さらに実体験として子育て支援活動を地域住民の理解してもらうための必要性も伝えることができる。

また、地域福祉計画や地域福祉活動計画においても、ボランティア活動の現状と課題・問題点が明記されている。それらの知識を学生に伝えていくことによって、学生は現状と課題をまとめたり、課題解決策を導き出す能力を養うことができる。

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	新潟の歴史 (History of Niigata) 2013011-051					担当教員	遠山 典子 (トオヤマ ノリコ)		
科目区分	一般教養 科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	地域志向科目／課題解決型 AL								

① 授業のねらい・概要

近年、地域史の重要性が歴史学において提唱されている。本講義では、高校までの教科書的な中央の政治史を中心とした視点とは異なり、新潟県の風土や産業、人物などを取り上げ、新潟県がどのように形成され、どういう歴史を歩んできたかを考察する。テキストや資料だけでなく、プロジェクトでの画像の提示や、時にはビデオの視聴などを取り入れながら授業を進めたい。

なお、単に講義を受講するだけでなく、自ら主体的に学ぶために、各回に学習課題を設定した。

身近な歴史・生活文化を考察するために、課題は自己の出身地や生育歴に関するものを多く取り入れた。さらに、地域や県内の博物館、資料館、史跡などへ学生が直接足を運び、レポートを提出するフィールドワークの学習課題も設定している。

なお、単位修得レポートは、各個人の興味・課題にもとづいた地域探訪の計画・事前資料の作成および実施とする。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

地域社会に貢献する姿勢／専門的知識・技能を活用する能力／情報収集・分析力

③ 授業の進め方・指示事項

授業は、基本的には講義形式でおこなう。授業はあくまでも、学生の主体的な学びの導入であり、そこから興味を持ったテーマに関する各回の学習課題の作成・提出が重要である。評価は、課題と単位修得レポートの内容を中心に行う。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

他の地域志向科目と関連しているので、併修が望ましい。

⑤ 標準的な達成レベルの目安

(i) 講義の内容を理解し、主体的に新潟県の歴史について学んでいるか。

(ii) 自己の興味を持った人物や事象について、調べまとめる。実際に現地へ出かけ見学・体験する。

(iii) 自己のテーマに基づいた見学コースを作成し、実際に行ってみて良かった点や問題点などをあげ自己評価する。

⑥ テキスト（教科書）

毎回の授業内容にそったレジュメ・資料等をテキストとして配布する。

⑦ 参考図書・指定図書

田中圭一他『新潟県の歴史（県史15）』山川出版社(2017) 第2版3刷

『新・にいがた歴史紀行（全12巻）』新潟日報事業社(2004)

『新潟県の歴史散歩』山川出版社(2009)  
 伊藤義允『新潟 地理・地名・地図の謎』実業之日本社(2015)  
 伊藤 充『新潟県 県民性の歴史』(2018)『新潟県 県民性の人物史』(2019)新潟日報事業社  
 『図説 長岡開府四百年』いき出版(2018)

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			35%	25%	10%	30%		100%
(i) 地域への理解・愛情をもって、主体的に資料や歴史遺産に接し学んでいるか。			10%	5%		15%		30%
(ii) 自己の興味・関心に基づいて課題やレポートのテーマを適切に設定し、構成しているか。			10%	10%		15%		35%
(iii) 課題やレポート作成に関して、対象者に自分の意図をうまく伝達できる文章等の表現力があるか。適切な自己評価ができるか。			15%	10%	10%			35%
フィードバックの方法	各回の授業で出された課題、単位修得レポートに対して講評する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)

この授業は新潟県の歴史全体を扱うが、教室だけの講義にとどまらず、個々の興味・関心に基づいて、積極的に地域の史跡や歴史遺産、博物館、資料館などに出かけたり、自分史を掘り起こしたりして、主体的に自らの体験に基づいた歴史を学んでほしい。なお、各回の学習課題や単位修得レポートの提出などかなりハードな学習が予想されるので、安易な気持ちではなく、しっかりとした覚悟を持って選択してほしい。各回の課題はメール提出。単位修得レポートは、発表時に直接提出してもらう予定である。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間 (分)
1	新潟県の風土と特産物・伝統産業・食文化について	配布資料・ノート・筆記用具	自分の出身地の風土や特産物・伝統産業・食文化などテーマを決めてま

			とめる。[全課題、メールで提出]	
2	火焰土器の国一縄文時代	同上	県内の火焰(型)土器・縄文時代の展示がある博物館・資料館・史跡を見学し、その感想をまとめる。	180分
3	淳足柵・岩船柵と越後国・佐渡国の成立	同上	古代の越後国・佐渡国の成立過程とその性格についてまとめる。	60分
4	古代から中世にかけての歴史と史跡	同上	自分の出身地の地名の由来やその歴史をまとめる。	120分
5	越佐の伝説	同上	自分の故郷の伝説や伝承もしくは史跡を紹介する。	120分
6	中世の越後と上杉氏 —謙信・景勝、直江兼続など—	同上	興味をもった中世越後の人物や史跡、様々なエピソードなどについて調べる。	120分
7	江戸時代の越後 —長岡藩を中心に—	同上	自分の出身地や、興味を持った藩や地域について調べ、その感想をまとめる。	120分
8	越後の伝統産業 —織物と『北越雪譜』—	同上	県内の興味を持った伝統産業や文化人を取り上げ、調べる。	120分
9	越佐の学問 —長岡藩の医学と腑分(人体解剖)を中心に—	同上	自分の出身地もしくは興味をもった江戸時代の学問や学者について調べ、感想をまとめる。	120分
10	北越戊辰戦争 —長岡藩と河井継之助—	同上	自分の出身地や興味をもった地域や人物について幕末から明治維新期の歴史や生涯について調べる。	120分
11	「米百俵」と長岡の人材教育 単位修得レポートの説明	同上	自分が学んだ小学校の創立と歴史を調べ、まとめる。	120分
12	長岡の復興とランプ会 —三島億二郎や長岡の復興に尽くした人々—	同上	長岡もしくは自分の出身地もしくは興味のある地域で、明治の近代化に貢献した先人を調べる。	120分
13	◆新潟の近代産業 石油産業と令終会、悠久山公園の成立等について	同上	外部講師の講演を聞き、感想をまとめる。	60分
14	◆長岡空襲と花火(予定) —長岡空襲に関するビデオ上映—	同上	長岡や自分の出身地もしくは興味のある戦争関連の資料館・史跡を見学し、その感想をまとめる。	180分

15	単位修得レポートの発表と提出。	同上	自己評価の提出。	60分
----	-----------------	----	----------	-----

⑪ アクティブラーニングについて				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当授業では講義と各課題の提出を基本とし、知識定着・確認型 AL を行う。</li> <li>・単位修得レポートでは、地域探訪コースの作成および実施による課題解決型 AL を行う。</li> <li>・単位修得レポート及び2回（第2・14講義）の課題では、実際に博物館・資料館・史跡等を訪れる課題探求やフィールドワークによる課題解決型 AL を行う。</li> </ul>				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
<p>高等学校の教員として、地域の歴史や文化財に関連する教材をたびたび取り上げた。特に、「郷土再発見—郷土の再発見を通して自ら学ぶ心を育てる—」をテーマとして学校全体で郷土の歴史・文化財・伝統産業などを学んだ「いきいきスクールプロジェクト」では企画・運営を担当した。また、日本史 A 教科書の付属 CD-ROM として「地域学習の手引き（新潟県編）」を作成した。</p> <p>新潟県立歴史博物館では、教員籍の主任研究員として、広報と団体案内、体験学習の指導を行い、研究活動では福武学術文化振興財団の「次世代歴史・地理教育支援助成」も受賞した。</p> <p>また、長岡市のまちづくり市民研究所の研究員・平成国漢学校の塾生として「米百俵」の見直しや伝承・実践プログラム作りに取り組み、長岡開府四百年事業で「花開け、私の米百俵」の発表、『図説長岡開府四百年』では、「米百俵と長岡の人材教育」「小林虎三郎」「長岡藩の人体解剖」を著述した。河井継之助記念館の学芸員としての活動も行った。</p>				
実務経験と授業科目との関連性				
<p>長年、新潟県を中心とした地域史の研究活動と教育・普及活動を行ってきた。関連の著作もいくつかある。特に、高校の教員としての経験から、地域の歴史・文化・伝統産業の重要性や地域史を学ぶ意義と楽しさを学生に伝え、地元の資料を教材化して授業に構成することに取り組みたい。また、博物館勤務や「地域学習の手引き（新潟県編）」の作成の経験から、新潟県全体の歴史や文化の研究活動の成果を解りやすく伝えたい。定年退職後は、長岡郷土史研究会の幹事や河井継之助記念館の学芸員として地元の歴史を解りやすく青少年や一般の人々に伝える活動にも携わっている。</p>				

令和 3 (2021) 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	時事問題 (Current Topics) 2013011-052					担当教員	西俣 先子 (ニシマタ ヒロコ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1 年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
時事問題を理解するための知識を身につけ、時事問題に対して関心を高めることを目的とする。時事問題に関心を持ち、これを理解するための知識を得ることは、自分が生きている社会に対する理解を深めることになる。授業では、政治、経済、社会・環境、国際の 4 つの分野から時事問題を取りあげ、これを理解するための基礎知識について学ぶ。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力 情報収集・分析能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト (教科書) を使用する。使用するテキストの詳細は、下記の「⑥テキスト (教科書)」を確認すること。</li> <li>・自分の考えを深める作業を行う。コメント等で記入した内容を教員が紹介する場合がある。</li> <li>・必要に応じて資料を配布する。授業内容を理解しやすくするために映像を利用する場合がある。</li> </ul>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<ul style="list-style-type: none"> <li>(i) 時事問題を理解するための基礎知識を身につける。</li> <li>(ii) 時事問題について、他人に自分の考えを述べるようになる。</li> </ul>									
⑥ テキスト (教科書)									
<p>ニュース検定公式テキスト編集委員会編 日本ニュース時事能力検定協会監修 (2021) 『2021 年度版ニュース検定 公式テキスト&amp;問題集「時事力」基礎編 (3・4 級対応)』毎日新聞出版</p> <p>*毎年 3 月頃出版される。シラバス作成時点では、2021 年度版が出版されるという推測のもと記入している。2021 年度版が出版されない場合、2020 年度版を使用する。</p>									
⑦ 参考図書・指定図書									
<p>参考図書</p> <p>パスカル・ボニファス著 佐藤絵里訳 (2019) 『現代地政学 国際関係地図』ディスカヴァー・トゥエンティワン</p>									

秋元千明 (2017) 『戦略の地政学 ランドパワーVS シーパワー』 ウェッジ  
 H・J マッキンダー著 曾村保信 (2008) 『マッキンダーの地政学 デモクラシーの理想と現実』 原書房

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法

具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			50%			50%		100%
(i) 時事問題を理解するための基礎知識を身につける。						50%		50%
(ii) 時事問題について自分の考えを述べるができるようになる。			50%					50%
フィードバックの方法	課題は総評を公表する							

⑨ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)

引き続き、丁寧な解説と分かりやすい授業資料や映像の活用を行いたい。

⑩ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間 (分)
1	イントロダクション	シラバス	シラバスを熟読し授業の目的を理解したうえで授業に参加する。 10分
2	時事問題 (政治分野) の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。 60分
3	時事問題 (政治分野) の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。 60分
4	時事問題 (政治分野) の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。 60分
5	時事問題 (経済分野) の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。 60分
6	時事問題 (経済分野) の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。 60分
7	時事問題 (経済分野) の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。 60分
8	時事問題 (社会・環境分野) の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。 60分

9	時事問題（社会・環境分野）の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
10	時事問題（社会・環境分野）の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
11	時事問題（社会・環境分野）の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
12	時事問題（国際分野）の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
13	時事問題（国際分野）の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
14	時事問題（国際分野）の解説	教科書	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	60分
15	まとめ		学んだ内容の再確認を行う。	90分

⑪ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL、を採用する。 授業ではコメントを記入してもらい、コメント内容を利用する形で授業を進める。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	大学を飛び出して地域を知ろう（Introduction to Field Work） 2013022-053					担当教員	複数人		
科目区分	教養	必修・ 選択区分	必修	単 位 数	2	配当年次	2年次	開講期	前期
科目特性	地域志向科目 / 協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>地域の現場における調査研究を通して地域課題を発見・分析するとともに、社会科学の調査研究手法であるフィールドワークおよびプレゼンテーションに関する次の基礎知識を習得することで、調査研究活動で実践できるようになることを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前調査（ホームページ、パンフレット、新聞記事等）</li> <li>・ヒアリング調査の基本（事前準備、マナー、メモの取り方、事後処理等）</li> <li>・調査のアポイントメントの取り方（電話のかけ方、メールの書き方、日程調整の基本等）</li> <li>・アンケート調査の基本（目的、調査対象、設問設計、配付回収方法、集計方法）</li> <li>・収集した情報およびデータの整理・保管方法</li> <li>・データの定量分析および定性分析</li> <li>・プレゼンテーション（調査結果を他者にわかりやすく伝える）</li> </ul>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
<p>地域社会に貢献する姿勢 / 職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する力 / コミュニケーション能力 / 情報収集・分析力</p>									
③ 授業の進め方・指示事項									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本授業は1クラス20名程度の6クラス編成とし、各クラスに担当教員を配置する。</li> <li>・クラスごとに教室を分けて授業を実施するが、内容により全クラス合同で実施することもある。</li> <li>・各クラス内で3つの調査グループを構成する。</li> <li>・外部講師を招いて地域をテーマに講義をしていただく「地域課題講演会」では、各クラスから派遣された調査グループが3つの教室に分かれて受講する。</li> <li>・「地域課題講演会」をヒアリング調査の現場に見立て、調査の事前準備や事後処理についてグループワーク等を行い、調査計画書および調査報告書を取りまとめて提出する。</li> <li>・これらの調査計画書および調査報告書の内容は、各クラス内でグループごとに発表し、クラス内の情報共有とプレゼンテーション技能の向上を図る。</li> </ul>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
特になし。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i) 定性分析のために KJ 法（親和図法）等の分析手法を活用することができる。</p> <p>(ii) ヒアリング調査の基本的事項（事前準備、当日、事後処理等）について概要を説明することができる</p>									

<p>きる。</p> <p>(iii) あらかじめ定められている書式にしたがって調査計画書および調査結果の報告書を作成することができる。</p> <p>(iv) 調査の計画や結果について資料を利用しながらわかりやすく説明することができる。</p> <p>(v) 地域課題を3つ以上取り上げてその概要を説明することができる。</p>
⑥ テキスト（教科書）
山田剛史・林創（2011）『大学生のためのリサーチリテラシー入門 —研究のための8つの力』ミネルヴァ書房
⑦ 参考図書・指定図書
参考図書を必要に応じて随時紹介する

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			15%	50%	20%	15%		100%
(i) 定性分析のために KJ 法（親和図法）等の分析手法を活用することができる。				10%	5%	5%		20%
(ii) ヒアリング調査の基本的事項（事前準備、当日、事後処理等）を習得し、実際に活用することができる。			15%		5%	5%		25%
(iii) あらかじめ定められている書式にしたがって調査計画書および調査結果の報告書を作成することができる。（調査3回）				30%				30%
(iv) 調査の計画や結果について資料を利用しながらわかりやすく説明することができる。					5%	5%		10%
(v) 地域課題を3つ以上取り上げてその概要を説明することができる。				10%	5%			15%

フィードバックの方法	・提出された調査計画書および調査報告書について、優れている点、改善を要する点等の概要をフィードバックする。
------------	---

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）	
・今年度は感染症対策のため、大人数での移動を伴う現地調査を避け、学外の諸機関から講師をお招きしてお話しをいただくことでヒアリング調査の代替とします。	

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	オリエンテーション クラス内他己紹介 グループ分け（3グループ）		
2	アンケート調査の基本		90分
3	<b>KJ法（親和図法）演習</b> ・3グループでテーマを決めて <b>KJ法</b> による整理を行う。 ・グループごとに結果発表		・ <b>KJ法（親和図法）</b> についての予習、テーマ検討 ・結果の図解と文書（レポート）作成 90分
4	ヒアリング調査の基礎知識 （全クラス合同）		・ヒアリング調査に関する予習・復習 90分
5	地域課題調査事前準備① （調査対象3機関の事前調査） ・グループの派遣先およびグループ内での役割の決定 ・グループワークにより対象機関に対する事前調査計画書を作成（地域課題の質問項目の検討） ・グループごとに発表し、クラス内で共有		・対象3機関に関する事前調査（Web、パンフレット等） ・対象機関に関する事前調査計画書の作成 90分
6	◆地域課題調査講演会① ・調査対象3機関の講師による講演（3教室） ・講演50分＋質疑応答30分 ・各クラスから派遣されたグループが受講 ・各グループを代表する質問者		・対象機関に関する事前調査 90分

	が質問する。			
7	<p>地域課題調査まとめ①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに調査結果の振り返り及び調査報告書作成（全体の報告書に加え、全員が考察を提出）</li> <li>・クラス内で全員が考察を発表</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査報告書の作成（クラス内での質疑応答の結果についても記載する）</li> </ul>	90分
8	<p>地域課題調査事前準備② （調査対象3機関の事前調査）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの派遣先およびグループ内での役割の決定</li> <li>・グループワークにより対象機関に対する事前調査計画を作成（地域課題の質問項目の検討）</li> <li>・グループごとに発表し、クラス内で共有</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象3機関に関する事前調査（Web、パンフレット等）</li> <li>・対象機関に関する事前調査計画書の作成</li> </ul>	90分
9	<p>◆地域課題調査講演会②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査対象3機関の講師による講演（3教室）</li> <li>・講演50分＋質疑応答30分</li> <li>・各クラスから派遣されたグループが受講</li> <li>・各グループを代表する質問者が質問する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象機関に関する事前調査</li> </ul>	90分
10	<p>地域課題まとめ②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに調査結果の振り返り及び調査報告書作成（全体の報告書に加え、全員の考察を提出）</li> <li>・クラス内で全員が考察を発表</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査報告書の作成（クラス内での質疑応答の結果についても記載する）</li> </ul>	90分
11	<p>地域課題調査事前準備③ （調査対象3機関の事前調査）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの派遣先およびグループ内での役割の決定</li> <li>・グループワークにより対象機関に対する事前調査計画を</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象3機関に関する事前調査（Web、パンフレット等）</li> <li>・対象機関に関する事前調査計画書の作成</li> </ul>	90分

	作成（地域課題の質問項目の検討） ・グループごとに発表し、クラス内で共有			
12	◆地域課題調査講演会③ ・調査対象3機関の講師による講演（3教室） ・講演50分＋質疑応答30分 ・各クラスから派遣されたグループが受講 ・各グループを代表する質問者が質問する。		・対象機関に関する事前調査	90分
13	地域課題まとめ③ ・グループごとに調査結果の振り返り及び調査報告書作成（全体の報告書に加え、全員の考察を提出） ・クラス内で全員が考察を発表		・調査報告書の作成（クラス内での質疑応答の結果についても記載する）	90分
14	学生による地域活性化プログラム活動紹介（全クラス合同）		・学生による地域活性化プログラム活動報告書による予習 ・地域課題レポート作成	90分
15	振り返り、まとめ		・地域課題レポート作成	90分

⑪ アクティブラーニングについて	
協同学修型 AL	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークにより調査計画書および調査報告書を作成する。</li> <li>・3回の調査において毎回グループ内の役割分担（進行、発表、記録、質問、文書作成等）を変更し、できるだけ異なる役割を体験できるように考慮する。</li> </ul>	

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	健康とスポーツ1 (Health Promotion and Sports 1) 2014011-054					担当教員	桐生 拓 (キリュウ タク)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	1	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	協同学修型 AL/課題解決型 AL								

① 授業のねらい・概要									
生涯を通じて健康的に運動と関われるように、身体的・精神的・社会的側面から健康問題にアプローチし実践的に学ぶ。理論的な側面だけでなく、スポーツという身体活動の側面を考慮し、実習をとおしたより深い取得を目指す。よって実技と講義を両軸と捉え授業を展開する。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
コミュニケーション能力/情報収集・分析力を養う									
③ 授業の進め方・指示事項									
大学外のスポーツ活動についても必用に応じて単位認定の参考とする。また、実技に適したスポーツウエア、シューズで授業に参加すること。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
特になし。ただし日常生活で運動に関する事象に興味をもって生活することが望ましい									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 健康に関する諸問題について理解できること									
(ii) 健康な生活のためにどのようにスポーツと関わるかの理解し実践できること									
(iii) 他者との協力など主体的に活動できること									
⑥ テキスト (教科書)									
テキスト指定なし。代わりに、授業開始時に PowerPoint ファイルのコピーを配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
早稲田大学スポーツ科学学術院 編(2011) 教養としてのスポーツ科学 改訂版 大修館書店									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合				30%	20%	50%		100%
(i) 健康に関する諸問題について理解できること				30%		10%		40%
(ii) 健康な生活のためにどのようにスポーツと関わるかの理解し実践できること					20%	10%		30%
(iii) 他者との協力など主体的に活動できること						30%		30%
フィードバックの方法	実技の試験を終了後解説の時間を設ける。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
授業に適さない服装での参加は適宜限点等の対象にする。また、スポーツを通して人との関わり方を学ぶことも重要であり、積極的な授業への参加を期待する。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	オリエンテーション（実施種目や授業の流れについて説明）	運動着等		60分
2	講義(トレーニングの法則)	運動着等		60分
3	講義(健康とはなにか) 運動における安全管理	運動着等		60分
4	健康に関する諸問題について (健康についてのトピックス) トレーニング①H I I T	運動着等		60分
5	運動種目の選択①	運動着等		60分
6	運動実技の選択② (前回とは異なる種目)	運動着等		60分
7	講義(熱中症)	運動着等		60分

8	運動実技の選択② (前回とは異なる種目)	運動着等		60分
9	前期選択実技決定 運動実技(グループでの活動)	運動着等		60分
10	講義(ダイエット) 運動実技(基礎練習)	運動着等		60分
11	講義(オリンピック) 運動実技(技術練習)	運動着等		60分
12	講義(栄養) 運動実技(対人練習)	運動着等		60分
13	講義(睡眠) 運動実技(ミニゲーム)	運動着等		60分
14	講義(ヘルスプロモーション) 運動実技(種目別試験練習)	運動着等		60分
15	まとめ	運動着等		60分

⑪ アクティブラーニングについて

課題解決型 AL 及び協同学修型 AL を採用する。毎授業ごとに紹介されるトピックスに関してディスカッションを行う。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

--

実務経験と授業科目との関連性

--

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	健康とスポーツ2 (Health Promotion and Sports) 2014011-055					担当教員	桐生 拓 (キリュウ タク)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	1	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	協同学修型 AL/課題解決型 AL								

① 授業のねらい・概要									
生涯を通じて健康的に運動と関われるように、身体的・精神的・社会的側面から健康問題にアプローチし実践的に学ぶ。理論的な側面だけでなく、スポーツという身体活動の側面を考慮し、実習をとおしたより深い取得を目指す。よって実技と講義を両軸と捉え授業を展開する。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
コミュニケーション能力/情報収集・分析力を養う									
③ 授業の進め方・指示事項									
大学外のスポーツ活動についても必用に応じて単位認定の参考とする。また、実技に適したスポーツウエア、シューズで授業に参加すること。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
特になし。ただし日常生活で健康や運動に関する事象に興味をもって生活することが望ましい									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 健康に関する諸問題について理解できること									
(ii) 健康な生活のためにどのようにスポーツと関わるかの理解し実践できること									
(iii) 他者との協力など主体的に活動できること									
⑥ テキスト (教科書)									
テキスト指定なし。場合によって授業開始時に PowerPoint ファイルのコピーを配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
早稲田大学スポーツ科学学術院 編(2011) 教養としてのスポーツ科学 改訂版 大修館書店									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合				30%	20%	50%		100%
(i) 健康に関する諸問題について理解できること				30%		10%		40%
(ii) 健康な生活のためにどのようにスポーツと関わるかの理解し実践できること					20%	10%		30%
(iii) 他者との協力など主体的に活動できること						30%		30%
フィードバックの方法	実技の試験を終了後解説の時間を設ける。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
授業に適さない服装での参加は適宜減点等の対象にする。また、スポーツを通して人との関わり方を学ぶことも重要であり、積極的な授業への参加を期待する。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	オリエンテーション（実施種目や授業の流れについて説明）	運動着等		60分
2	運動実技（運動種目の選択①）	運動着等		60分
3	運動実技（運動実技の選択②（前回とは異なる種目））	運動着等		60分
4	運動実技（基礎練習）	運動着等		60分
5	運動実技（対人練習）	運動着等		60分
6	運動実技（ミニゲーム）	運動着等		60分
7	運動実技（種目別試験練習）	運動着等		60分
8	運動実技（実技試験）	運動着等		60分

9	運動実技(基礎練習)	運動着等		60分
10	運動実技(技術練習)	運動着等		60分
11	運動実技(対人練習)	運動着等		60分
12	運動実技(ミニゲーム)	運動着等		60分
13	運動実技(種目別試験練習)	運動着等		60分
14	運動実技(後期実技試験)	運動着等		60分
15	まとめ	運動着等		60分

⑪ アクティブラーニングについて

課題解決型 AL 及び協同学修型 AL を採用する。毎授業ごとに紹介されるトピックスに関してディスカッションを行う。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

--

実務経験と授業科目との関連性

--